金沢大学国際機構

自己点検評価報告書

第 4 号

2022 年 3 月

まえがき

金沢大学国際機構は，2012 年 4 月に設置されて以来，金沢大学の国際化，特に，金沢大学の国際連携戦略の策定及び国際交流の充実，国際研究交流支援，海外研修プログラムの提供（受け入れ及び送り出し），外国人留学生に対する日本語教育の提供，海外留学支援（受け入れ及び送り出し）等に力を入れてきました。その間，2014 年度には「徹底した国際化による，グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」が「スーパーグローバル大学創世支援事業」に，2017 年度には「日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム」が「大学の世界展開力強化事業」に，「『かがやき・つなぐ』北陸・信州留学生就職促進プログラム」が文部科学省の「留学生就職促進プログラム事業」に採択され，さらには 2021 年度には「地方の国際化と活性化を推進する留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト」が「大学の国際化促進フォーラム形成支援事業」に採択され，全国の大学の国際化をリードしてまいりました。

前回の自己点検評価（2010 年 4 月～2015 年 3 月）以降，本機構は引き続き，前述の国際化の責務を果たしてきましたが，今後は，これまで以上に，日本語教育や様々な研修プログラムを通じての留学生教育並びにファーストステップ・プログラムや派遣留学プログラムを通じた本学からの留学派遣支援だけではなく，全学の国際的研究交流や多様な形での学生交流をコーディネートすることが求められています。

今回，ここに，2015 年 4 月以降，主として第 3 期中期計画（2016 年度～2021 年度）にあたる時期の活動をまとめました。金沢大学は，「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置づけをもって改革に取り組むと大学憲章に掲げ，「東アジアの知の拠点」を目指し，グローバル社会の中核となって活躍できる人材の育成に全力を挙げています。そうした中，本機構が本学の国際化の推進においてどのような役割を果たしていくべきか，また，これまでの実績と経験に基づき，全学でどのようなリーダーシップを果たしていくべきか，自己点検に基づき，学内外からのご意見・ご指摘に耳を傾けつつ，組織として自ら考え行動していきたいと思います。

2022 年 3 月 31 日

金沢大学国際機構長

志村　恵

目　　次

まえがき

１．機構のあり方と目標
１．１　沿革 …… 1
１．２　本機構の理念と目的 …… 1
１．３　国際機構の教員組織および部門 …… 2
１．３．１　部門の変遷 …… 2
１．３．２　教員組織 …… 3
１．４　事務組織 …… 4
１．５　予算・運営 …… 4
１．５．１　平成 27（2015）年度 …… 4
１．５．２　平成 28（2016）年度 …… 6
１．５．３　平成 29（2017）年度 …… 8
１．５．４　平成 30（2018）年度 …… 10
１．５．５　平成 31/令和元（2019）年度 …… 11
１．５．６　令和 2（2020）年度 …… 13
１．５．７　非常勤講師手当等実績（平成 27～令和 2 年度）…… 15
１．６　人事 …… 15
１．７　施設・設備 …… 16
１．７．１　施設・設備の現状 …… 16
１．７．２　施設・設備の将来計画 …… 17

２．教育
２．１　日本語教育 …… 18
２．１．１　総合日本語プログラム …… 18
２．２　日本文化・社会学習プログラム …… 24
２．２．１　概要 …… 24
２．２．２　開講科目 …… 25
２．２．３　課題と展望 …… 25

２．３　留学生受け入れプログラム …… 25
２．３．１　日本語研修コース …… 25
２．３．２　日研プログラム …… 26
２．３．３　金沢大学短期留学プログラム(KUSEP) …… 36
２．３．４　KUEST …… 41
２．３．５　セメスタープログラム …… 43
２．３．６　日韓プログラム …… 48
２．３．７　天の川プログラム …… 50
２．３．８　ロシアプログラム …… 52
２．３．９　KUSS …… 52
２．３．10　KUSDP …… 53
２．３．11　KUMAP …… 54
２．３．12　DEAi …… 54
２．４　派遣留学支援 …… 55
２．５　ELP センター …… 56

３．相談指導 …… 57

４．研究
４．１　機構教員の研究業績 …… 59
４．２　研究者受け入れ …… 59

５．学内貢献
５．１　世界展開力 …… 60
５．２　他部局への授業提供 …… 62
５．３　広報活動 …… 63
５．４　就職支援 …… 64
５．５　奨学金獲得支援 …… 66
５．６　国立六大学国際連携機構関連行事 …… 66

６．地域社会貢献
６．１　いしかわ金沢学 …… 68
６．２　JICA（独立行政法人 国際協力機構）日系社会研修員受入事業 …… 68

７．FD 活動
７．１　総合日本語プログラム講師会の実施 …… 70
７．２　研修会および講演会の実施 …… 70
７，３　FD 強化週間の実施 …… 71

８．出版物
８．１　金沢大学国際機構紀要 …… 73
８．２　金沢大学留学生センターニュース …… 73
８．３　『日本語・日本文化研修留学生修了研究論文集』…… 74
８．４　その他 …… 74

９．国際機構の現状と展望 …… 75

10．資料集 …… 78

１．機構のあり方と目標

１．１　沿　　革

「金沢大学国際機構」（以下「本機構」）は，2012（平成 24）年 4 月に，それまでの金沢大学国際機構留学生センターを発展解消する形で発足した。旧センターの沿革については，1995（平成 7）年 4 月から 2002（平成 14）年 9 月までの部分が『金大キャンパスの国際化を考える金沢大学留学生センター自己点検評価 1995.4～2002.9』（以下『自己点検』No.1）の「1.1 沿革」(p.1)に，それに続く 2002（平成 14）年 10 月から 2010（平成 22）年 3 月までの部分は『金大キャンパスの国際化をリードする金沢大学留学生センター自己点検評価 2002.10～2010.3』（以下『自己点検』No.2）の「1.1 沿革」（p.1）に，さらに 2010（平成 22)年 4 月から 2015（平成 27)年 3 月までの部分は『金沢大学国際機構留学生センター自己点検評価　2010.4～2015.3』（以下『自己点検』No.3）にそれぞれ詳述されている。本自己点検評価ではそれに引き続き，2015（平成 27)年 4 月以降について記す。

本機構は，上述のとおり，2012 年 4 月 1 日の改革によって「金沢大学国際機構留学生センター」となり，当初，(1)国際戦略室，(2)インターナショナル・オフィス，(3)留学生センターの 3 つの組織を置いた。その後 2014 年度に前述の「スーパーグローバル大学創世支援事業」の採択を受け，4 つ目のスーパーグローバル ELP センターを置き，4 組織体制となった。2018 年度には進行する国際化に迅速に対応するため組織改革を行い，(1)国際連携戦略部門，(2)国際協力・交流支援部門，(3)グローバル教育研究部門の三部門体制にした。また，2020 年度には，重複する業務を整理し，業務のさらなる効率化を図るために，三部門制を現行の二部門制，すなわち国際連携部門と国際教育部門の二部門制に改組し，本機構のミッションの遂行を行っている。

１．２　本機構の理念と目的

本学は大学憲章で「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」と大学の理念を定めており，2022 年 1 月現在 299 機関と大学間交流協定及び部局間交流協定を締結している。本機構はその国際教育研究交流の一翼を担う組織として，重要な役割を担ってきた。

現行の「金沢大学国際機構規程」の第 2 条は本機構の設置目的を定めているが，それによると，「機構は，金沢大学における国際化に関する事業を統括し，本学の国際化を推進することを目的とする。」とある。そして，第 3 条により，同目的を果たすべき具体的業務を 6 つ定めている。すなわち，

(1)　国際連携戦略の策定及び国際交流の充実に関すること

(2)　国際研究交流支援及び国際協力に関すること。

(3)　外国人留学生,外国人研究者及び海外留学を希望する学生に対する支援に関すること。

(4)　外国人留学生に対する各種教育，研修プログラム等の提供に関すること。

(5)　本学の教員，事務職員，学生等の英語力強化に関すること。

(6)　その他国際化の推進に関すること。

であり，その業務を実施するため，第 6 条において「国際連携部門」と「国際教育部門」の 2 部門を置くとしている（2020 年度以降)。そして，それぞれの部門は主として次に掲げる業務を行うと定めている。すなわち，国際連携部門は第 3 条第 1 号，第 2 号及び第 6 号に係る業務を，国際教育部門は第 3 条第 3 号,第 4 号及び第 6 号に係る業務を主に担う。

さらに､第 8 条において,本｢機構にスーパーグローバル ELP(English Language Programs) センター（以下「ELP センター」という。）を置」き，同センターは，第 3 条第 5 号に係る業務を，また第 9 条において，本機構に「SDGs，ジオパーク及びユネスコエコパークに関する教育研究活動を推進するため，SDGs の教育研究拠点として，機構に SDGs ジオ・エコパーク研究センター（以下「SDG s センター」という。）を置く。」とし，全学の SDGs の教育研究活動を牽引するミッションも持っている。

このように，本機構は，従来の「留学生センター」の有していた留学生教育や日本人学生への留学プログラムの提供から，SDGs 教育，グローバル社会において活躍する人材養成のための英語力強化施策・実践等多様なミッションを担う組織へと時代のニーズに呼応しながら組織改革を実施してきたのである。

１．３　国際機構の教員組織および部門

１．３．１　部門の変遷

2015 年 4 月～

・国際戦略室
・インターナショナル・オフィス
・留学生センター
・スーパーグローバル ELP センター

2018 年 4 月～

・国際連携戦略部門
・国際協力・交流支援部門
・グローバル教育研究部門――・留学生教育部
・スーパーグローバル ELP センター

2020 年

・国際連携部門 ・国際教育部門 ・スーパーグローバル ELP センター

１．３．２　教員組織

国際機構から提供される授業を担当する常勤の教員は以下の通りである。（令和 3 年 3 月時点）

＜教授＞

太田 亨（おおた あきら）

斉木 麻利子（さいき まりこ）

ビットマン ハイコ

峯 正志（みね まさし）

＜准教授＞

深川 美帆（ふかがわ みほ）

ママードウァ アイーダ

山本 洋（やまもと ひろし）

＜特任准教授＞

小島壮一（こじま そういち）

なお、2015 年度～2020 年度の異動には次のものがある。

１）2010 年度に准教授として赴任した松田真希子氏は 2021 年度に教授として金沢大学融合研究域（融合科学系）に異動した。

２）2014 年度に特任教員として赴任した伊藤大将氏は、2020 年度に他大学に異動した。

３）2015 年に准教授として赴任した堤敦朗氏は 2021 年度に金沢大学人間社会研究域（法学系）に教授として異動した。

スーパーグローバル ELP センターの教員は以下の通り。

＜特任准教授＞

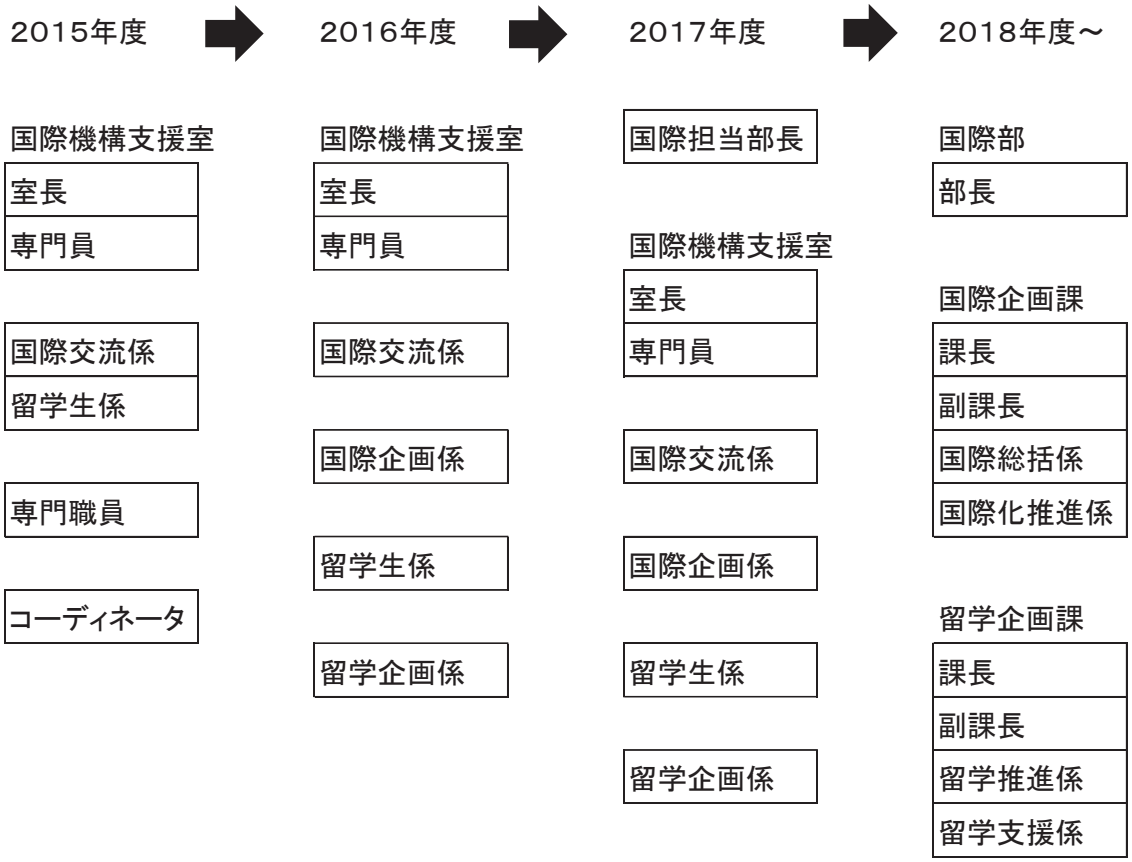
Jamie Rosenberg

＜特任助教＞

Jennifer Brokenshire

１．４　事務組織

2012 年 4 月の国際機構設置以来、国際機構支援室が国際機構にかかる事務を担当してきたが、2014 年文部科学省によるスーパーグローバル大学創成支援事業の採択により、留学生及び国際交流にかかる業務が増大したため、2018 年 4 月には国際企画課と留学企画課の二課体制による国際部へと担当事務組織を拡大した。



１．５　予算・運営

1.5.1　平成 27（2015）年度

☆算定基礎額 9,223 千円（前年度比 1,678 千円減）

1 基盤研究経費

〈2,704 千円〉　配分方針：それまでの年度と同様，1 人当たり 263 千円を計上し配分する（ただし，科研費応募まで，一人当り一律 192 千円を保留）。また，特任教員に対しては，1 人当たり 200 千円の配分とする。

名称	配分額	摘要
専任教員×8 人	2,104,000	科研費応募まで 1660 千円を保留
特任教員×3 人	600,000	

2 部局等特別管理運営費

〈393 千円〉　　配分方針：平成 26 年度の実績を踏まえ所要額を計上し，下記のとおり配分する。

名称	配分額	摘要
電話料	120,000	1月約 10,000 円×12
複写機保守	227,000	
NHK 受信料	46,000	所要額
計	393,000	

3 教育施設事業費

〈7,104 千円〉　　配分方針：算定基礎額から，上記1,2,4,5の計 2,119 千円を差し引いた 7,104 千円を計上する。

・各部門の運営費は，本経費から措置し，プログラムごとに 1 本とする。

・残りの 1,404 千円は全体管理分とし，その使途についてはこれまでどおり，留学生センター教員会議の協議を経て執行するものとする。（全体管理分予算計画内訳は別掲）

名称	配分額	摘要
総合日本語	1,150,000	消耗品（270 千円），謝金（400 千円），e ラーニング・履修登録システム管理費（480 千円）
日研	1,000,000	合宿等開催費（350 千円），レポート集（200 千円），パンフレット（200 千円），謝金（150 千円），旅費（100 千円）
研修	350,000	運営補助謝金（200 千円），消耗品費（50 千円），文集（100 千円）
KUSEP	300,000	100 千円×3 担当者
日韓	50,000	謝金ほか
相談指導	150,000	
国際教育交流	200,000	謝金（70 千円），講演（60 千円），旅費（70 千円）
セメスター	200,000	旅費（90 千円），実習費（30 千円），謝金（30 千円）
文化体験	1,600,000	プログラム運営費
KUSS	300,000	講師等謝金（300 千円）
KUEST	100,000	プログラム運営費
センター共通	300,000	教員全員で管理，H27 自己点検評価

留学生センター	1,404,000	内訳は「全体管理分予算計画」参照
計	7,104,000	

4 非常勤教員人件費　〈470 千円〉

名称	配分額	摘要	
非常勤講師	470,000	文化体験授業留学生センター負担分	

5 特別教育事業費　〈88 千円〉

名称	配分額	摘要	
講師等旅費	88,000	文化体験授業留学生センター負担分	

平成27年度全体管理分予算計画額＜1,404 千円＞

事項	予算	備考
包括ソフトウェア負担分	50,000	留学生センター負担分
掲示板等サーバ管理費	300,000	ライセンス更新，バッテリー更新，周辺ソフト更新
留学生センター活動費	300,000	ジャパンテント，PII，その他
「留学生センター紀要」	450,000	前年度実績額
「留学生センターニュース」	120,000	前年度実績額
全体管理予備費	184,000	
	1,404,000	

1.5.2　平成 28（2016）年度

☆算定基礎額 9,190 千円（前年度比 299 千円減）

1 基盤研究経費

〈1,340 千円〉　配分方針：1人当り 300 千円（電子ジャーナル負担分 22,625 円を含む）を計上し配分するが，科研費応募まで，一人当り一律 207.5 千円（全体で 1,660 千円）を保留する。

名称	配分額	摘要
専任教員×8 人 特任教員×3 人	3,000,000	専任教員 300 千円，特任教員 200 千円

2 部局等特別管理運営費

〈174 千円〉　配分方針：平成 27 年度の実績を踏まえ所要額を計上し，下記のとおり配分する。

名称	配分額	摘要
電話料	120,000	1月約 10,000 円×12
複写機保守	0	保守契約終了のため

NHK 受信料	54,000	所要額
計	174,000	

3 教育施設事業費

＜6,016 千円＞　　配分方針：算定基礎額から上記 1,2,4,5 の計 2,702 千円を差し引いた 7,118 千円を計上する。

・各部門の運営費は，本経費から措置し，プログラムごとに 1 本とする。

・残りの 1,968 千円は全体管理分とし，その使途についてはこれまでどおり，留学生センター教員会議の協議を経て執行するものとする。（全体管理分予算計画内訳は別掲）

名称	配分額	摘要
総合日本語	900,000	消耗品（350 千円），謝金（300 千円），e ラーニング・履修登録システム管理費（250 千円）
日研	900,000	合宿等開催費（350 千円），レポート集（200 千円），パンフレット（100 千円），謝金（150 千円），旅費（100 千円）
研修	200,000	運営補助謝金（100 千円），消耗品費（100 千円）
KUSEP	300,000	100 千円×3 担当者
日韓	50,000	謝金ほか
相談指導	100,000	
国際教育交流	150,000	謝金（45 千円），講演（60 千円），旅費（45 千円）
セメスター	300,000	旅費（90 千円），実習費（30 千円），謝金（60 千円）
文化体験	1,850,000	プログラム運営費
KUSS	0	プログラム終了のため
KUEST	100,000	プログラム運営費
センター共通	300,000	教員全員で管理
留学生センター	1,968,000	内訳は「全体管理分予算計画」参照
計	7,118,000	

4 非常勤教員人件費　〈470 千円〉

名称	配分額	摘要
非常勤講師	470,000	文化体験授業留学生センター負担分

5 特別教育事業費　〈88 千円〉

名称	配分額	摘要
講師等旅費	88,000	文化体験授業留学生センター負担分

平成28年度全体管理分予算計画額＜1,968 千円＞

事項	金額	備考

包括ソフトウェア負担分	50,000	留学生センター負担分
掲示板等サーバ管理費	300,000	ライセンス更新，バッテリー更新，周辺ソフト更新
留学生センター活動費	300,000	ジャパンテント，PII，その他
「留学生センター紀要」	450,000	前年度実績額
「留学生センターニュース」	120,000	前年度実績額
全体管理予備費	748,000	
	1,968,000	

1.5.3　平成 29（2017）年度

☆算定基礎額 10,608 千円 （前年度比 1,418 千円増）

1 基盤研究経費

〈3,000 千円〉　配分方針：配分方針：1 人当り 300 千円（電子ジャーナル負担分 22,625 円を含む）を計上し配分する。

名称	配分額	摘要
専任教員×8 人 特任教員×3 人	3,000,000	専任教員 300 千円，特任教員 200 千円

2 部局等特別管理運営費

〈374 千円〉　配分方針：平成 28 年度の実績を踏まえ所要額を計上し，下記のとおり配分する。

名称	配分額	摘要
電話料	120,000	1 月約 10,000 円×12
複写機保守	200,000	トナー費用等
NHK 受信料	54,000	所要額
計	374,000	

3 教育施設事業費

〈6,676 千円〉　配分方針：算定基礎額から上記 1,2,4,5 の計 3,932 千円を差し引いた 6,676 千円を計上する。

・各部門の運営費は，本経費から措置し，プログラムごとに 1 本とする。

・残りの 1,526 千円は全体管理分とし，その使途についてはこれまでどおり，留学生センター教員会議の協議を経て執行するものとする。（全体管理分予算計画内訳は別掲）

名称	配分額	摘要
総合日本語	900,000	消耗品（350 千円），謝金（300 千円），e ラーニング・履修登録システム管理費（250 千円）

		消耗品（350 千円），謝金（300 千円），eラーニング・履修登録システム管理費（250 千円）
日研	900,000	合宿等開催費（350 千円），レポート集（200 千円），パンフレット（100 千円），謝金（150 千円），旅費（100 千円）
研修	200,000	運営補助謝金（100 千円），消耗品費（100 千円）
KUSEP	250,000	プログラム運営費
日韓	50,000	謝金ほか
相談指導	100,000	
国際教育交流	150,000	謝金（45 千円），講演（60 千円），旅費（45 千円）
セメスター	200,000	旅費（90 千円），実習費（30 千円），謝金（80 千円）
文化体験	1,900,000	プログラム運営費
KUEST	100,000	謝金ほか
KUMAP	100,000	新規プログラム，謝金ほか
センター共通	300,000	教員全員で管理
留学生センター	1,526,000	内訳は「全体管理分予算計画」参照
計	6,676,000	

4 非常勤教員人件費 〈470 千円〉

名称	配分額	摘要
非常勤講師	470,000	文化体験授業留学生センター負担分

5 特別教育事業費 〈88 千円〉

名称	配分額	摘要
講師等旅費	88,000	文化体験授業留学生センター負担分

平成29年度全体管理分予算計画額＜1,526 千円＞

事項	金額	備考
包括ソフトウェア負担分	50,000	留学生センター負担分
掲示板等サーバ管理費	300,000	ライセンス更新，電源周り機器更新，周辺ソフト更新
「留学生センター紀要」	450,000	前年度実績額
「留学生センターニュース」	120,000	前年度実績額
留学生センター活動費	300,000	ジャパンテント，PII，その他
全体管理予備費	306,000	

	1,526,000	

1.5.4　平成 30（2018）年度

☆算定基礎額 10,671 千円（前年度比 63 千円増）

1 基盤研究経費

<3,100 千円>　　配分方針：配分方針：1 人当り 300 千円（電子ジャーナル負担分 22,750 円を含む）を計上し配分する。

名称	配分額	摘要
専任教員×8 人 特任教員×4 人	3,100,000	専任教員 300 千円，特任教員 200 千円（うち，1 人のみ 100 千円）

2 部局等特別管理運営費

<354 千円>　　配分方針：平成 29 年度の実績を踏まえ所要額を計上し，下記のとおり配分する。

名称	配分額	摘要
電話料	100,000	所要額
複写機保守	200,000	所要額
NHK 受信料	54,000	所要額
計	354,000	

3 教育施設事業費

<6,659 千円>　　配分方針：算定基礎額から上記 1,2,4,5 の計 4,012 千円を差し引いた 6,659 千円を計上する。

・各部門の運営費は，本経費から措置し，プログラムごとに 1 本とする。

・残りの 1,759 千円は全体管理分とし，その使途についてはこれまでどおり，留学生センター教員会議の協議を経て執行するものとする。（全体管理分予算計画内訳は別掲）

名称	配分額	摘要
総合日本語	900,000	消耗品（350 千円），謝金（300 千円），e ラーニング・履修登録システム管理費（250 千円）
日研	900,000	合宿等開催費（350 千円），レポート集（200 千円），パンフレット（100 千円），謝金（150 千円），旅費（100 千円）
研修	200,000	運営補助謝金（100 千円），消耗品費（100 千円）
KUSEP	250,000	プログラム運営費
日韓	100,000	謝金（50 千円），消耗品費（50 千円）
相談指導	100,000	
国際教育交流	150,000	謝金（45 千円），講演（60 千円），旅費（45 千円）

セメスター	200,000	旅費(90 千円), 実習費(30 千円), 謝金(80 千円)
文化体験	1,900,000	プログラム運営費
KUEST	100,000	謝金ほか
KUMAP	100,000	謝金ほか
国際機構	1,759,000	内訳は「全体管理分予算計画」参照
計	6,659,000	

4 非常勤教員人件費 〈470 千円〉

名称	配分額	摘要
非常勤講師	470,000	文化体験授業留学生センター負担分

5 特別教育事業費 〈88 千円〉

名称	配分額	摘要
講師等旅費	88,000	文化体験授業留学生センター負担分

平成30年度全体管理分予算計画額＜1,759千円＞

事項	金額	備考
包括ソフトウェア負担分	182,000	留学生センター負担分
掲示板等サーバ管理費	300,000	ライセンス更新, 電源周り機器更新, 周辺ソフト更新
「留学生センター紀要」	350,000	前年度額−100,000 円(前年度執行額を勘案)
「留学生センターニュース」	100,000	前年度額−20,000 円(前年度執行額を勘案)
留学生センター活動費	300,000	ジャパンテント, PII, その他
全体管理予備費	527,000	
	1,759,000	

1.5.5 平成 31/令和元 (2019) 年度

☆算定基礎額 10,671 千円(前年度比 150 千円減)

1 基盤研究経費

〈3,100 千円〉

配分方針:配分方針:1人当り300千円(電子ジャーナル負担分21,375円を含む)を計上し配分する。

名称	配分額	摘要
専任教員×8 人 特任教員×4 人	3,100,000	専任教員 300 千円, 特任教員 200 千円(うち, 1 人のみ 100 千円)

2 部局等特別管理運営費

〈354 千円〉　　配分方針：平成 30 年度の実績を踏まえ所要額を計上し，下記のとおり配分する。

名称	配分額	摘要
電話料	100,000	所要額
複写機保守	200,000	所要額
NHK 受信料	54,000	所要額
計	354,000	昨年度比と同額

3 非常勤教員人件費　〈472 千円〉

名称	配分額	摘要
非常勤講師	472,000	文化体験授業国際機構負担分

4 特別教育事業費　〈88 千円〉

名称	配分額	摘要
講師等旅費	88,000	文化体験授業国際機構負担分

5 教育施設事業費

〈6,509 千円〉　　配分方針：算定基礎額から上記 1～4 の計 4,012 千円を差し引いた 6,509 千円を計上する。

・各部門の運営費は，本経費から措置し，プログラムごとに 1 本とする。

・残りの 1,609 千円は全体管理分とし，その使途についてはこれまでどおり，国際機構教員会議の協議を経て執行するものとする。（全体管理分予算計画内訳は別掲）

名称	配分額	摘要
総合日本語	900,000	消耗品（350 千円），謝金（300 千円），e ラーニング・履修登録システム管理費（250 千円）
日研	900,000	合宿等開催費（350 千円），レポート集（200 千円），パンフレット（100 千円），謝金（150 千円），旅費（100 千円）
研修	200,000	運営補助謝金（100 千円），消耗品費（100 千円）
KUSEP	250,000	プログラム運営費
日韓	100,000	謝金（50 千円），消耗品費（50 千円）
相談指導	100,000	
国際教育交流	150,000	謝金（45 千円），講演（60 千円），旅費（45 千円）
セメスター	200,000	旅費（90 千円），実習費（30 千円），謝金（80 千円）
文化体験	1,900,000	プログラム運営費
KUEST	100,000	謝金ほか
KUSDP	100,000	新規プログラム，謝金ほか
国際機構	1,609,000	内訳は「全体管理分予算計画」参照

計	6,509,000	

平成 31/令和元年度全体管理分予算計画額＜1,609 千円＞

事項	金額	備考
包括ソフトウェア負担分	195,515	国際機構負担分
掲示板等サーバ管理費	300,000	ライセンス更新，電源周り機器更新，周辺ソフト更新
「国際機構紀要」	450,000	前年度実績額+5,000 円（前年度執行額を勘案）
「留学生センターニュース」	0	廃止
国際機構活動費	300,000	ジャパンテント，PII，その他
全体管理予備費	363,485	
	1,609,000	

1.5.6　令和 2（2020）年度

☆算定基礎額 10,319 千円（前年度比 305 千円減）

1 基盤研究経費

〈3,000 千円〉　配分方針：配分方針：1 人当り 300 千円（電子ジャーナル負担分 21,375 円を含む）を計上し配分する。

名称	配分額	摘要
専任教員×8 人 特任教員×2 人	3,000,000	専任教員 300 千円，特任教員 200 千円（うち，1 人は 100 千円）

2 部局等特別管理運営費

〈329 千円〉　配分方針：令和元年度の実績を踏まえ所要額を計上し，下記のとおり配分する。

名称	配分額	摘要
電話料	100,000	所要額
複写機保守	200,000	所要額
NHK 受信料	42,000	所要額
計	329,000	昨年度比と同額

3 非常勤教員人件費　〈470 千円〉

名称	配分額	摘要
非常勤講師	470,000	文化体験授業国際機構負担分

4 特別教育事業費　〈88 千円〉

名称	配分額	摘要
講師等旅費	88,000	文化体験授業国際機構負担分

5 教育施設事業費

〈6,432 千円〉　　配分方針：算定基礎額から上記 1～4 の計 3,887 千円を差し引いた 6,432 千円を計上する。

・各部門の運営費は，本経費から措置し，プログラムごとに 1 本とする。

・残りの 1,732 千円は全体管理分とし，その使途についてはこれまでどおり，国際機構教員会議の協議を経て執行するものとする。（全体管理分予算計画内訳は別掲）

名称	配分額	摘要
総合日本語	900,000	消耗品（350 千円），謝金（300 千円），e ラーニング・履修登録システム管理費（250 千円）
日研	900,000	合宿等開催費（350 千円），レポート集（200 千円），パンフレット（100 千円），謝金（150 千円），旅費（100 千円）
研修	200,000	運営補助謝金（100 千円），消耗品費（100 千円）
KUSEP	250,000	プログラム運営費
相談指導	100,000	
国際教育交流	150,000	謝金（45 千円），講演（60 千円），旅費（45 千円）
文化体験	1,900,000	プログラム運営費
KUEST	100,000	プログラム運営費
超短期ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	200,000	プログラム運営費
国際機構	1,732,000	内訳は「全体管理分予算計画」参照
計	6,432,000	

平成 31/令和元年度全体管理分予算計画額＜1,732 千円＞

事項	金額	備考
包括ソフトウェア負担分	185,175	国際機構負担分
掲示板等サーバ管理費	300,000	ライセンス更新，電源周り機器更新，周辺ソフト更新
「国際機構紀要」	450,000	前年度実績額+5,000 円（前年度執行額を勘案）
国際機構活動費	300,000	踊り流し，FD 謝金等
全体管理予備費	496,825	
	1,732,000	

1.5.7　非常勤講師手当等実績（平成 27～令和 2 年度）

FY	前期			後期			合計		講師等旅費
	人数	時間数	金額	人数	時間数	金額	（時間）	（円）	（円）
27	33 (0)	1,676	9,588,240	36 (0)	1,890	10,743,800	3,566	20,332,040	2.360,000
28	36 (0)	1,650	9,413,240	34 (1)	1,797	10,226,700	3,451	19,639,940	2,493,680
29	40 (0)	1,890	10,771,640	39 (0)	1,562	8,887,320	3,452	19,658,960	2,534,625
30	45 (0)	1,944	11,049,440	43 (2)	1,858	10,109,880	3,802	21,159,320	2,530,625
31/1	45 (0)	1,628	9,247,520	34 (2)	1,810	10,291,000	3,524	19,538,520	2,222,755
2	39 (0)	1,386	7,844,760	27 (0)	1,214	6,917,640	2,600	14,762,400	86,900

＊（　）内は，無給講師であり，内数に含める。

１．６　人事

2012（平成 24）年 4 月の組織改編に伴って，「金沢大学国際機構規程」（規程 1726 号）第 10 条に基づき，「金沢大学国際機構教員及び客員教員選考規程」（平成 24 年 4 月 1 日施行，規程第 1812 号）が定められていたが，その後，「国立大学法人金沢大学教員選考基準」第 9 条第 1 項の規定に基づき，本機構における教員の選考に関した必要な事項を定めるために、「国立大学法人金沢大学国際機構教員選考細則」（平成 26 年 10 月 17 日施行）（以下「選考細則」と言う。）が定められ，「金沢大学国際機構教員及び客員教員選考規程」は廃止された。従って，本報告書が扱う時期の人事案件は，この「国立大学法人金沢大学国際機構教員選考細則」に基づくものである。

選考細則の第2条では，「機構の教員の採用及び昇任に係る選考手続きに関しては，「国立大学法人金沢大学教育職員の採用・昇任に係る選考手続きに関する規程」（2014（平成26）年4月1日）及び「教育職員の採用・昇任に係る選考手続きに関する運用方針」（2014（平成26）年4月1日）に定めるもののほか，この細則の定めるところによる。」としている。また，同第4条によると，機構長は，機構の教員の採用又は昇任を行う必要が生じたときには，金沢大学国際機構運営会議の議を経て，機構長，副機構長，機構の教授若干人，国際企画会議の委員で機構長が指名する者2人をもって組織する「選考委員会」を設置し，選考委員会の長は機構長が務める。選考委員会は，候補者の資格，適性等について審査

を行うが，昇任人事にあっては，「必要に応じて学外者又は学内者による2名以上のピアレビューアーを選出し，ピアレビューを実施する。ただし，教授昇任におけるピアレビューは原則として学外者により行う。」（第6条）としている。同第7条によると，選考委員会は，審査後すみやかに機構長に結果を報告する。機構長は，この報告を受けて，これを運営会議の議に付するが，出席した構成員の3分の2以上の多数をもって議決する。また，機構長は，教員候補者を決定した場合は，当該候補者を学長に申請することになっている。（同第8条）また，「国際機構の教員の採用及び昇任選考における基準を定める」ために「国立大学法人金沢大学国際機構教員採用・昇任選考内規」（2014（平成26 ）年10 月17 日）が設けられている。

2015（平成 27）年 4 月 1 日採用の 3 件，同年 5 月 1 日採用の 1 件，2017（平成 29）年 11 月 1 日採用の 1 件，2018（平成 30）年 2 月 1 日昇任の 1 件，2019 年（令和元）年 7 月 1 日採用の ~~1~~2 件及び昇任の 1 件，2020（令和 2）年 4 月 1 日採用の 1 件及び昇任の 1 件，同年 6 月 1 日採用の 1 件，2021 年 10 月 1 日採用の 1 件及び同年 11 月 1 日採用の 1 件は，これらの新規規程による選考が行われた。なお，「金沢大学国際機構規程」の第 5 条には，「機構長は，本学の副学長をもって充て，機構の運営・管理を総括する。」と，また「副機構長は機構長が選考し，学長が任命する。」とあり，2020 年 4 月 1 日着任の国際機構長及び副機構長はこの規程に基づいて選任されている。

１．７　施設・設備

1.7.1　施設・設備の現状

国際機構には固有の建物・施設がない。現在のところ，事務組織は本部棟に，教員の研究室は総合教育棟（総合教育 1 号館 3 階）にある。うち教員の個人研究室が 11 室，共同研究室，非常勤講師室，カウンセリングルーム，いしかわ金沢学室，国際交流スペース（2019 年 4 月運用開始）といった共用室が 5 室となっている。

国際機構が提供している授業に関しては，総合教育講義棟や自然科学講義棟，医学部 F 棟，体育館等の講義室や演習室等を利用している。

留学生の居住施設としては，国際交流会館と学生留学生宿舎「先魁」（1～5 号棟）と「北冥」（6～9 号棟）がある。国際交流会館は，鉄筋コンクリート５階建てで，住居室数は留学生用が 68 室（うちレジデントアドバイザーの日本人学生用 6 部屋を含む），研究者等用が 11 室である。また先魁（定員 104 人）は，2012 年 10 月に設置された日本人学生との混住型施設で，1 ユニット 8 人のシェアハウス型宿舎であり，8 人のうち 2 人が日本人学生で，レジデントアドバイザーとして留学生を支援する。北冥

（定員 200 人）は 2017 年に設置された新しい宿舎であり，1 ユニット留学生 3 人と日本人学生 2 人の 5 人によるシェアハウス型宿舎である。

1.7.2　施設・設備の将来計画

国際機構固有の建物を要求する予定はないが，2014 年 10 月に採択されたスーパーグローバル大学創成支援事業により，受入れ留学生の増加が数値目標として掲げられている。留学生数の増大に伴う日本語の授業や，短期留学生受入れプログラムの大幅な増加が見込まれる。それと同時に，YAMAZAKI プランによる全学の教育カリキュラムの改革の影響もあり，総合教育棟を中心に教室の確保にはかなりの困難が生じている。

また上記の国際交流スペースは，国際機構が国際基幹教育院の国際教育部門を兼任することにより，特に共通教育を受講する日本人学生と留学生との交流を促進する目的で獲得した共用室である。教員研究室 3 部屋分 60㎡の広さであり，2019 年度時点ではプロジェクターとスクリーンのみの設備しかないが，これから数年計画で防音工事と音響設備を充実させる予定であり，金沢大学の国際化を推進するために活用されていくことが期待される。

２　教　　育

２．１　日本語教育

本学の留学生に対する日本語教育は、国際機構が担っている。本節では、全学の留学生を対象とした総合日本語プログラムについて述べる。

２．１．１　総合日本語プログラム

概要

「総合日本語プログラム」（Integrated Japanese language Program, IJLP）は、本学に在籍するすべての留学生を対象とした日本語教育プログラムである。対象者は、本学の学類生、大学院生など学位の取得を目的として学ぶ留学生をはじめ、海外協定大学からの短期交換留学生、研究生、科目等履修生および本学の外国人研究者等である。教育目標は、2014年度に実施したニーズ調査[1]を踏まえ、1）大学での日常生活、大学での講義や研究に必要な日本語力を身につける、2）日本語学習を通して、日本の社会や文化への理解を深めることである。プログラムは、総合的な日本語力を高める「総合クラス」（週 2～4 コマ）と、日本語の文字・語彙を学ぶ「漢字・語彙クラス」（週 1 コマ）、4 技能のいずれかに焦点を当てて学べる「技能別クラス」（週 1 コマ）、そして「ビジネス日本語」から成る（図 1）。これらの科目は日本語の熟達度によって 8 レベル[2]から構成され、本学に入学して初めて日本語を学ぶ初学者レベル（JPN0 レベル）から、日本語で研究や学習が問題なく遂行できる上級レベル（JPN7）まで展開されている。学習者は入学時あるいは初めて総合日本語プログラムで日本語を学ぶ学期の開始前にプレイスメントテストを受け、その結果判定された日本語レベルの中から学びたいクラスを選択し、履修する。

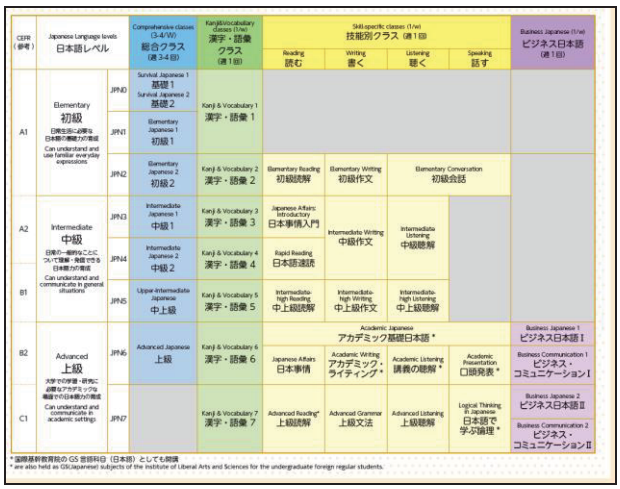


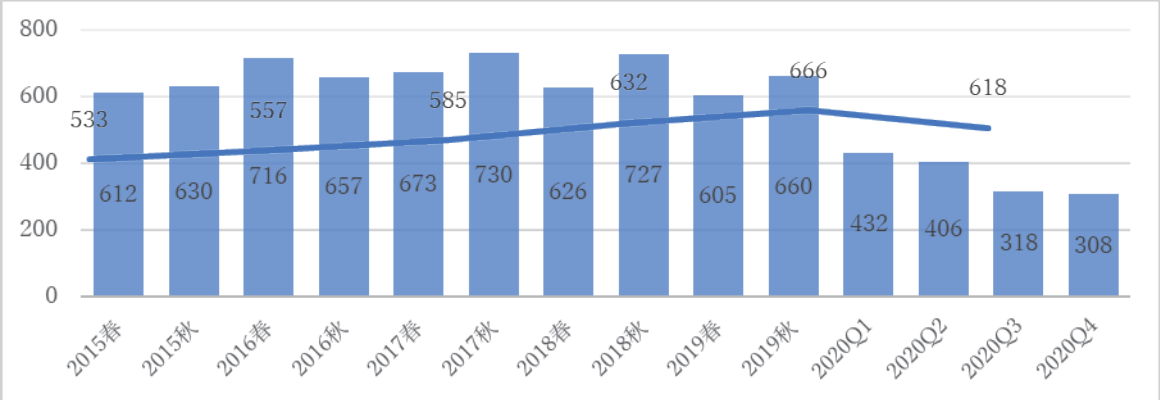
図１　総合日本語プログラム　開講科目一覧

[1]峯正志・深川美帆（2015）「金沢大学総合日本語プログラムにおける学習者のニーズ調査報告」金沢大学留学生センター紀要（18）45-61.

[2] 2020 年以前は 7 レベルとしていたが、2020 年秋より、8 レベルとしている。

履修者数

本学の国際化推進の方針による留学生数の増加に伴い、総合日本語プログラムの日本語科目履修者数は増加している。例年、全留学生数の約 3 分の 2 の学生が何らかの日本語科目を履修していることになる。その内訳をみると、10 年ほど前までは、大学院での研究のために留学する予備教育課程の学生や、海外協定校からの短期交換プログラム生が履修者の大半を占めていたが、近年、正規の大学院生の履修者も増えている。その背景としては、大学院の正規留学生が増加していることを受け、正規学生のニーズに合った授業を提供するようにしたこと、ビジネス日本語教育（後述）および留学生への就職支援体制の認知度の高まりにより、正規学生の中に日本語学習を選ぶ学習者が増加したことにある。



注　棒グラフは総合日本語履修者数（人数はのべ数）、折れ線グラフは全留学生数の推移を表す

図 2　全留学生数および総合日本語履修者数の推移

開講科目

2015 年 4 月から 2021 年 3 月までの開講科目の変遷と履修者数を本節末の「資料 1　開講科目一覧」に示す。

留学生数の増加、そして学習者の属性の変化に対応するため、開講クラス数および科目の種類も増加した。特に 2017～2019 年にかけては、履修者数の増加に応えるため、同じ内容の科目を 2 クラスずつ開講するなどして対処してきた。また、多忙な正規学生が日本語学習を継続できるよう、新たに理工系大学院留学生を主な対象とした入門クラスや技能別クラスも増設し、充実を図ってきた。

教育体制

2015 年 4 月から 2021 年 3 月までの科目担当者を本節末の「資料２　授業担当者一覧」に示す。

本プログラムの授業は国際機構の専任教員と非常勤講師が担当する。総合クラスのように週に複数コマ開講される科目については、チームティーチングによる教育を行っている。

毎回の授業記録を教師間で共有することで、スムーズな授業運営を可能にするとともに、自分が担当する科目以外の授業の様子や学生の様子を教師間で共有することができる。授業記録は、独自に構築した授業履修・記録システム[3]およびSlack[4]を活用している。加えて、学期途中にコーディネーターとクラス担当者間で「クラス報告」として定期的な情報交換を行い、履修登録や学習者の学習不振の早期発見・対処に生かしている。こうした綿密な連絡体制を取ることで、普段の学習者の学習状況を多角的に把握し、より適切な学習支援を可能にしているほか、履修している留学生の心身の不調の早期発見にもつながり、関係する教員や、ケースによっては本学カウンセラーへの連絡体制もできている。学期中のクラス運営は、毎学期の終了時に、各クラスの教育内容の振り返りを講師ミーティングで共有し、次の学期への改善に向けて準備をするというPDAサイクルが構築されている。

コースアンケート結果

2010年度以降、毎学期、すべての科目で学期末に履修生に対してコースアンケートを実施し、授業の進め方、授業内容、教師の教え方などについて学生からのフィードバックを得、これを次の学期やコース改変に活かしている。表1は、このコースアンケートの質問項目のうち、「このクラス全体の評価は…／Overall, this class is」と「先生に対する全体的な評価は…／Overall, I am satisfied with the teacher(s)of this class.」の2項目について、5段階のリカートスケール（5:とてもよい、4:よい、3:ふつう、2:あまりよくない、1:よくない）での回答結果を集計して示したものである（回答率の平均は40.3%)。これを見てもわかるように、授業そして教師への評価はそれぞれ平均が4.35ポイント、4.51ポイントと総じて高く、学生のほとんどは総合日本語プログラムの教育内容と方法に満足していることが確認できた。2020年度は春、秋ともに全面オンラインの遠隔教育だったが、これまでと満足度を落とすことなく授業が提供できたことを示している。

表1　総合日本語プログラム　コースアンケート　集計結果（全体的評価）

	2015春	2015秋	2016春	2016秋	2017春	2017秋	2018春	2018秋	2019春	2019秋	2020春	2020秋
クラス全体の評価	4.07	4.22	4.30	—	4.27	4.37	4.29	4.49	4.28	4.51	4.53	4.52
教師への評価	4.30	4.44	4.53	—	4.41	4.55	4.17	4.63	4.48	4.67	4.69	4.70

[3] 本学留学生センター（当時）で独自に設計・開発したシステム。詳細は深川美帆・山本洋（2012)「総合日本語プログラムにおける履修登録・授業記録システムの構築」『金沢大学留学生センター紀要』（15) 45-58. を参照されたい。

[4] Slackとはビジネスチャットツールの1つである。https://slack.com/

特筆すべき成果

１．LMS を活用した学習体制の構築

2010 年以前には、日本語を含む留学生向け科目で利用できる学内の LMS がなかったため、2011 年度から独自に日本語科目用の LMS（moodle）を構築し、日本語教育に活用している。導入後、絶えず整備を進めてきており、2016 年度には、漢字・語彙クラスのオンライン・コースコンテンツを作成し、本学の学生であればだれでも利用できるよう、LMS 上で公開している。このコースにはこれまでに 161 名の履修者がおり、特に研究で多忙な学生がこのオンラインコースを用いて自習に活用している様子である（表 2）。これに加え、特に、近年増加している理工系大学院生向けのサバイバル日本語教材は、テキストに加え、映像教材、各種クイズなどを整備し、総合日本語プログラムの「基礎 1」「基礎 2」の授業で活用している。これらの成果については節末の教育実践・研究の成果を参照されたい。

表 2　LMS 自習コース履修登録者数

敬語 e ラーニング（自習用コース）	21
漢字・語彙 1（自習用コース）	43
漢字・語彙 2（自習用コース）	21
漢字・語彙 3（自習用コース）	19
漢字・語彙 4（自習用コース）	25
漢字・語彙 5（自習用コース）	32

2017 年秋学期以降は、その後の留学生数増加を予見し、この LMS（moodle）を本学の教務システムと連携させ、これにより、総合日本語プログラムの全日本語科目の履修登録情報が moodle と shibboleth 認証でつながることで、それまで総合日本語プログラムコーディネーターと国際部職員が人力で行っていた登録作業が自動化された。その後もシステムの定期的なメンテナンスと各クラスでの活用方法を教師間で共有するなど教師への FD を継続的に続けていたことで、2020 年度 4 月の急激な全面遠隔授業への転換にもスムーズに移行できた。

２．コロナ禍での対応－オンライン化へのシフト－

例年、上述のような形で多くの留学生を受けて教育を行ってきたが、2020 年 4 月以降はコロナ禍の影響で、受け入れ予定の新規渡日予定者が入国できず、また、感染状況が悪化した時期は大学がロックダウンされ対面授業ができなくなったため、これらすべての授業を、急遽、従来の対面授業から遠隔授業に全面的に切り替えて教育を行うことにした。特に、2020 年春学期は、既に日本国内に居住する留学生と、入国できず海外から授業を履修する留学生が 1 つのクラスに混在しており、遠隔授業を実施するにあたっては、インターネット接続環境や時差の問題など、学期開始までほとんど時間がない中、解決すべき問題が多くある中、予定通り開講し、学習者への教育を提供し続けた[5]。

[5] 深川美帆（2021）「コロナ禍における総合日本語プログラムの遠隔教育－国際交流と言語教育を止めないための試み－」金沢大学国際機構紀要（3），73-89.

また、学生数の増加に伴い、これまでは対面で行っていた新規入学者を対象とした総合日本語プログラムのオリエンテーションと日本語クラスのレベル判定のためのプレイスメントテストを、コロナ禍の影響もあり、予定を前倒しして 2020 年春学期から開始した。これにより、渡日前に国でオリエンテーションとプレイスメントテストを受けることも可能になり、学期開始までにクラスレベルを決定し、スムーズに学習が開始できるようにしている。このオンラインでの実施手順の概要については、本学国際機構ウェブサイト ＞ 総合日本語プログラムで毎学期周知・説明を図っている。

３．ビジネス日本語教育の充実

本学における留学生へのビジネス日本語教育は、「アジア人財」[6]が 2012 年に終了して以降も、総合日本語プログラムの日本語科目として開講を続け、2017 年度以降は総合日本語プログラムの科目としてだけではなく、「留学生就職促進プログラム」[7]の中のビジネス日本語教育としても位置付けられ、カリキュラムの見直しや教材化のさらなる充実をたゆまず続けてきた（深川他 2021）[8]。これまでの履修者の多くは、日本国内の企業への就職の他、交換留学生の中には帰国後に母国の日系企業へ就職する者も少なくない（深川他 2016）[9]。

４．日本語プログラムの可視化－レベル、科目ナンバリンクの整備

総合日本語プログラムの科目は多種多様で数も多く、また科目名だけでは日本語レベルを判断することが難しい状況であった。また、かねてから、交換留学生が母国に提示する際、科目名から、日本語能力レベルや内容を知ることが難しいという指摘もあった。そこで、2019 年度から科目名を刷新し、新たに独自の科目ナンバリングを整備し、学習者およびそのステークホルダーである人々にもわかるようにした（表 3)。「JPN」の後の数字は、日本語のレベルを表しており、その後に各科目の番号が続く。

---

[6]「アジア人財資金構想高度専門留学生育成プロジェクト」（アジア人財）とは、経済産業省・文部科学省共催で 2007 年度から始まったプロジェクトである。

[7]「留学生就職促進プログラム」とは文部科学省の委託事業で、本学は信州大学との共同プログラムを実施している。

[8] 深川美帆・笹原幸子・小島荘一・太田亨・佐藤友則（2021)「北陸・信州の日本企業が入社後の外国人社員に求めるビジネス日本語スキル―リカレント教育に関する企業ニーズ調査から見えたこと―」『BJ ジャーナル（4)』

[9] 深川美帆・山本洋・太田亨・小島荘一（2016)「留学生のキャリア形成とビジネス日本語教育-ビジネス日本語講座受講生への追跡調査から-」シンガポールビジネス日本語教育国際研究大会論文集

表３　科目ナンバリング

科目ナンバー	科目名（2020 秋以降）	科目名（2020 春まで）
JPN0XX	基礎（サバイバル）	日本語 AS
JPN1XX	初級１	日本語 A
JPN2XX	初級２	日本語 B
JPN3XX	中級１	日本語 C
JPN4XX	中級２	日本語 D1
JPN5XX	中上級	日本語 D2
JPN6XX	上級１	日本語 E
JPN7XX	上級２	日本語 F

５．クォーター制の導入

本学が全学的にクォーター制を導入したことに合わせ、総合日本語プログラムのすべての科目も 2021 年秋学期から、クォーター制を採用した。学習時間と学習目標から、学習内容は2クォーターで1つのレベルが完結するように構成されている。履修登録がクォーターごとになったことで、履修する学生に対しても、成績結果の開示をクォーターごとにし、専門の学習や研究の都合で、日本語学習を中断しても、再開したいときには、自分の修了した時点から再度クラスを履修できるようになったことで、学習の継続をしやすくなるという利点もある。

今後の課題

１．本学の国際化戦略と留学生教育現場の機動的連動

課題としてまず挙げられるのは、本学の国際交流および留学生受け入れに対する明確な方針が不明確なため、日本語教育をはじめとする留学生への教育に対する長期的で具体的な計画の見通しが立たないことである。現状では、留学生の日本語教育をどのように展開していくかを決定するにあたっては、総合日本語プログラムコーディネーターが国際部や部局と連携して次年度の入学予定者数を収集するなどし、対処している状況である。本学の国際交流をより促進、充実させるには、大学としての長期的な国際戦略が留学生教育に携わる国際機構の教員をはじめ、部局の教員・職員にも共有される必要がある。

２．学習者オートノミーを高める自律的学習支援体制の構築

今後、本学がどのような形であれ国際化を進めていけば、それに伴いより多くの、そしてより多様な身分、専門、社会的背景の学習者が増加し、その日本語学習の目的や方法も

多様化していくことが予想される。このことを考えると、日本語学習においては、履修者自身が自分の日本語能力の把握や学習目標を意識化し、主体的に学習に取り組めるようになることが望ましい。総合日本語プログラムでは、引き続き留学生のニーズを把握し、彼等の日本語学習を効果的に促進する教育プログラムの改編・立案を続けるとともに、LMS上に学習ポートフォリオのような機能を設定し、学習者が入学から卒業・修了までに、自分自身で日本語学習に計画性をもって臨み、日本語学習が継続できるような学習支援のシステム構築も整えていく予定である。

（開講科目・履修登録者数・科目担当者については巻末の資料を参照のこと）

２．２　日本文化・社会学習プログラム

2.2.1 概要

「日本文化・社会学習プログラム」は，平成 23 年春学期まで，旧留学生センターの留学生受け入れプログラムごとに独立して開講されていた日本文化および社会体験科目を一つに統合した科目群，すなわち「日本文化・社会体験プログラム」としてスタートした。この科目群の需要も年々増してきて，これらをさらに拡充させるために体験型だけではなく，講義型授業も取り入れた。それに伴って，平成 27 年度に名称も現在の「日本文化・社会学習プログラム」に変更した。このプログラムの目的は，旧留学生センターおよび国際機構の受け入れプログラムの枠を超えた留学生の履修を可能にすると同時に，本学の日本人学生にも開講し，日本文化や日本社会について留学生と日本人学生が共に学ぶ場を提供することである。

詳細は次の通りである。もともと「日本文化体験」という授業は、旧留学生センターに所属する金沢大学の協定校から派遣された短期留学生のための授業として金沢大学短期留学プログラム（KUSEP)および日本語・日本文化研修プログラム等それぞれのプログラムにおいて授業の一部で行われていたが、

・プログラムに参加する留学生数が授業設置当初の２倍以上となり，従来の授業形態での実施に限界が生じてきたこと、
・旧留学生センター所属以外の留学生からの文化体験授業へのニーズを満たすこと、
・留学生だけではなく留学生と日本人が共に学ぶ授業が求められていること，

等の理由から、これまでの文化体験授業のあり方を見直す必要に迫られていた。そこで、平成 22 年度秋より留学生センターの教員により文化体験プログラムワーキンググループが結成され、「新たな文化体験プログラム」についての議論が重ねられ、平成 22 年度秋学期よりＷＧメンバーがそれぞれに企画した科目を開講するに至った。

平成 23 年度からの「日本文化・社会体験」科目の特徴は以下の通りである。

1) 留学生センターの留学プログラムの所属する留学生だけではなく、本学のすべての留学生が希望すれば受講できる。
2) 留学生と日本人が共に日本文化・社会について学べるよう、全ての科目をジョイント・クラスとしている。
3) 従来の体験授業にあった伝統文化の体験をより充実させ、さらにそれだけではなく現代の日本社会についても学べるコースなど、多様な科目を提供している。
さらに平成 27 年度からは主に国際機構留学生センターに SGU（スーパーグローバル大学創成支援）事業による新任した特任教員が加わることによって，留学生の増加人数に合わせてこの科目数を増やすことができた。その当時，体験だけではなく，講義型授業も取り入れたことによって「日本文化・社会体験プログラム」の名称も「日本文化・社会学習プログラム」に変更し，現在に至る。

2.2.2 開講科目

開講科目については資料集にある「文化体験プログラム」及び「日本文化・社会学習プログラム」の時間割を参照。

2.2.3 課題と展望

金沢大学は，平成 26 年度に「スーパーグローバル大学創成支援」(SGU) タイプ B 大学（10 年間）としてされ，すなわち全学生に占める外国人留学生の人数を大幅に引き上げることとなった。そのために，留学生が履修できる科目を充実させることが必要不可欠であった。そこに「日本文化・社会体験プログラム」を整理し，「日本文化・社会学習プログラム」として発展させることが旧留学生センターおよび国際機構の重要なミッションの一つであり，現在においてもそうである。その際，科目数を増やすことと，これらを充実させることには SGU による新規採用の特任教員が大きな力となった。これからも常にプログラムの内容を検討・整理し，より良いプログラムを提供できるように力を注いでいるが，SGU が終わった後，特任教員を採用することができなくなる時に，少なくともどのように科目数を維持するのかは大きな課題になるであろう。

２．３　留学生受け入れプログラム

２．３．１　日本語研修コース

プログラム概要と課題

本プログラムは大学院レベルの国費外国人留学生（研究留学生及び教員研修留学生）で，日本語等予備教育が「要」と判定された学生に対して実施されるプログラムである。日本での研究活動に必要な日本語能力を習得するため，6 ヵ月間で集中的に日本語を学習するコースとして開始し，週 5 日（1 日約 5 時間），日本語科目やアカデミックスキル学習科目が提供されていた。しかし、2010 年頃から大学院生の教育が英語でも行われるようになったことで、大学院の研究活動において必要な日本語能力の育成から、大学院生生活として必要な最低限の日本語コミュニケーション能力を獲得するためのプログラムへと変化した。そうした変化を受け、年間平均 10 名程度いた日本語研修コース生の数も年間平均で 2～3 名と減少し、短期交換留学生（KUSEP 生）が日本語研修コースの中心的な学生と変化していった。そして、日本語研修コースの中には初級～初中級日本語を学ぶ日本語学習を目的とした日本語集中コース（午前中開講）とアカデミックスキルを学ぶ午後のクラスが開講された。研究発表会は日本語集中コースの最終プロジェクトとして引き継がれた。

2014 年から始まった SGU 事業、2015 年から始まった KUEST プログラムなどにより、英語で学ぶ交換留学生や大学院生がさらに増加するようになった。しかし研究が中心であり、日本語を集中的に学ぶ時間は確保できないため、初級レベルだけで、週 2 回のサバイバルクラスが提供されるようになった。研究を主目的として来日する留学生にとって、日本語を集中的に学ぶというニーズが非常に低くなった状況を受け、2018 年度で日本語集中クラスの初級クラスを閉講した。そして 2019 年度で日本語集中クラスの初中級クラスを閉講し、日本語科目は総合日本語クラスに完全に一本化された。研修コースの終了時に行われていた成果発表会も行われなくなった。研修コース生については週に 1 度程度面談を行い、研究生としての生活や受験準備などで必要な助言をする支援活動を行った。2020 年度はコロナ禍であったため、オンラインでの研修活動となった。

日本語研修コースにおいて日本語研修「要」として回答されること自体がほとんどなくなっている現状で、日本語研修コースを別途設置する必要性はないと思われる。しかし旧留学生センター時代に構築された日本語の研修プログラム、初級者向けのアカデミックスキルの教育プログラムなどについては優れた点が多く、日本語教育機関等で共有されることが望ましいだろう。

２．３．２　日研プログラム

プログラム概要

金沢大学日本語・日本文化研修プログラム（以下、日研プログラムとする）は参加学生の日本語能力の向上及び、日本社会・文化に対する理解を促進することを目的とした全学習を日本語で行う 1 年間のプログラムである。

対象者は、

1) 日本語能力：日常生活に必要な日本語能力(日本語能力試験 N2 合格程度)を有し、平易な文章の読み書きができる者
2) 所属学部・学科：海外の大学において、日本語・日本文化に関する分野を専攻している者
3) 学年：海外の大学において 3、4 年次に在学中の者
4) 学習姿勢：日本研究に対し意欲的であり、1 年間積極的な姿勢で本コースの学習に専念する意志を有する者

としており、毎年世界各国から日本語、日本文化に関心のある学生を受け入れている。学生は一年間の研修期間において、日本社会や日本文化に関する様々な領域について学習しながら、修了論文を完成させることとなる。

○教育課程

本プログラムの教育課程は以下の通りである。

表　日本語・日本文化研修プログラム教育課程

授業科目		単位	
		秋学期	春学期
日本語	レベル別日本語	20	
	漢字		
	技能別日本語		
日本文化	日本文化演習Ⅰ	2	2
	日本文化演習Ⅱ	2	2
	日本文化・社会学習	2	
修了研究	調査実習	2	選択
	修了研究演習	2	2
	修了研究論文および研究発表		4
合計必修単位数		40	

受講者は主に午前中に総合日本語プログラムの授業をそれぞれの日本語能力（JPN3～7 レベル）に応じて履修する。午後は日研プログラムの日本文化演習Ⅰ、日本文化演習Ⅱ、調査実習、修了研究演習、日本文化・社会学習のクラスを履修する。日研生が行う修了研究については、修了研究発表会における発表、ならびに修了研究論文の提出により「修了研究論文および研究発表」の単位を取得することになる。

その他、本プログラムの学生は履修希望がある場合は、指導教員の許可を得て他部局の

授業科目を特別聴講することができる。また、秋学期に総合日本語プログラムの最上級レベルの日本語または漢字クラスを受講し合格した者、および指導教員が修了研究を行う上で必要であると認めた者については、他部局で開講する正規生用の日本語・日本文化に関する一般授業科目を履修することができる。

プログラムの時間割は次の通りである。

表　日本語・日本文化研修プログラム時間割

<table>
<tr><th>曜日
時間</th><th>月曜日</th><th>火曜日</th><th>水曜日</th><th>木曜日</th><th>金曜日</th></tr>
<tr><td>1限
(8:45 ~
10:15)</td><td colspan="5" rowspan="2">総合日本語プログラム</td></tr>
<tr><td>2限
(10:30 ~
12:00)</td></tr>
<tr><td>3限
(13:00 ~
14:30)</td><td></td><td>日本文化
演習Ⅰ</td><td></td><td>日本文化
演習Ⅱ</td><td></td></tr>
<tr><td>4限
(14:45 ~
16:15)</td><td></td><td>調査実習</td><td></td><td>修了研究
演習</td><td></td></tr>
</table>

本プログラムの学生は日本語能力の向上のみならず、日本語や日本文化・日本社会についての理解を深め、日本社会の現状や問題について様々な視点から考える力を養う。

日本文化演習Ⅰ・Ⅱ

日本文化演習Ⅰでは、日本社会に関するトピック、すなわち日本人の生活様式や家族、教育、言語、文学、歴史、経済、政治といった様々な領域にまたがる内容を、学内、学外の専門家の講義を元に学ぶ。プログラム生は日本社会の有り方を考察しつつ、それを手掛

かりに自国の社会や「自己」そのものの客観的な捉え方を形成する。

日本文化演習Ⅱでは、前述の日本文化演習Ⅰと連結する形で構成されており、日本文化演習Ⅰで扱った各テーマに関して、演習形式による発表・ディスカッションを行う。演習Ⅰがインプットであることに対し、演習Ⅱはアウトプットに相当することから、演習Ⅰで習得した知見をもとに、プレゼンテーションを通じ、日本社会の構造、諸問題についての理解をさらに深めることを目的とする。

調査実習

調査実習では、日本人学生と合同で少グループを形成し、比較文化的な観点から日本社会・文化についての合同調査・研究を行う。研究方法論を段階的に学びながら、その実践によって研究を進めていく。実習や訓練を通して、研究方法論や日本語によるプレゼンテーションスキルの習得を目指し、日本人学生とのインタビュー調査や討論会なども行う。このような日本人学生との共同学習を通して、より日常的なレベルにおける日本社会に対する理解を深め、それと同時に自国文化の再確認を試みる。この授業は金沢大学の日本人学生との国際交流も主眼においた学生参加型授業である。

修了研究演習 ／ 修了研究論文および研究発表

日研生は、日本に関わる研究テーマを一つ選び、約1年間にわたって行った研究を修了研究発表として口頭で発表し、研究論文としてまとめ、提出することが義務付けられている。研究方法論は日本人学生との合同調査、および修了研究演習の授業を通して身に付ける。本授業では研究に関する方法論や先行研究の扱い方、立論、論文執筆の方法などを学ぶ。

修了研究を通じて、研究対象を客観的に捉えながら深く考察・分析する能力を身に付けるとともに、日本語によるプレゼンテーション及びディスカッションの方法を習得することを目指している。

日研生の研究テーマは日研生自らが問題意識に基づいて設定するものであることから、その内容は実に多種・多様である。

以下に第20期から26期までの研究テーマを記載する。

○修了研究

第20期（2014年10月～2015年8月）

第20期においては、10ヶ国17名が本プログラムを受講した。

修了研究テーマは以下の通りである。

- 日本人における女装男子に対する意識調査
- 日本人大学生におけるお菓子に関する食行動と意識
- 日本人と留学生の部屋の整理に関する考察ー金沢大学の学生を対象にー
- 中国人日本語学習者における対のある自他動詞の習得についてー浙江工業大学の日本語学習者を中心にー
- 傾向を表す接尾辞「ポイ」「ガチ」「ギミ」「ゲ」の意味分析
- 在日インドネシア人 留学生における日本語の若者言葉の知識
- 日本人大学生における化粧の意識ー金沢大学と明治大学を対象としてー
- 日本人が果物を数えるときに使う助数詞についての考察
- 漫画・アニメにおける日本の妖怪ー妖怪のイメージの変化ー
- 大学生における異性友人関係に対する自己評価と客観評価の比較－金沢大学とチャナッカレ大学を対象に－
- 日本語における一人称代名詞の使用実態と使用意識～金沢の中高生の場合～
- 日本人におけるインターネット上での個人情報の記入に関する意識
- ケンペル著・志筑忠雄訳「鎖国論」を巡る諸問題　－翻訳の問題を中心に－
- 現代日本語の程度副詞における漢字使用意識
- 動画を見て使用する日本語母語話者のオノマトペについて－20 代と 50 歳以上の人を対象に－
- 翻訳における第二人称代名詞「あなた」及び「あんた」の使用実態
- 福島第一原子力発電所事故についての報じ方と原子力発電所を巡る報道　～ポーランドメディアを中心に～

修了研究発表会

開催日：2015 年 8 月 7 日（金）

○第 21 期（2015 年 10 月～2016 年 8 月）

第 21 期においては、9 ヶ国 18 名が本プログラムを受講した。

修了研究テーマは以下の通りである。

- 金沢大学大学生における中古品の使用事情 －古着を中心にー
- 日中観光行動における相違
- 日本人の中国人に対するイメージの地域差調査 －北陸地域と首都圏を例に－
- 外国語共通教育に関する学生の意識調査－金沢大学と北京工業大学を対象に－

・　スカジャンのデザインの変遷とその背景
・　大学生におけるイスラム教のイメージーイスラミックステート（IS）の影響を中心にー
・　日本のペットに関する法律と野良犬 ーフィンランドと比較してー
・　日本人女子大学生のメイクアップに対する意識と頻度 ー金沢大学生を対象にー
・　金沢大学の留学生におけるホームシックの現状とその要因
・　日本における労働に関する義務感
・　恋愛関係における告白に対する意識ー日本とヨーロッパの比較ー
・　副詞「全然」と共起する形容詞の肯定形式についてー世代による使用差を中心にー
・　日本マンガにおけるオノマトペの日タイ翻訳手法 ーマンガの効果音からー
・　依頼に対する断り表現についての日越対照研究
・　若者言葉「微妙」の使用場面
・　日中の入浴行動実態とジェンダー意識 ー日本と中国の大学生を対象としたアンケート調査に基づく考察ー
・　日越の大学生における同性婚に対する考え方
・　「できちゃった結婚」に対する意識 ー日越の大学生を比較してー

修了研究発表会
開催日：2016 年 8 月 8 日（月）

〇第 22 期（2016 年 10 月～2017 年 8 月）
第 22 期においては、7 ヶ国 11 名が本プログラムを受講した。
修了研究テーマは以下の通りである。
・　中国人留学生のアルバイト実態調査と満足度の要因分析
・　日本人大学生およびその親世代の中国・中国人に対するイメージの比較
・　Facebook 利用状況による消費行動への影響
・　家庭における子供のしつけー東京と石川の比較ー
・　アイスクリームの食嗜好調査 ー金沢大学の日本人学生を対象としてー
・　日本人の結婚観についての意識調査　ー石川県在住者を対象としてー
・　自身の名前に関する意識ー日本人の大学生と社会人を比較してー
・　恩田陸『エンド・ゲーム』に見る「恐怖」・「平和」・「真実」・「偽り」
・　「千と千尋の神隠し」の字幕から見る日・中・英言語差異と映像翻訳の関係
・　西洋の概念「〇〇主義」ー日本語・中国語における受容と差異ー

・　「がんばって」の使用状況　－使用場面と年代差を中心に－

修了研究発表会
開催日：2017 年 8 月 4 日（金）

○第 23 期（2017 年 10 月～2018 年 8 月）
第 23 期においては、7 ヶ国 13 名が本プログラムを受講した。
修了研究テーマは以下の通りである。
・　プロ野球 NPB に対する日本人の意識　―石川県在住者を中心に―
・　スイーツ男子に対する意識　－日本と中国の若者の比較－
・　日本人のハーフに対する意識調査
・　兄弟姉妹に対する我慢についての考察　－日本とポーランドを比較して－″
・　日本の家庭における「ただいま」と「お帰り」の使用意識
・　結果可能表現文における中国人日本語学習者の動詞選択－学習者の思考過程を中心に－
・　「あら」「あらー」「あらら」の使用意識調査
・　現代日本語における動詞「ひろう」「すてる」の多義構造－名詞との共起関係を中心に－
・　日本語とスンダ語における謝罪行動の対照研究
・　「メイドインチャイナ」に関する言説の計量テキスト分析－日本の五大新聞紙と日本語 Twitter ユーザーを中心に－
・　山林や動物に関する日本人の意識
・　伝統的な場所にある「モノ」に対する意識－日本人と国際観光客の比較－
・　同性友人・異性友人・恋人との関係の違いについて

修了研究発表会
開催日：2018 年 8 月 7 日（火）

○第 24 期（2018 年 10 月～2018 年 8 月）
第 24 期においては、8 ヶ国 15 名が本プログラムを受講した。
修了研究テーマは以下の通りである。
・　日本とベトナムの大学生における同棲意識について　－自己開示性の観点から－
・　「裏アカ」と「小号」からみる日中若者の SNS 利用習慣－呟く系 SNS：ツイッターと

Weibo を中心にー

- 日越大学生におけるオンラインショップの利用実態の比較
- スマートフォンチャットの終結部の日本・インドネシア対照研究
- ベトナム人と日本人の誘いに対する断り表現について
- 日本と欧米におけるビジュアルノベルに対する意識について
- 留学経験が日本人大学生の友人関係構築にもたらす影響ー金沢大学の日本人学生を中心にー
- 日本人のバスにおける着席行動に関する考察
- トルコ人と日本人の国際結婚に対する意識
- 棟端飾瓦における鬼面の成立　ー意義を中心にー
- 梶井基次郎文学における音楽性 ー「k の昇天ー或は k の溺死」を中心にー
- 19 世紀末のヨーロッパの雑誌における日本のイメージー大津事件の報道を中心にー
- テキストマイニングを用いたスポーツ記事見出しの分析
- アメリカ人と日本人のプライバシーに対する意識
- 日中女子大学生のメイクアップに対する行動と心理の比較

修了研究発表会

開催日：2019 年 8 月 7 日（水）

○第 25 期（2019 年 10 月～2020 年 8 月）

第 25 期においては、6 ヶ国 10 名が本プログラムを受講した。

修了研究テーマは以下の通りである。

- 現代中国人の脱物質主義価値観の特徴と政治に関する意識の実態に関する一考察
- 『万葉集』における玉をめぐって　-『詩經』との比較-
- 日本人とロシア人における日本語の仮名に連想される色字共感覚の対比
- 現在の日本の LGBT コミュニティにおけるカミングアウトに対する意識
- 日本とポーランドにおける芸者のイメージについてー既成概念の問題とその原因
- 筋力トレーニングに対する日本人の印象に関する意識調査
- 日本人の魚類嗜好に関する考察
- 口頭発表授業における学生のコメント意識
- 子供向けマンガにおける文末表現について
- 友人との共食場面における「遠慮の塊」に対する意識 ー日越の若者を対象としてー

修了研究発表会

開催日：2020 年 8 月 17 日（月）（オンラインにて実施）

〇第 26 期（2020 年 10 月～2021 年 8 月）

第 26 期においては、5 ヶ国 9 名が本プログラムを受講した。

修了研究テーマは以下の通りである。

- 大学生における口寂しさに対する食意識・行動 ―日本とベトナムの比較―
- 日本で生活している留学生の嗜好色と着用色の変化
- 日本とポーランドにおけるローマ・ミサの比較
- ペットの名前と名付け方―日本とポーランドの比較―
- 旅先での食行動における日中の差違とその要因 ―「国民性」を中心に―
- 日本のカラオケランキングから見る頻出語彙に関する考察―共起表現を中心に―
- チャットにおける笑い表現研究―日本とインドネシアの比較―
- 日本語音声教育の問題点について
- チャットにおける感嘆符の使用とその役割―インドネシアと日本の若者の比較―

修了研究発表会

開催日：2021 年 8 月 10 日（火）（オンラインにて実施）

課外活動・地域交流

教室外の日本を直接体験する機会としては、各学生に金沢市田上地域の「里親」を紹介するプログラムや、金沢市田上小学校への訪問、小松市国際交流協会との連携による様々な地域活動等、地域の交流行事への参加などがある。

その他、授業外の活動として、下記のような活動・イベントを定期的に行っている。

・修了研究中間発表合宿（4 月初旬）

・能登地域におけるスタディーツアー（8 月下旬）

・石川県内の酒蔵見学（2 月中）

・能登輪島大祭への参加　（8 月中）

・穴水牡蛎養殖場見学（3 月中）

・里親との白川郷見学（11 月～12 月）

・金沢の武家屋敷・金沢城・兼六園見学

現状と課題

金沢大学日本語・日本文化研修プログラムは本報告書編集時点で 27 期を数える。

先の報告書が対象期間としていた 2010 年～2015 年に、文部科学省が掲げていた本プログラム生の募集名目は「日本の大学において日本語能力及び日本事情，日本文化の理解の向上のための教育を受ける」ことであった。しかし 2022 年現在、それは「日本において研究を行うことを通じ、日本と自国との架け橋となり、両国ひいては世界の発展に貢献するような人材を育成すること」とその旨意を変え、「研究」がより全面に出されるようになってきている。本プログラムは長らく同一の名称を冠しながら、時代・社会状況の変化に応じ、求められる教育の有様も変化してきたと言えよう。

本学の日研プログラムでは、かつて日研生の研究成果を「レポート集」として刊行してきたが、2014 年以降は「論文集」と称することとなった。それは本学に留学に来るプログラム生達の大学院進学をはじめとするキャリア形成上のニーズと、指導に携わる側の教育方針が、ある程度呼応し始めた結果を踏まえてのものであり、それを具体的な形で示すための変更であった。ささやかな語句の変化にすぎない。しかし、これは本学のプログラムの指針を本格的に研究重視にシフトさせたことの確認であると同時に、内外への表明であったと捉えて頂ければ幸いである。

本報告書が対象とする期間はちょうどその転換からの 5 期にあたる。大学院進学のための予備教育としての本学プログラムの特質は徐々に協定校も周知するところなり、研究・進学志向の学生が優先的に本学に派遣される流れがこの間に確立した。多くの修了生が日本を含む各国の大学院に進学し、その後大学の教員となったものも多い。そして今度は自身の教え子を本学に派遣してくるという循環が複数の国々において見られるようになってきた。日本の高等教育機関において、数ヶ月以内という短期プログラムのニーズが高まる傾向にある昨今、日研プログラムのような長期の国費プログラムが持つ役割や利点は、おそらくこのような本学の状況からも見出すことができるのではないかと考えている。

一方で、本プログラムを巡る教育上の課題も多い。ここでは従来からある課題と新たな課題、一つずつ紹介しておく。

まず従来からあるものとして、修了研究論文の到達目標をどのあたりに設定するかという問題である。本学の日研プログラムの場合、修了後は大学院に進学し、研究を継続するケースが過半である。本報告書が対象とする期間の内、すでに大学を卒業している 24 期を例に挙げれば、15 名の修了生の内 3 名が日本国内の大学院に進学、1 名が母国の大学に教員として着任、2 名が母国において大学院に進学、3 名が現在日本で大学院進学の準備を行っている。多くの場合、彼らの現在の研究テーマは、本学で行った修了研究を発展させたものである。日研プログラムでの研究は、各自の関心に基づいた「自由研究」であると

はいえ、その間の研究テーマや質は、修了後の彼らのキャリア形成において重要な意味を持つ。無論、プログラムの制度上、修了後は本国に戻り母国の大学において残りの教育課程を終えるわけであるが、研究に関しては本学で行ったものをそのまま継続させるケースが殆どである。そのため、指導にあたる側からすると、修了研究に対する要求は自ずと高くならざるをえない。しかし、すべてのプログラム生が大学院に進学するわけではないため、一律に同等の目標を強いることは却って学習動機を低下させることにも繋がりかねない。よって、プログラム生全体で行う授業と個別指導のバランスを、個々のニーズに配慮しながら調整することが必要となってくるのであるが、それに対する明確な方策は未だ見いだせていない。

そして、新たな問題としてやはり挙げておかなければならないのが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴うオンライン環境下での指導のあり方である。2019 年冬に端を発したこの状況は、25 期、26 期日研生の学習環境に多大な影響を及ぼすこととなった。対面での授業がオンライン授業に移行したことで、より効率的な学習が可能になった面もある一方、各種課外活動や地域交流、日研プログラムの定例イベントなど、様々な活動が一律に中止となった。従来であれば当たり前のように得られていた留学の醍醐味とも言える「現場体験」の機会が失われてしまったのである。修了研究についてみれば、25 期、26 期生の研究が、それ以前の年度と比較して質の低下を見るようなことは結果的に起こらなかったものの、そこに至る過程や共に学ぶ環境の変化がプログラム生にもたらしたものは、決して肯定的に捉えられるものばかりではなかったと考えている。オンライン授業でできることとできないことといったテクニカルな問題だけではなく、修了研究論文というわかりやすいアウトプットからは測ることができないプログラム生の学習意識の把握、ならびに身体面・社会生活面・精神心理面に対する包括的なケアのあり方についての検討が喫緊の課題である。

2.3.3　金沢大学短期留学プログラム(KUSEP)

2.3.3.1　コース概要

このプログラムは 1998 年に開始された。金沢大学と交流協定を締結している大学等から留学生を受け入れ，日本語教育，主に英語による日本事情・日本文化及び各専門分野の授業科目を提供する半年または 1 年間の特別のプログラムであった。

プログラムの教育を通じ，また広く世界の学生との交流を進めながら，留学生は日本への理解を深めていくこと及び国際社会で活躍する人材に育つことが期待されている。さらに，この短期留学が，留学生の日本に関する研究あるいは金沢大学で専門的な研究に取り組むきっかけとなることも期待されている。

なお，増加している本プログラムの留学希望者の人数に対応するため，2012 年 10 月から試行的に理工系専門の留学生を対象とした「理工系短期留学プログラム（KUSEP-S&E)」を開始した。また，この理工系短期留学プログラム（KUSEP-S&E）は 2014 年 10 月から「金沢大学科学技術短期留学プログラム(KUEST)」に改名され、KUSEP から独立し，新たな受け入れプログラムとなった。このプログラムについては項目 2.3.4 を参照のこと。さらに，このような半年ないし 1 年間の留学を希望する学生数及び本学に大学院生などとして戻るリピーターを増やすために，2020 年 10 月から KUSEP の代わりに，「金沢大学交換留学プログラム」(KUEP)が設置された。これに伴い，KUSEP の責任部局（プログラムのコーディネーション，運営，学生の危機対応など）であった国際機構（旧留学生センター）から，全学的な KUEP 受け入れ態勢となった。いうまでもないが，KUSEP のために実施されていた国際機構の日本語及び日本文化・社会学習科目は KUEP のためにも提供が継続されている。

2.3.3.2　カリキュラム

a. 必修科目：

日本語の能力に応じてクラス分けをし，各学期 10 単位が必修である。

b. 選択科目：

この選択科目は分野を問わないものであり，学生が自由に何科目も受講することができる。1 年間 10 単位以上が必要である。

c. 自主研究：

留学生の希望により，留学生自身が定めた研究テーマについて，専門分野教員の指導の下に研究するものである。各学期 1 テーマ 2 単位，計 4 単位の範囲内で，プログラムを修了するための単位として認定することができる。

d. 一般開講科目：

留学生の日本語能力が高いレベルにあり，留学生が希望する場合は，日本人学生のために開講されている日本語による授業も受講することができる。修得した単位のうち，秋学期 1 科目 2 単位，春学期 1 科目 2 単位の 4 単位の範囲内で，プログラムを修了するための単位として認定することができる。なお，この場合，あらかじめ授業担当教員の許可を得なければならない。

修了証書の授与

原則として年間 30 単位（日本語科目 20 単位と選択科目 10 単位以上）以上修得した留学生には，短期留学プログラム修了証書を授与する。

1)第 XVIII 期（2015 年 10 月～2016 年 9 月）
第 XVIII 期の必修科目および選択科目については資料集の「第 XVIII 期：秋学期(2015.10-2016.3)」・「第 XVIII 期：春学期(2016.4-2016.9)」の時間割を参照。

2)第 XIX 期（2016 年 10 月～2017 年 9 月）
第 XIX 期の必修科目および選択科目については資料集の「第 XIX 期：秋学期(2016.10-2017.3)」・「第 XIX 期：春学期(2017.4-2017.9)」の時間割を参照。

3)第 XX 期（2017 年 10 月～2018 年 9 月）
第 XX 期の必修科目および選択科目については資料集の「第 XX 期：秋学期(2017.10-2018.3)」・「第 XX 期：春学期(2018.4-2018.9)」の時間割を参照。

4)第 XXI 期（2018 年 10 月～2019 年 9 月）
第 XXI 期の必修科目および選択科目については資料集の「第 XXI 期：秋学期(2018.10-2019.3)」・「第 XXI 期：春学期(2019.4-2019.9)」の時間割を参照。

5)第 XXII 期（2019 年 10 月～2020 年 9 月）
第 XXII 期の必修科目および選択科目については資料集の「第 XXII 期：秋学期(2019.10-2020.3)」・「第 XXII 期：春学期(2020.4-2020.9)」の時間割を参照。

2.3.3.3　教育活動実績・評価

資料集の「第 XVIII 期:秋学期(2015.10-2016.3)」～「第 XXII 期:春学期(2020.4-2020.9)」を参照。

2.3.3.4　評価方法・成績

金沢大学短期留学プログラムの修了条件としては，1 年間で，必修科目・日本語 20 単位（秋学期 10 単位，春学期 10 単位）が必要である。選択科目は 1 年間 10 単位以上で，合計 30 単位以上履修した留学生には，短期留学プログラム修了証書を授与することとなっている。

1）第 XVIII 期（2015 年 10 月～2016 年 9 月）
受講生人数：40 名：1 年間：40 名，半年：0 名
1 年間の留学で取得単位合計 30 単位以上：36 名
終了条件を満たした人数：34 名

2）第 XIX 期（2016 年 10 月～2017 年 9 月）

受講生人数：37 名：1 年間：34 名，半年：3 名

１年間の留学で取得単位合計 30 単位以上：30 名

終了条件を満たした人数：30 名

3）第 XX 期（2017 年 10 月～2018 年 9 月）

受講生人数：32 名：1 年間：31 名，半年：1 名

１年間の留学で取得単位合計 30 単位以上：30 名

終了条件を満たした人数：28 名

4）第 XXI 期（2018 年 10 月～2019 年 9 月）

受講生人数：39 名：1 年間：38 名，半年：1 名

１年間の留学で取得単位合計 30 単位以上：36 名

終了条件を満たした人数：35 名

5）第 XXII 期（2019 年 10 月～2020 年 9 月）

受講生人数：30 名：1 年間：27 名，半年：3 名

１年間の留学で取得単位合計 30 単位以上：25 名

終了条件を満たした人数：23 名

なお，この報告書の時間内に半年分が該当する第 XVII 期（2014 年 10 月～2015 年 9 月）の「カリキュラム」,「教育活動実績・評価」および「評価方法・成績」については,『金沢大学国際機構留学生センター自己点検評価報告書 2010.4～2015.3』, pp.44-48 を参照。

2.3.3.5　KUSEP の問題点について以下に記す。

a. 奨学金

KUSEP を運営する間，金沢大学と交流協定を結ぶ海外の大学が年々増え，KUSEP への留学希望者も増加していた。KUSEP がスタートした 1998 年の定員数は 20 名であったが，ピーク時には 40 名を超えた。2013 年度までの KUSEP における JASSO の奨学金の受給者の人数はずっと横ばいの状況（12～15 名分）にあったが，2014 年度からは，ほぼ毎年 40 名を超える KUSEP 生の受け入れ人数が続き，JASSO の奨学金の受給者の人数分（28 名分）もようやく増えた。しかし，2016 年度（第 XIX 期生）から，前触れも説明もなく KUSEP 生への JASSO の奨学金が突然支給されなくなり，20 年近く運営されていた KUSEP には大打撃となった。

受け入れ留学生のみならず，プログラムに携わっていた教員やスタッフも困惑する中，緊急措置として，20 名の留学生に 3 万円の学内奨学金が支給された。しかし，この金額は少なく，東南アジア，インドや東ヨーロッパからの留学生が参加できなくなった。また，参加学生の中で，数回に渡って家賃を支払えなくなった者もいた。2017 年度からは，追加支給として JASSO の奨学金がまた支給されたが，応募段階では奨学金がなかったため，プログラムに参加する学生は前年に比べて，さらに減少した。その後，特に私費留学生で人数に関しては少し回復傾向が見られたが，2020 年 10 月から KUSEP に代り「金沢大学交換留学プログラム」(KUEP)が設けられた。

b. 日本人との交流

日常生活において，日本人との交流機会が少ない KUSEP 生に対し，交流を増やすために主に次の対策を実施していた。１）日本人と KUSEP 生が共に学ぶ授業（ジョイント・クラス）を年々増やしてきた。2015 年度～2020 年度には，日本語授業以外のほぼすべての KUSEP 科目はジョイント・クラスとなっていた。また，開講されているジョイント・クラスを継続し，さらに新しい科目の開拓に努めた。２）2012 年に留学生と日本人学生の混住の寮が設置され，交流の場が増えた。

c. 寮

金沢大学への留学希望者が増加している一方，長年にわたって寮（国際交流会館）が足りないという大きな問題が存在していた。2012 年度新設の留学生と日本人学生の混住寮で，この問題はある程度改善された。さらに，2017 年度にも新たな寮が増設された。

d. プログラムの受け入れ人数

1998 年に金沢大学と交流協定を締結している大学等から留学生を受け入れるために，定員 20 名で始まった KUSEP の参加者が年々増え，2010 年度までの KUSEP 生数は 40 名を越えた。2011 年の震災の影響があったが，参加者数は依然高い数字を維持していた。当初の設定した定員の 2 倍を超す KUSEP 生を受け入れ，幾つかの困難が生じている。例えば，受講生が増えたため，クラス内で教員の指導が十分行き渡らない，すべての希望者を受け入れられない等の事態が生じていた。その対策の一つとして、2012 年度から理工学域の学生のために，理工系 KUSEP-S&E をスタートさせた。また，この理工系 KUSEP-S&E は 2014 年 10 月から新たな「金沢大学科学技術短期留学プログラム(KUEST)」として，KUSEP から独立した。さらに，2020 年 10 月からは KUSEP の代わりに，「金沢大学交換留学プログラム」(KUEP)を 100 名規模で開設された。これは一方，留学数を増やすためであり，また，本学に戻る

リピーターをさらに増やすためでもある。もちろん長年にわたってKUSEP生の中にも，本学に戻り，たとえば大学院に進学した留学生もいたが，このようなリピーターをさらに増やすためにとられた策と言える。KUEPの利点として期待されるのは，今までのKUSEPでの少ない担当指導教員が毎年1人10名以上のKUSEP生を指導･支援してきたことをできるだけ指導教員と学生が1:1になるような体制を作り上げることである。このように，留学生の生活および勉強・研究環境をさらに充実させ，また，指導教員の専門に興味を持ってもらい，これらの留学生が将来，リピーターとして金沢大学に戻ってくることを目的としている。

２．３．４　KUEST

プログラム概要

金沢大学科学技術短期留学プログラム(Kanazawa University Student Exchange Program for Science and Technology＝KUEST）は、アジア・ユーラシア地域の持続可能な開発を支え、ひいては地球規模で発生している環境問題の解決に貢献することのできる人材を育成する短期交換留学プログラムである。本学交流協定校から、主として自然環境分野を専攻する優秀な学部生・大学院生を1セメスター若しくは2セメスターの期間受け入れ教育・研究指導を行った。2020年9月まで受入れ・指導を行い、2020年10月に、2020年4月から開始したKU-EPプログラムに統合された。

KUESTはJASSOの短期研修・研究型（協定受入）プログラムであり、毎年約30名の学生を受け入れ奨学金を付与した。留学生の受け入れ国・地域は、台湾，中国，ロシア，ドイツ，カンボジア，インドネシア，大韓民国，タイ，ベトナム，フィンランド，チェコ，パキスタン，トルコ，メキシコ，ブラジルである。

プログラム参加学生は、来日前のマッチングプロセスを経て専門分野に関連する研究室に配属され、指導教員の下で専門研究を行った。使用言語は英語または日本語とし、その成果は学部生では卒業研究、大学院生は修士論文の研究の一部に充当された。また、主として自然科学分野におけるリサーチワークが義務付けられ、日本語と日本文化・社会を必修として学習した。そしてプログラム修了後は、初級レベル以上の日本語能力と日本文化を背景とする者と協働事業を行う際に必要とされる社会能力、文化知識を身につけることを目指した。更には優秀な学生を本学大学院に正規学生として受け入れることを目指した。同時に、本プログラムを実施することにより、自然科学系研究室所属学生のさらなる国際化推進並びに教員の英語による研究・指導能力の涵養サポート、国際協働研究の推進、将来世界展開する優秀な若手研究者の確保という、本学の国際化促進を目指した。

修了要件は合計で、2 セメスターの留学の場合 30 単位以上、1 セメスターの場合 14 単位以上であった。内訳は次の通り（[ ]内の数字は 1 セメスターの場合の単位数)。

【必修科目】14 単位[10]：①「専門演習」：4[2]単位（研究テーマに関する研究を行うもの。学会発表や論文投稿など一定の形に残る成果物があることが単位付与の条件となる)、②「日本語」：8[4]単位以上、③「日本文化・社会学習」：2[2]単位以上。
【選択科目】④～⑦から 16[6]単位以上：④「専門研究」(研究室での研究活動により付与される。最終発表会を行う)、⑤「専門実験」(実験に関する一定の技術習得が認められた場合単位付与される)、⑥「留学生センター開講選択科目」、⑦「他部局開講科目」。

成果の公開と発信を目的に、半期に 1 度プログラム参加者の成果報告会及びプログラム参加学生の研究室指導教員との意見交換の機会を設けた。2020 年のコロナ流行後は youtube を利用した成果報告会を行った。全学への発信としては、毎年度、国際機構留学生教育部発行のニューズレターにてプログラム実施報告を行った。さらには、Facebook 上でプログラム参加学生による学生コミュニティを形成し、過去のプログラム参加者との交流の場を構築した。

成果と課題

本プログラムは毎回参加者アンケートを実施した。満足度は非常に高く、2020 年度春学期の満足度アンケートでは回答者 13 名中「とても満足」が 76.92%(10 名)、「満足」が 15.38%（2 名)、「普通」が 7.69%(1 名）であった。「今後再び金沢大学で勉強したいですか」という質問に対して 53.85%（7 名）が「強くそう思う」と回答した。また、学生が高く評価していたのは「研究室の学生との交流」「専門の研究の進展」「留学生との交流」「日本語能力の向上」であった。本プログラム参加学生は、全員研究室に所属し、研究室活動に参加した。そのことにより研究室の学生との交流が深まったと思われる。さらには、本プログラム参加学生は、日本人学生と留学生の混住型シェアハウス寮に入居したことで居住する留学生との交流機会が多く持たれたと思われる。また、2015 年～2020 年にかけて本プログラム参加者がプログラム終了後に再度本学大学院に進学するケースが 2 名見られた。これらの点から、KUEST プログラムは自然科学系の留学生にとって十分に魅力的なプログラムであると言えよう。

課題としては以下の 2 点を挙げる。1 点目は正規学生への再留学の接続の未整備、2 点目は受入れ教員の多様化である。1 点目については、半数以上の学生が「再び金沢大学に戻りたい」と考えているにも関わらず、5 年間で正規生として大学院に戻ってきた学生は 2 名しかいなかった。実際には戻ることを検討した学生はいたが、金沢大学では奨学金が得

られない、現地受験ができない、金銭的に余裕がない、他大学の大学院でよりよい条件で進学できた、などの理由で実現していなかった。今後、優秀で意欲のある学生がスムーズに大学院に戻ってこられる仕組みづくりが求められる。2 点目は受入れ教員の多様化である。毎年約 30 名の学生を受け入れたが、留学生受入れ経験のある教員、既に研究室に留学生が複数名在籍している研究室に配属が偏る傾向が見られた。KUEST 参加学生は基本的に日本語学習経験のない学生が中心であるため、英語での指導となる。言語的な負担が大きいことから消極的になる教員も多い。こうした偏りがなくなるよう、受入れ支援のための FD の実施、受け入れた場合のインセンティブ付与などの対策が求められる。

２．３．５　セメスタープログラム

2.3.5.1　プログラム創設の背景

セメスタープログラムは，2010（平成 22）年度より開始した，半期のみの短期留学生受入れプログラムである。欧米の協定校の学年暦等の関係により，かねてからニーズの高かった半期留学生受入れを実現させるため新規にプログラムを創設した。

また，2016（平成 28）年度の第 8 期からは，通年（春学期と秋学期）にわたってプログラムを開講するようになった。

2.3.5.2　プログラムの目的と概要

本学と交流協定を締結している大学からの留学生に対し、日本語能力の向上と日本文化への理解を深めさせるとともに，英語による各種専門分野の授業を提供する半期間（1 セメスター）のプログラムである。短期間で効率的に日本語と日本語文化を学び，日本と諸外国を結ぶ架け橋となる人材を育成することを目的とする。

プログラム創設当初は，プログラム生を対象に独自に文化体験演習を実施し，終了発表として大学教育支援開発センター（当時）が実施する「ランチョンセミナー」で口頭発表を課していた。しかしプログラムの効率化を図るため，選択科目と文化体験授業を KUSEP 向け開講科目から取らせるようにするとともに，第 5 期（平成 25 年度，2014 年度）以降はプレゼンテーションを必修化し，プログラム終了直前に独自の「口頭発表会」を開催している。

短期のプログラムを効率よく運営するため，学生には原則として日本人チューターを 1 対 1 で配置し，日本語の学習だけでなく，日本人の友人としての役割を果たすようにするとともに，ゴールデンウィーク前にはチューターとともに能登半島トリップを実施している。

2.3.5.3　カリキュラム概要

教育カリキュラムは下記のように，4 つの科目群から合計で 11 単位以上を修得することで「プログラム修了」と認定する。また，上記の科目群とは別に，日本語力が高いプログラム留学生は，本学の人間社会学域で開講されている授業を聴講することも可能となっている。

総合日本語	5 単位以上
プレゼンテーション指導	2 単位
日本文化・社会体験	2 単位以上
KUSEP 開講科目	2 単位以上
修了要件　計	11 単位以上

2.3.5.4　プログラム実施報告

2.3.5.4.1　第 1 期～第 4 期（2010〔平成 22〕年度～2013〔平成 25〕年度）

金沢大学国際機構留学生センター『年報』第 3 号の 39-40 ページを参照のこと。

2.3.5.4.2 第 6 期～第 14 期（2015〔平成 27〕年度～2019〔平成 31/令和元〕年度）

第 6 期（2015〔平成 27〕年度

①　プログラム実施期間：　2015（平成27）年4月～8月

②　参加学生の内訳

出身校	参加者数
モントリオール大学（カナダ）	4
ゲント大学（ベルギー）	3
東華大学（中国）	2
南京大学（中国）	1
輔仁大学（台湾）	1
タフツ大学（米国）	1
オーストラリア国立大学（豪州）	1
合計	13

第 7 期・第 8 期（2016〔平成 28〕年度

① プログラム実施期間： 2016（平成28）年4月～8月，10 月～翌年 2 月

② 参加学生の内訳

出身校	春・参加者	秋・参加者
モントリオール大学（カナダ）	3	0
ゲント大学（ベルギー）	2	2
ライデン大学（オランダ）	0	3
東華大学（中国）	2	0
西安電子科技大学（中国）	1	0
輔仁大学（台湾）	1	0
ハノイ貿易大学（ベトナム）	0	1
ハノイ国家大学外国語大学（ベトナム）	0	1
タフツ大学（米国）	1	0
シドニー工科大学（豪州）	1	0
合計	11	7

第 9 期・第 10 期（2017〔平成 29〕年度

① プログラム実施期間： 2017（平成29）年4月～8月，10 月～翌年 2 月

② 参加学生の内訳

出身校	春・参加者数	秋・参加者数
モントリオール大学（カナダ）	3	1
ゲント大学（ベルギー）	3	0
輔仁大学（台湾）	1	1
釜山大学（韓国）	1	0
中国人民大学（中国）	0	2
西安電子科技大学（中国）	0	1
ライデン大学（オランダ）	0	1
チャールズ・ダーウィン大学（豪州）	0	1
合計	8	7

第 11 期・第 12 期（2018〔平成 30〕年度

① プログラム実施期間： 2018（平成30）年4月～8月，10 月～翌年 2 月

② 参加学生の内訳

出身校	春・参加者数	秋・参加者数
モントリオール大学（カナダ）	2	0
輔仁大学（台湾）	1	0
国立政治大学（台湾）	2	1
国立台湾師範大学（台湾）	0	1
釜慶大学（韓国）	2	2
東華大学（中国）	2	0
四川大学（中国）	1	0
重慶大学（中国）	1	0
東北師範大学（中国）	1	0
西安電子科技大学（中国）	0	3
タフツ大学（米国）	1	0
ニューヨーク州立大学ﾊﾞｯﾌｧｰﾛｰ校（米国）	1	0
バルセロナ自治大学（スペイン）	1	0
サラマンカ大学（スペイン）	0	1
ムルデカ大学（インドネシア）	0	1
合計	15	9

第 13 期・第 14 期（2019〔平成 31/令和元〕年度

① プログラム実施期間： 2019（平成31/令和元）年4月～8月，
10 月～翌年 2 月

② 参加学生の内訳

出身校	春・参加者数	秋・参加者数
モントリオール大学（カナダ）	2	0
ゲント大学（ベルギー）	5	1
輔仁大学（台湾）	2	0
国立台湾師範大学（台湾）	2	2
国立清華大学（台湾）	0	1
東北大学（中国）	0	2
中国人民大学（中国）	0	1
ライデン大学（オランダ）	0	2
タフツ大学（米国）	4	0
カザン大学（ロシア）	0	3
国立イルクーツク大学（ロシア）	0	1
ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学（ベトナム）	0	1
合計	15	14

２．３．６　日韓プログラム

2.3.6　日韓共同理工系学部留学生コース（日韓プログラム）

2.3.6.1　コース概要

日韓共同理工系学部留学生事業（通称「日韓プログラム」）により，文部科学省より本学理工学域に配置が予定される韓国人留学生の予備教育課程を，国際機構が担当する。

教育カリキュラムは，1)本学理工学域に正規生として入学するために必要な日本語力の養成，2）専門教科（数学，物理，化学など）の基礎力を養成するほか，3）金沢市をはじめとする石川県の風土や伝統文化を知るための「実地見学」授業，及び 4)留学生活を送るために必要な生活力を養成する指導するホームルームから成っている。

2.3.6.2　時間割

第 19 期（平成 30 年度）

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td>１時限
または
２時限</td><td colspan="5">総合日本語プログラムから各自のレベルにあった授業を計週5コマまでを受講</td></tr>
<tr><td>３時限</td><td>化学
（佐藤）</td><td>日本語で
学ぶ論理
（太田）</td><td>英語*
（斉木）</td><td>数学
［微積分］
（北浦）</td><td rowspan="3">［実地見学］
月 1 回程度
（太田）</td></tr>
<tr><td>４時限</td><td>OH
*
（太田）</td><td>数学
［線形代数］
（北浦）</td><td>物理
（大橋）</td><td>専門日本語
［口頭発表］
（小島）</td></tr>
<tr><td>５時限</td><td></td><td>空手
***
（ビットマン）</td><td></td><td></td></tr>
</table>

＊　不定期週に開講，　** 隔週に開講，　*** 希望により受講可能

第 20 期（令和元年度）

	月	火	水	木	金
１時限 または ２時限	総合日本語プログラムから各自のレベルにあった授業を計週5コマまでを受講				
３時限	理系レポート （佐藤）	日本語で 学ぶ論理 （太田）	専門日本語 ［口頭発表］ （小島）	数学 ［微積分］ （北浦）	数学 ［線形代数］ （北浦）
４時限			物理 （大橋）		ホームルーム* （太田）
５時限		空手 ** （ビットマン）			［実地見学］ 月 1 回程度 （太田）

＊　毎月末に実施，　**希望により受講可能

2.3.6.3　教育活動実績

1.　受入れ状況

年度・期	配置照会数	受入れ数	男/女比	配置先学類
第 19 期 平成 30 年度	1	1	0/1	理工学域　フロンティア工学類
第 20 期 令和元年度	2	2	2/0	理工学域　電子情報通信学類

2.　授業・活動

年度・期	総合日本語	専門日本語	専門教科	その他の授業・活動
第 19 期 平成 30 年度	日本語×3/週 漢字・語彙×1/週，技能別×1/週	日本語で学ぶ論理×1/週， 口頭発表×1/週	数学×2/週 物理×1/週 化学×1/週 英語×1/週	空手×1/週（希望者） 実地見学×1/月 またはホームルーム×1/月

第20期 令和元年度	日本語×3/週 漢字・語彙×1/週，技能別×1/週	日本語で学ぶ論理×1/週， 口頭発表×1/週， 理系レポート×1/週	数学×2/週 物理×1/週	空手×1/週(希望者) 実地見学×1/月 またはホームルーム×1/月

3. サポート制度

サポート制度として，コースが創設された2000年より一貫して，以下の３項目を実施している。

① 謝金チューター制度の活用

② カウンセリング（ホームルーム）の定期的実施

③ プログラム先輩学生からのアドバイス

2.3.6.4　評価方法・成績

最終評価は，定期試験や日常の小テスト・課題提出などを得点化した客観評価と，コメントを中心とした主観評価からなる。客観評価は全学で行われているものと同様の評価方法（S,A,B,C,D の５段階）で行っている。また，成績は日韓プログラム学生の配置先学類に送付し，入学時選考の判断材料として提供している。

２．３．７　天の川プログラム

2.3.7　天の川プロジェクト（VIA LACTEA Project）

2.3.7.1　「天の川プロジェクト」発足のきっかけ

「天の川プロジェクト」は，正式名称を「Viable International Academic Links Across Cultural Ties in Europe and Asia（VIA LACTEA)」と言い，金沢大学と協定を結んだサンティアゴ・デ・コンポステラ大学（USC，スペイン）が，EU の Erasmus 計画（Erasmus+）により，EU 加盟の他大学（ポルトガルのミーニョ大学，UMinho）と，日本の複数の大学（金沢大学と愛知県立大学）間でコンソーシアムを組んで，学生及び教員を相互派遣するというプログラムに，2014年に採択されたことに端を発する。

2.3.7.2　プロジェクト（学生相互派遣/受入れ）の目的

日本及び EU（スペインとポルトガル）おける地域固有の文化が現在までどのように継承されてきたかを，学生（人文系専攻の学部生）の出身地である日本及び西欧の地域文化との比較を通じて検討させ，互いの地域文化の発展と継承に寄与できる人材の育成を目指す。

2.3.7.3　受入れプロジェクト学生に対する教育プログラム概要

「日本の地域文化」を共通の柱にして，石川県の伝統文化と愛知県の産業文化という，それぞれの地方の特色を活用し，EU から渡日する留学生に対して金沢大学と愛知県立大学でそれぞれ 6 週間の講義及び演習と 2 週間のインターンシップを行うような連結カリキュラムを提供する。反対に，日本から EU へ渡航する日本人学生に対しては，USC（スペイン）と UMinho（ポルトガル）でそれぞれ 6 週間の講義及び演習，さらに 2 週間のインターンシップを行うような連結カリキュラムを提供する。

金沢大学では英語による伝統文化や文化資源に関する講義と実習，日常生活に必要な日本語の基礎力の養成を図る日本語教育を行う。具体的には，日本人類学，国際関係論，社会文化の中の言語，現代日本の文化と社会，日本の伝統芸能，現代アートとデザイン，伝承文化資源学演習，形態文化資源学演習，文化資源情報学演習，文化資源学実習，プレゼンテーション演習，初中級レベルの日本語クラスと漢字・語彙クラスを予定している。

さらに，日本初となる世界農業遺産に登録された能登半島の里山里海を紹介する実習授業も併せて提供し，農耕，祭礼など昔から伝わる地域固有の文化や景観保全について学ばせる。

またインターンシップについては，金沢大学附属図書館及び資料館，本学と包括協定を結んでいる金沢市の協力を得て，市内にある 21 世紀美術館，金沢くらし博物館，金沢能楽美術館等でインターンシップを行い，昔から伝わる伝統工芸や文化財に直接触れることで，伝統文化に対する理解を深めさせる。

一方，愛知県立大学では，「熊野古道」と，スペインを中心とした「サンティアゴの道」の比較をメインテーマとして，トヨタ等の企業における日本の近現代自動車産業の発展史に対する理解を深める。

なお，各年度のプログラム終了時に，愛知県立大学において「地域文化に関して留学生が考察した個別テーマ」に関する成果報告会を実施し，全体の総合評価を行った。

2.3.7.4　相互派遣/受入れ実績

教職員の相互派遣/受入れは，平成 26（2014）年度末から平成 28（2016）年度までの 3 年間に，教員 5 名，職員 2 名がスペイン及びポルトガルに派遣される一方，同数の教職員を日本に受け入れて金沢大学と愛知県立大学で講演会を含む教育交流を行なった。

また，学生の相互派遣/受入れは，平成 27（2015）年度から平成 29（2017）年度の 3 年間に，金沢大学と愛知県立大学の学生をそれぞれ 10 名ずつ選抜してスペイン及びポルトガルへと派遣し，前節で述べたようなインターンシップを含む教育プログラムを提供した。その一方，USC と UMinho も同数の留学生を受入れ，各年度の第 1 クォーターを金沢大学で，

続く第２クォーターを愛知県立大学で教育を行なった。

年度ごとの派遣/受入れ実績数は次の表のとおりである。

教員/職員/学生	平成 27（2015）年度	平成 28（2016）年度	平成 29（2017）年度
金沢大学から派遣	2/1/3	2/1/4	1/0/3
愛知県立大学から派遣	2/1/3	2/1/4	1/0/3
USC から受入れ	2/1/3	2/1/4	1/0/3
UMinho から受入れ	2/1/3	2/1/4	1/0/3

2.3.7.5　「天の川プロジェクト」総括

プロジェクト全般の総括については,プロジェクト幹事校である USC に以下のような特設サイトが設けられており，報告概要，協定書，参加各校の紹介を含めた文書が公開されている。

https://www.usc.es/vialactea/downloads.htm

２．３．８　ロシアプログラム

「日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム」構想の一環として実施するものであり、その目的は、ロシアの各機関と学生交流を拡張し、学生を将来の日露関係を担う人材に育て上げることにある。ユネスコエコパーク（生物圏保全地区）・世界遺産・ジオパーク等をフィールドにし、地域交流・言語学習、両国の特徴的な自然環境や長い年月をかけて育まれてきた文化・芸術を学び，将来的なロシア・日本への長期留学への呼び水とする。地域間交流の基盤になっている。

実施した個々のプログラムの詳細は、５．２「世界展開力」の章を参照されたい。

課題：派遣する際、大人数の学生を引率するための教員が必要だがなかなか十分な数を確保できない。また、地域交流の際、言葉の問題やコーディネータの不足の問題が生じている。学生に関しては、日本人学生のコミュニケーション能力や英語能力が足りないという問題がある。また単位をどのように認定すべきか、という問題もある。

２．３．９　KUSS

本プログラムは北米の優れた大学の学生を受け入れ、日本語・日本文化の短期集中教育を行うものである。2011 年度～2015 年度まで実施された。JASSO の海外留学支援制度（協定受入）の奨学金プログラムであり、毎年約 15 名が参加した。2020 年度以降は KU-SSP の

冬プログラムとして実施予定であったがCOVD-19の流行によって実施されていない。

このプログラムによる目的は次の4点である。

①プログラム参加学生の日本語能力の向上、日本語学習のさらなる動機付けと日本文化リテラシーの向上

②日本人学生との協働的な教育活動を通じて、日本人学生とプログラム参加学生の双方が、批判的思考力、異文化リテラシーや課題解決力等を高めること

③日本人学生、プログラム参加学生双方が、短期留学から長期の交換留学への動機付けを高めること

④ホームステイプログラムの実施による、受け入れ家庭を中心とした地域の国際交流の推進

評価すべき点は、留学生、日本人学生双方の中長期の留学の呼び水となった点である。第1期であるKUSS 2011参加学生9名のうち4名が2013年度に日本の大学に留学した。またKUSS 2011参加日本人学生約10名のうち大半が海外留学に参加した。しかし、年末年始に行われること、通常の学期中に行われる集中プログラムであり、教職員の負担の大きい事業であった。参加者ニーズは高いため、安定的な事業運営のためには、超短期プログラムのための従事時間やスタッフを年間の事業計画の中に組み込んで確保することが必要である。

２．３．10　KUSDP

KUSDP（Kanazawa University September-December Program）は、JASSOの海外留学支援制度（協定受入・SGU重点、タイトル:『金沢大学重点交流協定校対象交換留学プログラム』）により、2017年度から2019年度の3年度間、本学交流協定校の優れた学生を対象に実施した留学生受け入れプログラムである。プログラム期間は9月から12月までの4か月間であり、各年度の参加学生は以下の通りである。

2017年度：ゲント大学1名、インドネシア大学1名、インドネシアコンピュータ大学2名、タフツ大学2名、ニューヨーク大学ニューポルツ校2名、ノンラム大学1名、マラヤ大学1名、西安電子科技大学1名　（計11名）

2018年度：タフツ大学2名、ニューヨーク大学ニューポルツ校2名、バンドン工科大1名、カザン連邦大学6名　（計11名）

2019年度：浙江工業大学6名、北京師範大学1名、ニューヨーク大学ニューポルツ校2名、ワルシャワ大学1名　（計10名）

プログラム参加学生には、日本語科目、日本事情科目の履修と本学学生との協働学習としての課題研究を課した。また選択科目として、英語による日本文化・日本事情科目及び

専門分野の授業科目を提供した。

本プログラムの目的は次の通りである：(1)受け入れ留学生及び金沢大学学生の両者を将来国際社会で活躍しうる人材に育てること、(2) 受け入れ留学生に将来日本に関する研究あるいは専門的な研究に取り組む動機づけをすること、(3) 金沢大学が重点交流協定校との連携をいっそう強化しながら、互いの教育・研究指導方法の改善及びさらなる国際化の推進に資すること。また、本プログラムの実施過程においては、日本滞在中の危機管理、安全管理に関してプログラム参加学生への十全な指導をし、万全の体制で学習・生活支援を行った。

本プログラムの日程及び概要については、資料 5-1～資料 5-3 を参照のこと。

２．３．11 KUMAP

KUMAP (Kanazawa University March-August Program) は、JASSO の海外留学支援制度（協定受入・SGU 重点、タイトル：『金沢大学米国向けカスタマイズ交換留学プログラム』）を受け、2016 年度 3 月から 2017 年度 8 月までの 6 か月間、アメリカ合衆国の本学交流協定校の優れた学生を対象に実施した留学生受け入れプログラムである。本プログラムには、本学重点交流協定校であるタフツ大学より 7 名、ニューヨーク州立大学ニューパルツ校より 1 名、計 8 名の学生が参加した。

本プログラムの主な目的は KUSDP と同様であるが、加えて本プログラムは、学年暦のずれ及びより短期の海外留学を希望する現地学生のニーズに応じた調整を行い企画・実施したものである。

プログラム参加学生には、2017 年度春学期開始までの期間、ホームステイを含む日本語及び日本文化にアジャストする機会を提供した（ファイル参照）。また、学期中には、KUSDP 同様に、日本語科目、日本事情科目の履修と本学学生との協働学習としての課題研究を義務付け、選択科目としては、英語による日本文化・日本事情科目及び専門分野の授業科目を提供した。詳細については資料 6 を参照のこと。

２．３．12 DEAi

DEAi (Discover and Experience Art in Kanazawa) は、2016 年度 6 月 20 日（月）より 7 月 4 日（月）までの 3 週間、金沢市立美術工芸大学と共同実施した留学生受け入れプログラムである。参加学生は 4 名であり（ライデン大学 2 名、ジョージア州立大学 1 名、エディンバラ大学 1 名）、本プログラムでは、地域が誇る伝統工芸や芸術へのハンドオン体験、現代アートやファッションに関する講義、日本語の授業等を通じ、様々な学習を提供した。詳細については資料 7 を参照のこと。

２．４　派遣留学支援

国際機構の派遣留学支援は、本自己点検報告書がカバーする 2015 年度から 2020 年度の期間にも、従来通り、国際部を始めとする関係部局と連携しながら多岐にわたり実施した。具体的には、まず、派遣留学説明会、派遣留学報告会等の開催（表参照）であり、学生にはこれらを大学ホームページ*やポータルにより周知した。次に、共通教育科目「大学・社会生活論（留学と国際交流）」を始めとする機構教員担当授業内での派遣留学の紹介や授業外での個別の留学相談、ポータルを通じての学生への学外イベントの紹介等である。さらには、JASSO の海外留学支援制度（協定派遣）申請書の作成、学生が「トビタテ！留学 JAPAN」に応募するための留学計画書作成支援、プレゼンテーション・面接の際のアドバイスも継続して行った。

派遣留学説明会		実施日	参加人数
H27	2015年度開催	7月1日～2日	125
H28	2016年度開催	7月5日～6日	87
H29	2017年度開催	6月28日～29日	108
H30	2018年度開催	6月28日～29日	55
R1	2019年度開催	6月24日～25日	108

派遣留学報告会		実施日	参加人数	発表者人数
H27	2015年度開催	12月2日～3日	130	62
H28	2016年度開催	1月25日～26日	87	56
H29	2017年度開催	12月19日	61	49
H30	2018年度開催	12月10日～21日	約120	53
R1	2019年度開催	1月14日～16日、20日	約120	71

*https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/category/abroad/

この期間には、派遣留学候補生の選考方法が変更された。具体的には、従来、国際機構教員の 1 名ないし 2 名が「派遣留学生等選考ワーキンググループ」のメンバーとして派遣留学候補生の選考に携わってきたが、2020 年度 7 月の国際企画会議の決定によりワーキン

ググループが廃止され、2019 年度をもってその任務を免除されることとなった。

国際機構は、先人の言葉を重く受け止め、「留学生の受け入れと学生派遣は車の両輪」「質の良い受け入れと質の良い派遣を」というモットーで業務を行ってきており、これが変わることはない。しかし、変わりゆく国際情勢や個々の学生の資質等に配慮しながら、受け入れと派遣の両者において「質」（及び期待される「数」）をどのようにして確保するのか。この点に関しては、まさに、国際機構がイニシアティブを執り、本学に提案していかなければならないことは明らかである。そのため、今後、従来通りの業務を継続するのは言うまでもなく、FD 活動、研修会への参加、機構内でのディスカッションを活発に行い、教員各自が研鑽を重ね、実践に反映させていかなければならないだろう。

２．５　ELP センター

ELP センターは、本学が 2014 年度 9 月に文部科学省の「スーパーグローバル大学創世支援（SGU)」事業・タイプ B に採択されたことを受け、全学の学生及び教職員の英語力の向上を図るため、2015 年度 4 月、スーパーグローバル ELP センターとして設立された。

2018 年度までの期間においては、本学重点交流協定校であるアメリカ合衆国タフツ大学の協力を得ることによりプログラムを運営していたが、2019 年度からは、金沢大学独自のプログラムを開発することにより、新たなスタートを切った。現在の担当教員は 2 名である。

ELP センターの沿革等及び提供プログラムの詳細については、以下のリンクを参照してほしい。

ELP センター（kanazawa-u.ac.jp）

３．相談指導

国際機構における相談指導は、主として 3 つからなる。(1)全学の留学生の受け入れと危機管理体制構築、(2)各部局における留学生支援組織や教員との連携や調整、(3)日本人学生の海外派遣留学への送り出しの危機管理体制構築、である。

３．１　留学生の受け入れと危機管理体制の構築

留学生の受け入れと危機管理体制の構築の活動において、主たる業務は相談と指導である。留学生の大学生活における不便さや困難を聞き取り、ひとつずつ解決していく地道な作業である。文化に基づく解釈の違い、友人関係、指導教員との意思疎通の問題、生活上（家族や政治など）の困難、学問上の困難、恋愛問題、金銭的な問題、など多岐にわたる。留学生センターおよび国際機構における当該期間の相談は、年間平均 200 件を超えた。

次に、チューター活動の支援である。各留学生に学生チューターを配置し、生活および学学修上の支援やアドバイスを実施する制度を、実施している。同年代による支援によって、留学生にとっても価値のある支援である。チューター制度は、基本期には派遣留学を希望したり、派遣留学から戻ってきた学生が担当することが多いのも特徴である。一方で、留学生数が著しく増えたことによってチューター費用が上昇し、予算を押さえた上での効果的なチューター活動が必要となってきた。そこで、2018 年度からは、チューター活動時間の制限、オンラインでのチューター活動の承認などを実施した。学内においても、賛否が分かれた改革であったが、関係者の努力によって現在のところうまくまわっていると思われる。

次に、危機管理体制の構築であるが、これは交通事故、病気、犯罪に巻き込まれるなど緊急度が高いものである。交通事故における弁護士費用の支弁、交通事故における長期入院における医療費支払いが困難となる事例などが見られたことから、危機管理体制の整備が必須であった。特に、困難であったのが、緊急時の手術にうける身元引受人の承諾の署名や、医療費支弁の教員個人による負担である。例えば、保険の加入の強いリクエストやその説明会などを実施し、加入を促進した。また、同時に、留学生に対する教育も強化した。

３．２　各部局における留学生支援組織や教員との連携や調整

本学には、人間社会研究域、理工研究域に留学生担当専任教員が配置されている（医薬保健、融合学域は未配置）。よって、国際機構が全学を統括しつつ、各部局と連携をとりな

がら、有機的な留学生支援を実施している。各学域には、留学生からなる自助支援組織などがあり、各学域の担当教員が密に連携をとりながら、留学生の声をひろって支援を実施している。レクレーションや小旅行を企画したり、留学生が楽しめるような環境も提供している。定期的な担当教員および保健管理センターとの会合で、課題や教訓を共有し、情報共有をしている。

３．３　日本人学生の海外派遣留学への送り出しの危機管理体制構築

日本人学生の海外派遣留学の選考やプログラムについて、派遣留学支援で述べられているが、相談指導部門においては、その危機管理を担当している。派遣先の日本人留学生からの相談・業務も主たる業務である。特に、相談で多いのが、外国籍の人との人間関係である。その中でも、ストーカーや恋愛に関するトラブルや解釈の行き違いによる相談が大多数を占める。実際に、ヨーロッパにて某国立大学の派遣留学生が恋愛トラブルとみられることで殺害されるという事件も起きたため、慎重な指導が必要である。その他は、語学能力の伸び悩みの相談も多い。2019 年度については、新型コロナウイルス感染症による早期帰国が求められたため、志半ばで帰国を余儀なくされた日本人学生からの相談も多くなった。

危機管理体制の整備としては､外国からも電話可能な 24 時間体制の相談窓口サービスの導入を実施した。また、毎月の様子を国際部に報告するというパイロットも実施した。

３．４　留学生の相談指導

留学生の相談指導は、多岐にわたる。それを担当する教員の負担は想像を超える。負担が偏らないような組織上のシステムが必要である。

４．研究

４．１　機構教員の研究業績

国際機構教員の個人の研究業績については、以下の各教員の『Research map』を参照のこと。

太田亨	https://researchmap.jp/read0054641
ビットマン・ハイコ	https://researchmap.jp/read0071244
斉木麻理子	https://researchmap.jp/read0009839
峯正志	https://researchmap.jp/read0017026
山本洋	https://researchmap.jp/read0202671
深川美帆	https://researchmap.jp/read0152431
ママードウァ・アイーダ	https://researchmap.jp/aidam
小島壮一	https://researchmap.jp/read0202669

４．２　研究者受け入れ

日本学術振興会・外国人特別研究員（JSPS）
外国人特別研究員氏名：Dr. Meyer, Martin Johannes
研究課題名：Why Martial Arts? - Fascination and Motivation of Karateka and Jūdōka in Japan
受入研究者所属機関・氏名：国際機構　ビットマン ハイコ
受入期間：平成 29 年 5 月～11 月

５．学内貢献

５．１　世界展開力

文部科学省の平成 29 年度大学の世界展開力強化事業に採択され、交流プログラム「日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム」を開始した。本機構はその中で文化交流プログラムを担当し、本学とロシアの提携大学との間で学生の派遣・受け入れを行った。

2017 年から 2019 年にかけては、受け入れ学生 50 名、派遣学生 130 名が参加した。2020 年から 2021 年にかけては、新型コロナのため、学生の受け入れ・派遣が出来ず、オンラインでのプログラムとなったが、それでも受け入れ学生 80 名、派遣学生 93 名の実績をあげた。

交換留学生の数は次第に増加し、短期研修プログラムに参加したロシア人学生のなかから何名かが正規学生として入学した。また 2021 年より、本学が現在までにロシアの各機関の各機関と行ってきた学生交流を ASEAN、中央アジア、北欧へと拡張し、ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）を題材として各地域の留学生が本学学生と共に学び、将来の SDGS を達成するための問題解決を担う人材としてグローバル社会を先導していくための基礎を学ぶ機会を提供した。オンラインで双方向で行ったこのプログラムの参加人数は：受け入れ 244 名、派遣 83 名である

以下にプログラムの詳細を載せる。

	形態	開催年度	プログラム名	日程	参加人数	備考
1	派遣	2017	ロシア文化体験・イルクーツク　～シベリアとシャーマン文化～	2017年8月29日 ～ 9月3日（1週間）	9名	
2	受入	2017	ロシア文化交流プログラム	2017年2月6日 ～22日（2週間）	6名	カザン連邦大学2名、イルクーツク国立大学2名、クラスノヤルスク医科大学2名
3	派遣	2017	ロシア文化交流プログラム　～カザン・サンクトペテルブルク～	2018年3月10 日～21日（2週間）	20名	
4	受入	2018	ロシア文化交流プログラム	2018年7月1日～22日（3週間）	14名	カザン連邦大学5名、イルクーツク国立大学2名、極東連邦大学3名、国立アルタイ大学4名
5	派遣	2018	ロシア文化交流プログラム　東コース　～世界遺産バイカル湖とウラジオストクの島々～	2018年8月7日～19日（2週間）	25名	派遣先：ウラジオストク、イルクーツク
6	派遣	2018	ロシア文化交流プログラム　西コース　～世界遺産カザンとアルタイ山脈～	2018年8月22日～ 9月3日（2週間）	25名	派遣先：カザン、バルナウル
7	受入	2019	ロシア文化交流プログラム　白山ユネスコエコパーク研修コース	2019年7月1日～7月16日（2週間）	16名	カザン連邦大学4名、サンクトペテルブルク国立大学3名、モスクワ国立大学3名、国立アルタイ大学4名、イルクーツク国立大学2名
8	受入	2019	ロシア文化交流プログラム　日本語・日本文化コース	2019年7月1日～8日（1週間）	14名	カザン連邦大学
9	派遣	2019	ロシア文化交流プログラム　モスクワコース	2019年8月26日～9月4日（10日間）	20名	
10	派遣	2019	ロシア文化交流プログラム　三都市コース	2019年8月27日～9月10日（2週間）	30名	派遣先：モスクワ、カザン、サンクトペテルブルク
11	オンライン（受入）	2020	ロシア文化交流プログラム	2020年7月～2021年1月	25名	モスクワ国立大学3名、サンクトペテルブルク国立大学3名、カザン連邦大学9名、国立アルタイ大学4名、国立イルクーツク大学2名、極東連邦大学4名
12	オンライン（受入）	2020	ロシア文化交流プログラム　日本語・日本文化コース	2020年7月～2021年1月	17名	カザン連邦大学
13	オンライン（派遣）	2020	ロシア文化交流プログラム　～ロシア社会の多様性と多文化共生を学ぶ～	2020年7月～2021年1月	50名	
14	オンライン（双方向）	2020	日本 - カザフスタン SDGs研修コース	2021年2月3日～12日	派遣32名、受入30～40人	社会人も含めて誰でも参加可。カザフスタンMAB計画国内委員会との共催。
15	オンライン（受入）	2021	ロシア文化交流プログラム	2021年7月5日～16日（2週間）	26名	国立アルタイ大学4名、国立イルクーツク大学5名、カザン連邦大学9名、極東連邦大学5名、サンクトペテルブルク国立大学3名
16	オンライン（受入）	2021	ロシア文化交流プログラム　日本語・日本文化コース	2021年7月5日～16日（2週間）	12名	カザン連邦大学
17	オンライン（派遣）	2021	ロシア文化交流プログラム　～ロシアの文化生物多様性をユネスコエコパークから学ぶ～	2021年7月12日～16日（5日間）	43名	金沢大学生39名、大学コンソーシアム石川のメンバー大学からの参加4名
18	オンライン（双方向）	2021	日本 - ASEAN SDGs研修コース	2021年10月11日～15日（5日間）	派遣17名、受入55名	AUNおよび国立六大学連携コンソーシアムと共催。派遣内訳：金沢大2名、岡山大6名、長崎大6名、熊本大2名、新潟大1名。受入内訳：ブルネイ5名、カンボジア5名、インドネシア14名、タイ6名、マレーシア7名、ミャンマー4名、フィリピン9名、ベトナム5名
19	オンライン（双方向）	2021	ユネスコプログラム「人間と生物圏：可能性と展望」	2021年10月1日～18日	派遣28名、受入約130名	社会人も含めて誰でも参加可。カザフスタンMAB計画国内委員会との共催。交流国はロシア及びCIS諸国（ロシア、カザフスタン、タジキスタン、ウズベキスタン、キルギス）。
20	オンライン（双方向）	2021	さくらサイエンスプログラム「日本 - ユーラシア SDGs研修コース」	2021年11月15日～12月3日	派遣6名、受入29名	派遣内訳：金沢大2名、愛媛大1名、筑波大2名、宮崎大1名 受入内訳：カザフスタン8名、ウズベキスタン3名、タジキスタン3名、キルギス3名、ラトビア3名、ロシア6名、エストニア3名、ノルウェー0名

５．２　他部局への授業提供

国際機構教員は、主に(1)総合日本語プログラムおよび(2)日本文化・社会学習プログラムにおいて授業を担当している（第10章を参照)。これ以外に、教員によっては(3)日研プログラムの文化演習Ｉに授業を提供することがある。

これらの主業務以外に、国際機構として他部局に授業を提供しているものには、次のものがある。

1)　大学・社会生活論

国際基幹教育院の導入科目「大学・社会生活論」における「留学と国際交流」の回を。機構の教員が担当している。学類によっては、機構教員に依頼せず独自に行う場合もあるが、多くの学類では機構教員に依頼し、授業の一部または全部を行っている。

2)　共通教育GS言語科目（日本語）

国際基幹教育院の共通教育科目であるGS言語科目(日本語)を提供している。これは総合日本語プログラムのうち、上級の技能別クラスを開放し学部留学生の言語科目として提供しているものである。

【科目名】

アカデミック基礎日本語（A・B)

アカデミックライティング（A・B)

日本事情（A・B)

口頭発表（A・B)

日本語で学ぶ論理（A・B)

講義の聴解（A・B)

上級読解Ｉ、II（A・B)

3)　人間社会学域国際学類日本・日本語教育コースへのコース専門科目

機構の日本語、日本文化を専門分野とする教員が、国際学類の日本・日本語教育コース学生のためのコース専門科目を提供している。それらの専門科目は、以下の通り。

【科目名】

日本語文法B

日本語教育史

第二言語習得論

日本語教育実習A

日本語教育とコンピュータ

５．３　広報活動

5.4.1　留学フェア

留学生センターおよび国際機構は，JASSO（日本学生支援機構）主催の日本留学フェアと国内進学説明会，日韓プログラム留学推進フェア等の留学説明会に参加し，大学の広報活動及び留学生募集に寄与している。

【1】JASSO 日本留学フェア

年度	開催地	開催期間	留学生センター・国際機構参加者
2018（平 30）	台湾（台北）	2018.7	山本　洋 准教授
2018（平 30）	中国（上海）※	2018.10	山本　洋 准教授
2019（令 1）	台湾（台北）	2019.7	堤　敦朗 准教授
2019（令 1）	中国（北京）※	2019.10	堤　敦朗 准教授、薛　芸 特任助教

※中国国際教育展

【2】国費（学部進学）留学生への大学進学説明会

年度	開催地	開催期間	留学生センター・国際機構参加者
2015（平 27）	東京	2015.10	峯 正志教授、伊藤 大将特任助教
2015（平 27）	大阪	2015.11	深川 美帆准教授
2016（平 28）	東京	2016.10	堤 敦朗准教授
2016（平 28）	大阪	2016.11	大谷 吉生教授（留学生センター長）
2017（平 29）	東京	2017.10	小島 荘一特任准教授
2017（平 29）	大阪	2017.11	ママードウァ アイーダ特任助教
2018（平 30）	東京	2018.10	小島 荘一 特任准教授
2018（平 30）	大阪	2018.11	堤 敦朗准教授
2019（令 1）	東京	2019.10	小島 荘一特任准教授
2019（令 1）	大阪	2019.11	堤 敦朗准教授
2020（令 2）	東京（オンライン）	2020.10	小島 荘一特任准教授

【3】日韓プログラム留学推進フェア

年度	開催地	開催期間	留学生センター・国際機構参加者
2015（平 27）	大韓民国国立国際教育院	2015.9	太田　亨教授
2016（平 28）	大韓民国国立国際教育院	2016.9	太田　亨教授
2018（平 30）	大韓民国国立国際教育院	2018.8	太田　亨教授

【4】ヨーロッパ連合の「Erasmus+」によるゲント大学での広報活動

年度	開催地	開催期間	留学生センター・国際機構参加者
2018（平 30）	ベルギー（ゲント）	2018.3.11-17	ビットマン ハイコ 教授

５．４　就職支援

国際機構では、総合日本語プログラムにおける「ビジネス日本語」関連の授業を開講することで、留学生に対する就職支援に貢献してきた。授業内容としては、就職活動に関する情報全般から、自己 PR の仕方、エントリーシートや履歴書の書き方、及び面接練習の仕方、メールをはじめとしたビジネス文書の書き方など、実践的なものを含めている。

特に 2018（平成 26）年度から 5 年間（2021 年度末まで）は、金沢大学が信州大学とともに文部科学省の「「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進プログラム」（https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/）に採択されたことにより、ビジネス日本語教育が、キャリア教育、協働インターンシップとともに 3 本柱のワーキンググループの 1 つ（BJ-WG）として位置づけられ、これまでのビジネス日本語教育の実践とともに、北陸地区の企業に対してリカレント教育調査を実施し、またビジネス日本語 e-Learning 教材の開発にも取り組んだ。以下は、年度ごとに取り組んだ事業内容である。

2017（平成 29）年度

通常クラスの開講：ビジネス日本語 I～III、ビジネス・コミュニケーション

＜教材開発＞

特任助教（非常勤）の雇用

2018（平成 30）年度

1. 通常クラスの開講：ビジネス日本語 I～III、ビジネス日本語 II 春補講、ビジネス・コミュニケーション
2. 信州大学とのコラボ授業の一環として、遠隔授業で金沢大学側がビジネス日本語 IV の

内容の一部を信州大学に提供した。

＜教材開発＞

在学生対象の e-learning 日本語教材を作成開始。e-Learning 敬語と渡日前留学生の教材開発を開始した。またコンテンツのパッケージ化を進め、ネット配信や e-learning によりプログラムの可用性を向上させコンソーシアム参加大学の留学生の利便性を高めるのが目的であった。

＜活動＞

1. リカレント教育（ビジネス日本語関連）についての検討を信州大学と開始した。

リカレント教育コース設立のための指導項目を洗い出すため、企業の日本人に調査。

2.外国人新入社員に対するリカレント教育についてのアンケート調査の調査項目洗い出し

2019（平成 31/令和元）年度

1. 通常クラスの開講：ビジネス日本語 I～III、ビジネス日本語 II 春補講、ビジネス・コミュニケーション I と II を開講

   ビジネス日本語 III の開講は今期が最終、ビジネス・コミュニケーションは、I (Q1,2) II(Q3,4)に通年になる。ビジネス・コミュニケーション II では、内定を得た留学生を対象とし、今までのビジネス日本語 III の役割を担った。開発した e-learning「敬語」を、ビジネス・コミュニケーション I のクラスで使用開始

2. 信州大学とのコラボ授業の一環として遠隔授業で金沢大学と信州大学が協働授業を開講した。

＜教材開発＞

1. ビジネス日本語 I では、次年度に向けコンテンツの e-ラーニング化を図り、反転授業化を目指した。この年度はトライアルとして、e-ラーニング簡易版を利用した授業の反転化を目指した。また、そのためのコンテンツを作成した。作成に際しては、キャリア支援室連携して内容を吟味した。
2. ビジネス日本語 II では、ビジネス日本語 I と同様、来年度に向けコンテンツの e-ラーニング化を図り、反転授業化を目指すために準備を開始した。

＜活動＞

リカレント教育企業調査開始：北陸を拠点とする企業にオンラインアンケートを実施し、

その後承諾を得られた企業に聞き取り調査を実施した。

2020（令和 2）年度

1. 通常クラスの開講：ビジネス日本語 I～III、ビジネス日本語 II 春補講、Q3 インターバル集中ビジネス日本語 I の開講/ビジネス・コミュニケーション I,II を開講した。また、ビジネス日本語 I・II の一部をオンデマンド化し、学生が LMS のスケジュールに沿って授業に取り組んだ。
2. 信州大学とのコラボ授業の一環として、遠隔授業で両校が協働授業を実施した。金沢大学側は、ビジネス・コミュニケーション II の授業の一部として実施した。この年度からは、Zoom の双方向ウェブ会議型のプラットフォームを介して行った。また信州大学からの配信で「外国人社員の就労ケーススタディ」を両大学の学生達がともに学んだ。
3. KOA 科目「新入社員のための日本語ビジネス・コミュニケーション」を、ビジネス・コミュニケーション II と同一授業として開講したが、希望者がいなかった。

＜教材開発＞

1. ビジネス日本語 I・II のビデオ教材のオンデマンド化を図った。開発は BJ-WG の教師で行った。
2. 渡日前留学生のための e-Learning 教材を改良した。

＜活動＞

1. 信州大学と連携して実施した企業への面談調査の結果をまとめ、ビジネス日本語研究会に投稿し、「北陸・信州の日本企業が入社後の外国人社員に求める日本語スキル」として、『BJ ジャーナル』第 4 号に採択された。
2. ビジネス・コミュニケーション I・II、ビジネス日本語 I・II において、質保証のためのルーブリック評価を実施した。

５．５　奨学金獲得支援

派遣及び受け入れ学生の奨学金獲得のための支援として、機構教員が、JASSO の海外留学支援制度（協定派遣・受け入れ）申請書の作成を行った。また、派遣学生のための「トビタテ！留学 JAPAN」奨学金獲得支援として、留学計画書作成や二次試験（プレゼンテーション・面接）突破のためのアドバイスセッションにも参加し、よい成果を上げた。

５．６　国立六大学国際連携機構関連行事

国立六大学国際連携機構（千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学）の関連行事として、岡山大主催で行われたアカデミックセミナー、日本語スピーチコンテストなどに、金沢大学代表として国際機構の教員が参加した。

2017 年度　ミャンマー（マンダレイ、ヤンゴン）にてアカデミックセミナーおよび大学進学説明会に参加

2018 年度　東北師範大学（中国）にて開催された、第 5 回岡山杯日本語スピーチコンテストに審査員として参加

2019 年度　大連理工大学（中国）にて開催された、第 6 回岡山杯日本語スピーチコンテストに審査員として参加

2021 年度　東北師範大学（中国）にて開催された、第 7 回岡山杯日本語スピーチコンテストに審査員として参加

６．地域社会貢献

６．１　いしかわ金沢学

いしかわ金沢学は、留学生就職促進プログラムの一環として引き継がれることになった。信州大学との共同プログラムである。日本での就職を希望する両大学の学生が行き来をし、日本文化や石川や金沢を理解するための体験型プログラムである。2019 年は白山におけるエコ活動を学習し、染め物体験や地元の方の環境に関する話を伺い、北陸における環境サステイナビリティについて学習した。また、長野での企業説明会に参加した。2020 年は、新型コロナウイルス感染拡大のためにいしかわ訪問は中止となった。

いしかわ金沢学は、留学生を対象にしたプログラムであるが、留学生が交流する地域社会の人々に対しても国際交流の機会を提供しており、相互に意義深い活動となっている。今後は、就職支援プログラムの終了に伴い、再び国際機構の科目として開講が期待されている。

６．２　JICA（独立行政法人 国際協力機構）日系社会研修員受入事業

https://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/nikkei/index.html

国際機構では，平成 17 年度から JICA の「日系社会研修員受入事業」を実施してきたが，平成 22 年度から事業の内容が大きく変わり，「継承日本語教育」から「日系アイデンティティ涵養・日系史教材作成」へと変更した。下表のように，2013（平成 25）年度から研修員の受入れがほぼ継続して行われてきている。

本研修事業では，「日系アイデンティティ涵養・日系史教育教材作成演習」という新たな統一テーマの下，中南米からの日系研修員を受入れている。研修員候補者は事前に太田教員から研究課題についてメールで指導を受け，約 2 ヶ月半～3 ヶ月の期間に一定の成果をあげることが可能と判断された課題が受諾される仕組みとなっている。

統一テーマによる受入れを行っている現在，以下のように研修課題は多様化している。国際機構では，「日本文化社会学習プログラム」等を活用しながら，研修員の個別課題達成へのニーズを満たせるよう研修内容のより一層の充実を図っている。

「日系アイデンティティ涵養・日系史教育教材作成演習」(個別短期)

平成 27 年度（2015 年 5 月 15 日～ 7 月 28 日）受入れ

研修員	派遣元	所属機関	個別研修課題
宮本グスタボルイス	ブラジル連邦共和国マナウス市	マナウス和太鼓クラブ	和太鼓指導法の研究と教材開発

平成28年度（2016 年 5 月 24 日～7 月 26 日）

研修員	派遣元	所属機関	個別研修課題
佐藤クリスティアネ 阿久根	ブラジル連邦共和国サンパウロ市	ブラジルファッション協会	J-Fashion に関する情報収集と発信

平成 30年度（2018 年 10 月 10 日～12 月 18 日）受入

研修員	派遣元	所属機関	個別研修課題
砂子澤アンデルソン	ブラジル連邦共和国サンパウロ市	フリーライター	日系移民史書籍『IKIGAI』編纂構想へ向けた準備作業

令和元年度（2019 年 10 月 7 日～12 月 17 日）受入

研修員	派遣元	所属機関	個別研修課題
幸喜グスタボタツミ	ブラジル連邦共和国サンパウロ市	フリー漫画家	ブラジルに石川県を紹介するための漫画『ヒロシの冒険』構想

なお、各教員の個々の社会貢献については、金沢大学データベース参照のこと

７．FD 活動

活動の全体像

国際機構では毎年 FD 活動を行っている。内容については金沢大学の公式報告書（FD 活動報告書）において直近４年分が公開されている。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/educational/fd

国際機構の FD 活動は主に次の三つの活動からなっている。

① 定期的な常勤・非常勤講師による教育に関するミーティングでの情報共有

② 専門家を招いての講演会やワークショップの開催

③ 相互授業見学を行う FD 強化週間の実施

これらの活動により、機構の常勤・非常勤の教員の教育能力の向上、留学生の指導方法の改善に努めている。

なお、これらの活動の他にも、教員は学内学外の FD 活動に積極的に参加している。

７．１　総合日本語プログラム講師会の実施

講師会とは、授業開始 2 週間前と授業開始後 1 週間後に行う、常勤・非常勤の授業担当者の会合である。授業開始前は主にその学期の打ち合わせ、授業開始後は学期の反省を中心に情報を共有する。いずれも授業改善のための重要な会合と認識している。ここで明らかになった問題は教員間の話し合いで解決を図るが、大きい問題については②の研修会やワークショップのテーマとして取り上げ、教員の見識の向上を図っている。

2020 年度は新型コロナのため、対面でなく Zoom を使用しオンラインで実施した。

７．２　研修会および講演会の実施

教員の自己研鑽を図るために、外部から講師を呼んで研修会や、ともに学ぶための勉強会を開いている。自己点検の期間において次の研修会を実施した。

2015 年度

１）e-learning 研修会　講師：深川美帆（留学生センター准教授）

２）ミニセミナーおよび意見交換会

「ブラジルの日系人：言語・メンタリティ」

講師：松原礼子コラレス（サンパウロ大学日本文化研究所教授）

「日本語教育と統計学」

講師：渡部倫子（広島大学教育学部准教授）

2016年度

1）総合日本語プログラム日本語教師勉強会　「中上級の学習活動について考える」

2）ベネッセ classiLMS 講習会　講師：(株) ベネッセ　(2回に分けて行った)

2017年度　FD講演会　「実地授業と留学を用いた新しいアクティブ・ラーニングの形と危機管理：アメリカの大学の事例より」　講師：Prof. Jung Ha Kim (Principal Senior Lecturer, Director of Undergraduate Studies, Georgia State University (GA, USA), Dept. of Sociology

2018年度

1）講演会「『なに』から『なぜ』へ－社会を構築する日本語教育－」　講師：細川英雄（早稲田大学名誉教授）

2）ＦＤセミナー「ブラジル人中級日本語学習者の読解困難点－読解プロセス研究からの視座」　講師：向井裕樹（ブラジリア大学准教授）

3）研修会「ファーストステップを始めとする受け入れ・派遣プログラムのカリキュラムデザイン－大阪大学の事例紹介－」　講師：村岡貴子（大阪大学教授）

2019年度

1）FD 研修会「CLIL を取り入れた言語教育　－理論と実践－」講師：池田真（上智大学教授）

2）FD研修会「民主的シティズンシップ教育と日本語教育」講師：名嶋義直（琉球大学教授）

2020年度　4月7日　FD研修会「Zoomを使っての授業の方法」講師：深川美帆（国際機構准教授）

この年は新型コロナウイルスのため対面での授業が出来なくなり、学内学外で多くのオンライン授業のための研修会、勉強会が開かれた。機構教員も積極的にそれらに参加した。

７．３　FD強化週間の実施

これは、教員の相互授業参観を奨励するための企画で2012年度から始まっている。機構の授業担当者は他の担当者の授業を随時見学できることにしているが、実際にはあまり見学されていない。そこで、11月終わりから12月の初めの1週間をFD強化週間とし、見学

しやすい環境を整えた。見学をした教員は見学後、授業担当教員と授業について話し合うことにしている。お互いの授業を見学し話し合うことで自身の授業を向上させる契機にしてもらう企画であるが、参加は強制ではない。

2015 年度　12 月 7 日～12 月 11 日

2016 年度　12 月 12 日～12 月 16 日

2017 年度　12 月 11 日～12 月 15 日

2018 年度　12 月 10 日～12 月 14 日

2019 年度　12 月 9 日～12 月 13 日

2020 年度　新型コロナウイルス蔓延のため実施しなかったが、後期授業終了後、希望者に他の授業担当者のオンデマンド教材の閲覧を許可した。

８．出版物

国際機構が定期的に発行している出版物としては、（１）『金沢大学国際機構紀要』、（２）金沢大学留学生センターニュース、（３）『日本語・日本文化研修留学生修了研究論文集』がある。これ以外には、不定期に出版される指導部門の生活実態の報告書などがある

（１） については金沢大学学術情報リポジトリを参照のこと
https://kanazawau.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=2308&pn=1&count=20&order=17&lang=japanese&page_id=13&block_id=21

（２） 留学生センター紀要および留学生センターニュースについては「刊行物－金沢大学国際機構」を参照のこと
https://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/publications/

（３） については現在のところ冊子としての公開のみである。

８．１　金沢大学国際機構紀要

毎年一回、国際機構教員の研究成果公表の場として紀要を発行している。2018年度までは『金沢大学留学生センター紀要』であったが、留学生センターから国際機構に改編されたとき『国際機構紀要』と名称を改め、現在第3号まで発行されている。さらに国際機構の新たな使命（国際交流、国際協力の推進）に鑑み、紀要で扱うテーマがより多彩になった。現在投稿できる原稿のテーマは以下の通り。

（１）留学生教育に関するもの
（２）異文化理解教育に関するもの
（３）言語，文化，またはそれらの教育に関するもの
（４）国際交流、国際協力に関するもの
（５）その他，編集委員会が認めるもの

現在では、国際機構の教員以外の投稿者も増えている。紀要の発行は国際機構教員だけでなく、他部局の教員の研究成果の発表の場としての役割も果たしている。

８．２　金沢大学留学生センターニュース

～年から 2017 年まで年一回発行した。金沢大学の日本人学生、留学生、教職員に向けた広報誌で、国際機構（留学生センター）の活動を広く広報するために役立ったが、毎年 1 回の発行では役立つ情報をタイムリーに届けることができないなどの理由から、活動報

告や情報の告知は国際機構の HP でその都度伝える方がよいのではないかと判断し、発行を止めた。

なお、以前は HP にバックナンバーを掲載していたが、現在は個人情報保護の観点から掲載を中止している。

８．３　『日本語・日本文化研修留学生修了研究論文集』

日本語・日本文化研修プログラムの研修生は、プログラム修了時にレポートの提出が課せられている。その修了レポートをまとめた『日本語・日本文化研修留学生修了研究論文集』が毎年出版されている。

８．４　その他

８．４．１

2020 年度に『金沢大学 2018-2019 年留学生生活実態調査・報告書』（2021 年 3 月）が公表された。

８．４．２　年報

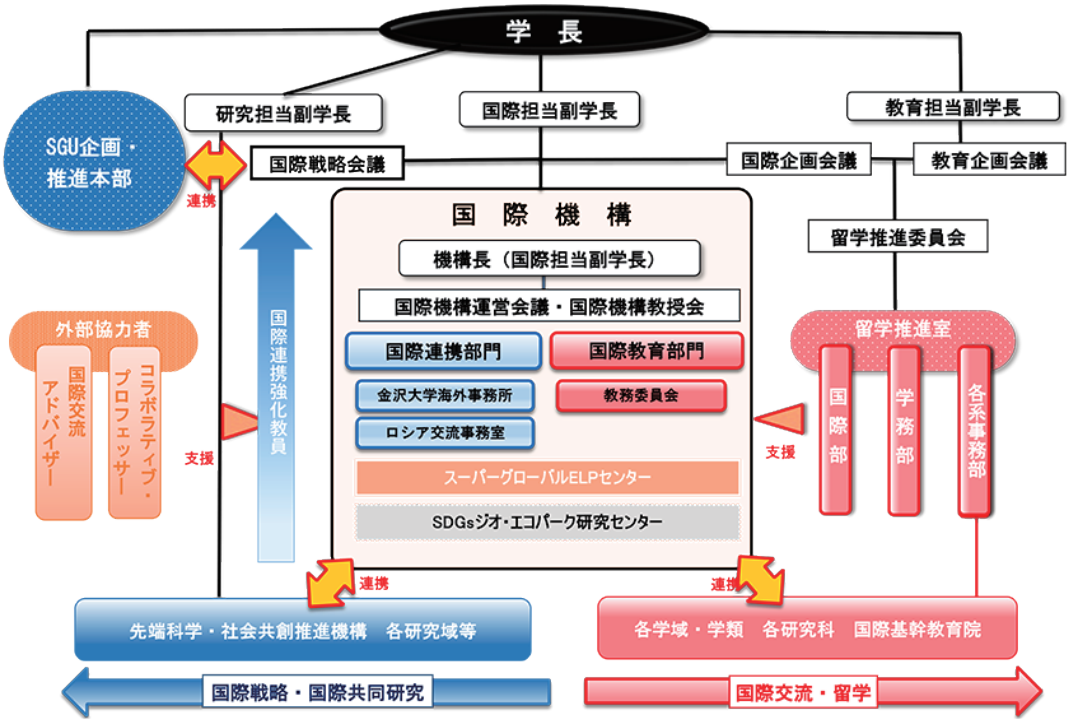
年報は 2005 年から 2〜3 年に一度発行していたが、2014 年を最後に発行が途絶えている。1〜2 年ごとの発行で細かく機構の活動を見直すと共に、4〜5 年に一回の自己点検評価の資料とすることが目的であったが、発行の中断は反省すべき点であると考える。今後は冊子媒体での発行とせず、HP での公表を考えている。

９．国際機構の現状と展望

組織：

下図のように、2018（平成 30）年度より「留学生センター」という呼称は廃止され、国際担当副学長を機構長として「国際機構」という組織に一本化した。さらに、2020（令和 2 年）度に部門を改め「国際連携部門」と「国際教育部門」を置いた。更に「スーパーグローバル ELP センター」と共に「SDGS ジオ・エコパーク研究センター」を付属させた。新しく改編された国際機構は、金沢大学の国際化に関する戦略策定、及び国際化のための各種教育の企画・実施等、大学の国際化を推進する役割を担っている。

また、2016（平成 28）年度に創設された国際基幹教育院においては、「国際教育部門」の業務を兼任し、GS 言語科目の提供による留学生の初習教育や、留学生のための各種教育プログラム等の企画・実施を担当している。



教育：

留学生センター創設（1995 年）から築き上げてきた教育の伝統を踏襲し、国際機構においても留学生に対する「日本語教育」と「日本文化社会教育」を大きな 2 本柱としている。また、日本人学生に対する国際化教育においては、1 年時の導入科目「大学・生活社会論（留学と国際交流）」を担当するとともに、２．２に記した「日本文化社会学習プログラム」

を国際学類と学校教育学類の日本人学生に開放することで、留学生と日本人学生が共に学べる教育環境を提供している。

また留学生センター時代から「大学院予備教育・日本語研修コース」や「日本語・日本文化研修コース」、「KUSEP（金沢大学短期留学プログラム）」、「日韓共同理工系学部留学生コース」、「金沢大学セメスタープログラム」といった留学生受け入れプログラムを実施するとともに、2020 年 10 月からは KUSEP の後継プログラムとして全学受け入れになった「KUEP（金沢大学交換留学プログラム）」においても、人間社会学域の准専任教員として留学生の受け入れに協力している。

一方、KUEST、KUSS といった短期プログラムの開発に続き、KUMAP（2016 年度～2017 年度）、KUSDP（2017 年度～2019 年度）といった新しい短期プログラムも企画・実施するなど、多様な留学プログラムの開発にも努め、受け入れ留学生の増加のみならず、教育の質の向上も図ってきた。今後はさらに超短期プログラムとして、クォーターあるいはそれより短い期間の受け入れプログラムをファーストステップ留学プログラムとして開発していく予定であり、2021 年 3 月の時点で、欧州のいくつかの大学（例えば、オランダのライデン大学など）からの新規受け入れが実現されつつある。

日本語教育については、留学生数の増加を受け、多様な背景を持つ留学生のニーズに応えられるよう努力しているが、受講生の数は適正人数を超えることが多くなり、解決が急がれる問題となっている。リソースは予算的にも人的にも限られており、どのように効率的にプログラムが運営するかが求められている。一方、忙しくて受講したくても受講できない留学生への対処として、Moodle をベースとした e-learning システムを構築し日本語プログラムの充実とともに、オンラインを生かした学習環境を整えた教材の開発と内容の充実を図っていかなければならないと考えている。

それにちょうど時宜を合わせたかのように、2019 年度末から全世界を席巻した新型コロナウイルス感染症によるオンライン授業が始まり、e-learning とオンラインを組み合わせた教育の実施と、それに合わせた教材の開発が急ピッチで進められている。

相談・指導：

全学の留学生に共通する問題への対応が求められるのが「相談・指導」業務である。国際機構では、部門として立てられてはいないが、留学生教育・指導業務の一環として位置づけられており、①留学生自身およびその周囲の人々に関連する事項、②留学生と共に来日する家族の問題、の 2 点について取り組みと提言を行っている。①では「学力・研究能力」を中心とする問題への対応と提言、②では学内部局、学外の関係組織との連携により、支援を充実させるための助言と提言である。とりわけ、留学生の専攻する分野の専門的な

指導においては、各部局での対応が必要不可欠であり、「オール金沢大学」体制で、留学生教育と取り組むべきである。留学生教育の経験と実績は、留学生センター時代から伝統として受け継がれてきているが、今後は各部局において速やかに対処できる機能を構築することが求められる。

派遣留学の推進：

金沢大学学生の海外留学件数は、派遣留学、語学研修、インターシップなど、期間や内容にかかわらず、増加傾向にあり、ここにおける国際機構の役割は大きい。学生の海外派遣は、留学生受け入れと対になった「車の両輪」であるが、国際機構の教員は、留学生センター創設以来一貫してこのことを念頭に置いて業務に当たっており、新規受け入れプログラムの創案・実施、既存のプログラムの充実・拡大を図ると同時に、交流協定校との連携体制の整備、新規交流協定校の開発、本学の派遣留学制度への提言など、本学学生の留学環境を整えることに尽力してきた。更に、「スーパーグローバル大学創生事業」に係る業務には、国際機構所属の特任教員が大きく貢献している。今後とも、国際機構は本学における学生派遣、留学生受け入れの両者を引き続き主導していくことになるであろう。

10. 資料集

資料1 開講科目・履修登録者数一覧

2015春		2015秋		2016春		2016秋		2017春		2017秋		2018春		2018秋		2019春		2019秋		2020Q1・Q2			2020Q3・Q4		
2015春 科目名	2015春	2015秋 科目名	2015秋	2016春 科目名	2016春	2016秋 科目名	2016秋	2017春 科目名	2017春	2017秋 科目名	2017秋	2018春 科目名	2018春	2018秋 科目名	2018秋	2019春 科目名	2019春	2019秋 科目名	2019秋	2020Q1 科目名	2020Q1	2020Q2	2020Q3 科目名	2020Q3	2020Q4
日本語AS1	13	日本語AS1	31	日本語AS1	8	日本語AS1 ①	23	日本語AS1	15	日本語AS1	26	日本語AS1	23	日本語AS1	20	日本語AS1	9	日本語AS1	25	日本語AS1	10	10	日本語 基礎1	16	16
						日本語AS1 ②	19											日本語AS1 ②	12						
日本語AS2	9	日本語AS2	5	日本語AS2	17	日本語AS2	6	日本語AS2	24	日本語AS2	17	日本語AS2	9	日本語AS2	15	日本語AS2	9	日本語AS2	6	日本語AS2	14	14	日本語 基礎2	3	3
日本語A	12	日本語A	18	日本語A	16	日本語A	24	日本語A	21	日本語A	32	日本語A	13	日本語A	19	日本語A	19	日本語A	28	日本語A	8	8	日本語 初級1	16	16
																				日本語A②	8	8			
日本語B	16	日本語B	19	日本語B	19	日本語B	16	日本語B	22	日本語B	23	日本語B	20	日本語B	15	日本語B	13	日本語B	18	日本語B	13	13	日本語 初級2	20	20
日本語C	26	日本語C	18	日本語C①	10	日本語C①	11	日本語C①	13	日本語C	32	日本語C	8	日本語C①	18	日本語C	26	日本語C①	19	日本語C	16	16	日本語 中級1	14	14
				日本語C②	12	日本語C②	14	日本語C②	11	日本語C②				日本語C②	14			日本語C②	8						
																日本語C 会話	27								
日本語D1	26	日本語D1	17	日本語D1	23	日本語D1	13	日本語D1	26	日本語D1	26	日本語D1	22	日本語D1 ①	14	日本語D1	30	日本語D1 ①	16	日本語D1	11	11	日本語 中級2	15	15
														日本語D1 ②	14			日本語D1 ②	16						
		日本語D1（会話）	17	日本語D1（会話）	23	日本語D1（会話）	13	日本語D1（会話）	22	日本語D1（会話）	26	日本語D1（会話）	29	日本語D1（会話）①	13	日本語D1（会話）	29								
														日本語D1（会話）②	15										
		日本語D2	19	日本語D2	17	日本語D2	14	日本語D2	14	日本語D2	25	日本語D2	21	日本語D2	15	日本語D2	17	日本語D2	26	日本語D2	16	16	日本語 中上級	9	9
		日本語D2（会話）	19	日本語D2（会話）	19	日本語D2（会話）	13	日本語D2（会話）	15	日本語D2（会話）	25	日本語D2（会話）	14	日本語D2（会話）	15	日本語D2（会話）	19								
日本語E	32	日本語E	28	日本語E	18	日本語E	24	日本語E	11	日本語E	14	日本語E	24	日本語E	18	日本語E	14	日本語E	27	日本語E	12	12	日本語 上級	13	12
日本語初級集中（総合）	12	日本語初級集中（総合）	25	日本語初級集中（会話）	6	日本語初級集中（会話）	6	日本語初級集中（会話）	7	日本語初級集中（会話）	10	日本語初級集中（会話）	5	日本語初級集中（総合）	14			日本語初級集中（総合）	11						
				日本語初級集中（読解作文）	6	日本語初級集中（読解作文）	0	日本語初級集中（読解作文）	0	日本語初級集中（読解作文）	10	日本語初級集中（読解作文）	5												
				日本語初級集中（文法語彙）	6	日本語初級集中（文法語彙）	0	日本語初級集中（文法語彙）	0	日本語初級集中（文法語彙）															
						日本語初級集中（漢字）	6	日本語初級集中（漢字）	6	日本語初級集中（漢字）	11	日本語初級集中（漢字）	4												
日本語初中級集中（総合）	18	日本語初中級集中（総合）	7	日本語初中級集中（会話）	15	日本語初中級集中（会話）	8	日本語初中級集中（会話）	14	日本語初中級集中（会話）	8	日本語初中級集中（会話）	9	日本語初中級集中（総合）	16	日本語初中級集中（会話）	8	日本語初中級集中（総合）1	8	日本語初中級集中（総合）1	9	1			
				日本語初中級集中（読解作文）	14	日本語初中級集中（読解作文）	8	日本語初中級集中（読解作文）	12	日本語初中級集中（読解作文）	8	日本語初中級集中（読解作文）	5	日本語初中級集中（読解作文）	14	日本語初中級集中（読解作文）	8	日本語初中級集中（読解作文）1	8	日本語初中級集中（読解作文）1	6	0				
				日本語初中級集中（文法語彙）	14	日本語初中級集中（文法語彙）	0	日本語初中級集中（文法語彙）	0	日本語初中級集中（文法語彙）															
				日本語初中級集中（漢字）	11	日本語初中級集中（漢字）	0	日本語初中級集中（漢字）		日本語初中級集中（漢字）						日本語初中級集中（漢字）									
総合クラス 計	**164**	**総合クラス 計**	**223**	**総合クラス 計**	**254**	**総合クラス 計**	**218**	**総合クラス 計**	**233**	**総合クラス 計**	**293**	**総合クラス 計**	**211**	**総合クラス 計**	**249**	**総合クラス 計**	**228**	**総合クラス 計**	**228**	**総合クラス 計**	**123**	**109**	**総合クラス 計**	**108**	**105**
日本語 漢字・語彙1	16	日本語 漢字・語彙1	21	日本語 漢字・語彙1	30	日本語 漢字・語彙1	21	日本語 漢字・語彙1	29	日本語 漢字・語彙1	32	日本語 漢字・語彙1	21	日本語 漢字・語彙1	27	日本語 漢字・語彙1	16	日本語 漢字・語彙1	16	日本語 漢字・語彙1	21	21	日本語 漢字・語彙1	14	14
日本語 漢字・語彙2	15	日本語 漢字・語彙2	20	日本語 漢字・語彙2	13	日本語 漢字・語彙2	25	日本語 漢字・語彙2	22	日本語 漢字・語彙2	14	日本語 漢字・語彙2	20	日本語 漢字・語彙2	29	日本語 漢字・語彙2	16	日本語 漢字・語彙2	16	日本語 漢字・語彙2	4	4	日本語 漢字・語彙2	12	12
日本語 漢字・語彙3	19	日本語 漢字・語彙3	15	日本語 漢字・語彙3	17	日本語 漢字・語彙3	24	日本語 漢字・語彙3	27	日本語 漢字・語彙3	25	日本語 漢字・語彙3	12	日本語 漢字・語彙3	27	日本語 漢字・語彙3	27	日本語 漢字・語彙3	27	日本語 漢字・語彙3	18	18	日本語 漢字・語彙3	12	12
日本語 漢字・語彙4	16	日本語 漢字・語彙4	10	日本語 漢字・語彙4	22	日本語 漢字・語彙4	8	日本語 漢字・語彙4	20	日本語 漢字・語彙4	22	日本語 漢字・語彙4	20	日本語 漢字・語彙4	23	日本語 漢字・語彙4	23	日本語 漢字・語彙4	23	日本語 漢字・語彙4	11	11	日本語 漢字・語彙4	12	12
日本語 漢字・語彙5	20	日本語 漢字・語彙5	21	日本語 漢字・語彙5	18	日本語 漢字・語彙5	15	日本語 漢字・語彙5	12	日本語 漢字・語彙5	19	日本語 漢字・語彙5	13	日本語 漢字・語彙5	16	日本語 漢字・語彙5	16	日本語 漢字・語彙5	16	日本語 漢字・語彙5	10	10	日本語 漢字・語彙5	10	10
日本語 漢字・語彙6	24	日本語 漢字・語彙6	17	日本語 漢字・語彙6	21	日本語 漢字・語彙6	22	日本語 漢字・語彙6	12	日本語 漢字・語彙6	24	日本語 漢字・語彙6	22	日本語 漢字・語彙6	21	日本語 漢字・語彙6	13	日本語 漢字・語彙6	13	日本語 漢字・語彙6	15	15	日本語 漢字・語彙6	10	10
日本語 漢字・語彙7	27	日本語 漢字・語彙7	13	日本語 漢字・語彙7	15	日本語 漢字・語彙7	17	日本語 漢字・語彙7	9	日本語 漢字・語彙7	11	日本語 漢字・語彙7	22	日本語 漢字・語彙7	12	日本語 漢字・語彙7	9	日本語 漢字・語彙7	9	日本語 漢字・語彙7	12	12	日本語 漢字・語彙7	7	7
漢字クラス 計	**137**	**漢字クラス 計**	**117**	**漢字クラス 計**	**136**	**漢字クラス 計**	**132**	**漢字クラス 計**	**131**	**漢字クラス 計**	**147**	**漢字クラス 計**	**130**	**漢字クラス 計**	**155**	**漢字クラス 計**	**120**	**漢字クラス 計**	**120**	**漢字クラス 計**	**91**	**91**	**漢字クラス 計**	**77**	**77**
																							日本語 初級会話	12	12
																							日本語 初級読解	8	8
																							日本語 初級作文	8	8
日本語 作文1	12	日本語 作文1	12	日本語 作文1	17	日本語 作文1	9	日本語 作文1	14	日本語 作文1	28	日本語 作文1	11	日本語 作文1	32	日本語 作文1	19	日本語 作文1	21	日本語 作文1	14	14	日本語 中級作文	10	10
日本語 作文2	18	日本語 作文2	17	日本語 作文2	18	日本語 作文2	12	日本語 作文2	16	日本語 作文2	27	日本語 作文2	13	日本語 作文2	16	日本語 作文2	25	日本語 作文2	28	日本語 作文2	10	10	日本語 中上級作文	11	11
日本語 中級聴解	20	日本語 中級聴解	7	日本語 中級聴解	11	日本語 中級聴解	16	日本語 中級聴解	21	日本語 中級聴解	20	日本語 中級聴解	11	日本語 中級聴解	22	日本語 中級聴解	20	日本語 中級聴解	17	日本語 中級聴解	9	9	日本語 中級聴解	9	9
日本語 中上級聴解	10	日本語 中上級聴解	17	日本語 中上級聴解	23	日本語 中上級聴解	20	日本語 中上級聴解	19	日本語 中上級聴解	20	日本語 中上級聴解	21	日本語 中上級聴解	27	日本語 中上級聴解	12	日本語 中上級聴解	27	日本語 中上級聴解	14	14	日本語 中上級聴解	9	9
		日本語 中級読解	18			日本語 中級読解	9	日本語 中級読解	7			日本語 中級読解	18												
								日本語 中上級読解	19	日本語 中上級読解										日本語 中上級読解	13	13	日本語 中上級読解	4	4
日本語 上級聴解Ⅰ	18	日本語 上級聴解Ⅱ	10	日本語 上級聴解Ⅰ	37	日本語 上級聴解Ⅱ	21	日本語 上級聴解Ⅰ	30	日本語 上級聴解Ⅱ	12	日本語 上級聴解Ⅰ	20	日本語 上級聴解Ⅱ	11	日本語 上級聴解Ⅰ	11	日本語 上級聴解Ⅱ	14	日本語 上級聴解Ⅰ	12	12	日本語 上級聴解Ⅱ	8	8
日本語 上級読解Ⅰ	11	日本語 上級読解Ⅱ	10	日本語 上級読解Ⅰ	9	日本語 上級読解Ⅱ	11	日本語 上級読解Ⅰ	12	日本語 上級読解Ⅱ	8	日本語 上級読解Ⅰ	12	日本語 上級読解Ⅱ	7	日本語 上級読解Ⅰ	9	日本語 上級読解Ⅱ	15	日本語 上級読解ⅡA	11	10	日本語 上級読解ⅡA	4	4
日本語 上級文法Ⅰ	27	日本語 上級文法Ⅱ	17	日本語 上級文法Ⅰ	25	日本語 上級文法Ⅱ	9	日本語 上級文法Ⅰ	22	日本語 上級文法Ⅰ	16	日本語 上級文法Ⅰ	14	日本語 上級文法Ⅰ	12	日本語 上級文法Ⅰ	20	日本語 上級文法Ⅱ	14	日本語 上級文法Ⅰ	23	23	日本語 上級文法Ⅱ	8	7
日本語 速読	8	日本語 速読	12	日本語 速読	16	日本語 速読	14	日本語 速読	14	日本語 速読	27	日本語 速読	11	日本語 速読	28	日本語 速読	18	日本語 速読	14	日本語 速読	9	9	日本語 速読	8	8
日本語 日本事情入門Ⅰ	5	日本語 日本事情入門Ⅱ	9	日本語 日本事情入門Ⅰ	13	日本語 日本事情入門Ⅱ	10	日本語 日本事情入門Ⅰ	9	日本語 日本事情入門Ⅱ	26	日本語 日本事情入門Ⅰ	9	日本語 日本事情入門Ⅱ	10	日本語 日本事情入門Ⅰ	15	日本語 日本事情入門Ⅱ	15	日本語 日本事情入門Ⅰ	5	5	日本語 日本事情入門Ⅱ	6	6
日本語 日本事情	27	日本語 日本事情	5	日本語 日本事情A	23	日本語 日本事情	15	日本語 日本事情	23	日本語 日本事情	10	日本語 日本事情	27	日本語 日本事情	12	日本語 日本事情	12	日本語 日本事情	21	日本語 日本事情A	10	10	日本語 日本事情A	8	5
日本語 アカデミック・ライティング1（月4）	13	アカデミック・ライティング1（月3）	18	アカデミック・ライティング1（月3）	12	アカデミック・ライティング1（月3）	19	アカデミック・ライティング1（月3）	5	日本語 アカデミック・ライティング1	15			日本語 アカデミック・ライティング1	15	アカデミック・ライティング1	14	日本語 アカデミック・ライティング1	13	日本語 アカデミック・ライティング1A	15	14	日本語 アカデミック・ライティング1A	5	4
日本語 アカデミック・ライティング1（月1）*	18	アカデミック・ライティング1（月1）*	18	アカデミック・ライティング1（月1）*	15	アカデミック・ライティング1（月1）*	20	アカデミック・ライティング1（月1）*	11			アカデミック・ライティング1*	28												
日本語 アカデミック・ライティング2*	13	アカデミック・ライティング2*	13	アカデミック・ライティング2*	5	アカデミック・ライティング2*	5	アカデミック・ライティング2*	11	日本語 アカデミック・ライティングⅡ	13	アカデミック・ライティング2*	8	日本語 アカデミック・ライティングⅡ	9								日本語 アカデミック・ライティングⅡA	3	2
日本語 アカデミック基礎日本語	14	日本語 アカデミック基礎日本語	11	日本語 アカデミック基礎日本語A	6	日本語 アカデミック基礎日本語	6	日本語 アカデミック基礎日本語	14	日本語 アカデミック基礎日本語A	8	日本語 アカデミック基礎日本語	12	日本語 アカデミック基礎日本語A	14	日本語 アカデミック基礎日本語	6	日本語 アカデミック基礎日本語A	26	日本語 アカデミック基礎日本語A	4	4	日本語 アカデミック基礎日本語A	2	2
日本語 口頭発表Ⅰ	16	日本語 口頭発表Ⅱ	26	日本語 口頭発表ⅠA	11	日本語 口頭発表Ⅱ	21	日本語 口頭発表Ⅰ	6	日本語 口頭発表Ⅱ	14	日本語 口頭発表Ⅱ	12	日本語 口頭発表Ⅰ	17	日本語 口頭発表Ⅱ	5	日本語 口頭発表Ⅰ	18	日本語 口頭発表ⅠA	10	10	日本語 口頭発表ⅠA	7	5
日本語 講義の聴解	16	日本語 講義の聴解	15	日本語 講義の聴解A	6	日本語 講義の聴解	10	日本語 講義の聴解	13	日本語 講義の聴解	7	日本語 講義の聴解	26	日本語 講義の聴解	11	日本語 講義の聴解	16	日本語 講義の聴解	22	日本語 講義の聴解A	9	8	日本語 講義の聴解A	8	6
						日本語 日本語で学ぶ論理	8			日本語 日本語で学ぶ論理	5			日本語 日本語で学ぶ論理	8			日本語 日本語で学ぶ論理	8	日本語 日本語で学ぶ論理A	8	7	日本語 日本語で学ぶ論理A	3	3
留学生のための日本文学	15	留学生のための日本文学	13	留学生のための日本文学	18	留学生のための日本文学	23	留学生のための日本文学	9	留学生のための日本文学	18	留学生のための日本文学	12	留学生のための日本文学	11										
技能別クラス 計	**261**	**技能別クラス 計**	**248**	**技能別クラス 計**	**265**	**技能別クラス 計**	**258**	**技能別クラス 計**	**266**	**技能別クラス 計**	**256**	**技能別クラス 計**	**253**	**技能別クラス 計**	**262**	**技能別クラス 計**	**202**	**技能別クラス 計**	**273**	**技能別クラス 計**	**187**	**180**	**技能別クラス 計**	**113**	**103**
		ビジネス日本語Ⅰ	11			ビジネス日本語Ⅰ	11			ビジネス日本語Ⅰ	12	ビジネス日本語Ⅰ		ビジネス日本語Ⅰ	25			ビジネス日本語Ⅰ	24				ビジネス日本語Ⅰ	**19**	
		ビジネス日本語Ⅱ	9			ビジネス日本語Ⅱ	11			ビジネス日本語Ⅱ	13	ビジネス日本語Ⅱ													**20**
				ビジネス日本語Ⅲ	15			ビジネス日本語Ⅲ	7	ビジネス日本語Ⅲ	0	ビジネス日本語Ⅲ	8			ビジネス日本語Ⅲ	14									
ビジネス日本語Ⅳ	8									ビジネス日本語Ⅳ	0	ビジネス日本語Ⅳ		ビジネス日本語Ⅳ	5										
ビジネス日本語Ⅴ	17									ビジネス日本語Ⅴ	0	ビジネス日本語Ⅴ													
				日本語 ビジネス・コミュニケーションⅠ	31	ビジネス・コミュニケーション	15	日本語 ビジネス・コミュニケーションⅠ	19	ビジネス・コミュニケーション	17	ビジネス・コミュニケーション	16	ビジネス・コミュニケーション	17	ビジネス・コミュニケーション	24	ビジネス・コミュニケーションⅡ	15	日本語 ビジネス・コミュニケーションⅠ	21	21	日本語 ビジネス・コミュニケーションⅡ	8	8
ビジネス日本語コース 計	**25**	**ビジネス日本語コース 計**	**20**	**ビジネス日本語コース 計**	**46**	**ビジネス日本語コース 計**	**37**	**ビジネス日本語コース 計**	**26**	**ビジネス日本語コース 計**	**17**	**ビジネス日本語コース 計**	**16**	**ビジネス日本語コース 計**	**47**	**ビジネス日本語コース 計**	**38**	**ビジネス日本語コース 計**	**15**	**ビジネス日本語コース 計**	**21**	**21**	**ビジネス日本語コース 計**	**27**	**28**
医学部補講（入門）	9	日本語入門（医学）	7	日本語入門（医学）	4	日本語入門（医学）	6	日本語入門（医学）	4	日本語入門（医学）	8	日本語入門（医学）	4	日本語入門（医学）	8	日本語入門（医学）	6	日本語入門（医学）	12	日本語入門（医学）	0	0			
医学部補講（初級）	8	日本語初級（医学）	12	日本語初級（医学）	7	日本語初級（医学）	8	日本語初級（医学）	8	日本語初級（医学）	9	日本語初級（医学）	8	日本語初級（医学）	5	日本語初級（医学）	3	日本語初級（医学）	4	日本語初級（医学）	5	5			
医学部補講（中級）	8	日本語中級（医学）	3	日本語中級（医学）	4	日本語中級（医学）	2	日本語中級（医学）	5	日本語中級（医学）		日本語中級（医学）	4	日本語中級（医学）	1	日本語中級（医学）	8	日本語中級（医学）	8	日本語中級（医学）	0	0			
日本語（医学） 計	**25**	**日本語（医学） 計**	**22**	**日本語（医学） 計**	**15**	**日本語（医学） 計**	**12**	**日本語（医学） 計**	**17**	**日本語（医学） 計**	**17**	**日本語（医学） 計**	**16**	**日本語（医学） 計**	**14**	**日本語（医学） 計**	**17**	**日本語（医学） 計**	**24**	**日本語（医学） 計**	**5**	**5**			
合計	**612**	**合計**	**630**	**合計**	**716**	**合計**	**657**	**合計**	**673**	**合計**	**730**	**合計**	**626**	**合計**	**727**	**合計**	**605**	**合計**	**660**	**合計**	**427**	**406**	**合計**	**323**	**313**

資料２　科目担当者一覧

区分	クラス名	2015年度春学期 授業担当者 (クラス責任者)				
総合/研修	日本語初級集中	松田真	笹原	本田	星	敷田
	日本語初中級集中	松田真	川上	奥山	松田佳	三浦
総合	日本語AS1	深川	高畠			
	日本語AS2	峯	川上			
	日本語A	星	苗田	川上	大熊	
	日本語B	寺下	苗田	田中	星	
	日本語C①	道端	星	苗田		
	日本語C②	（川上）	道端	苗田		
	日本語D	松田佳	苗田	道端		
	日本語E①	深川	敷田	苗田		
	日本語E②	敷田	松田佳			
医学部補講	医学部入門	峯	川上			
	医学部初級	深澤	川上			
	医学部中級	深澤	TA			
漢字・語彙	漢字・語彙1	川上				
	漢字・語彙2	田中				
	漢字・語彙3	苗田				
	漢字・語彙4	河内				
	漢字・語彙5	河内				
	漢字・語彙6	高畠				
	漢字・語彙7	藤田				
技能別	作文1	深川				
	作文2	松田佳				
	アカデミック・ライティング1	松田佳				
	中級聴解	松田真				
	中上級聴解	松田真				
	上級聴解Ⅰ	笹原				
	上級文法Ⅰ	峯				
	日本事情入門Ⅰ	斉木				
	日本語速読	太田				
	中級読解	敷田				
	留学生のための日本文学	三浦				
技能別／日本語B	口頭発表Ⅰ	峯				
	上級読解Ⅰ	深川				
	講義の聴解	太田				
	アカデミック・ライティング1	松田佳				
	アカデミック・ライティング2	山本				
	アカデミック日本語基礎Ⅰ	深澤				
ビジネス日本語	ビジネス日本語Ⅳ	深川				
	ビジネス日本語Ⅴ	笹原				
技能別／共通教育	日本事情Ⅰ	八重澤				

クラス名	2015年度秋学期 授業担当者 (クラス責任者)						
日本語初級集中	松田真	笹原	本田	三浦	星	敷田	伊藤
日本語初中級集中	松田真	川上	奥山	松田佳	伊藤		
日本語AS1	高畠	松田佳					
日本語AS2	川上	深川					
日本語A	星	苗田	川上	大熊			
日本語B	寺下	苗田	田中	星			
日本語C①	道端	星	川上				
日本語C②	（川上）	道端	苗田				
日本語D1	苗田	道端	奥山				
日本語D2	深川	苗田	松田佳				
日本語E①	（松田佳）	敷田	苗田				
日本語E②	敷田	苗田	峯				
医学部入門	深澤	峯					
医学部初級	峯	川上					
医学部中級	深澤	TA					
漢字・語彙1	ブシマキナ						
漢字・語彙2	田中						
漢字・語彙3	ブシマキナ						
漢字・語彙4	河内						
漢字・語彙5	河内						
漢字・語彙6	高畠						
漢字・語彙7	藤田						
作文1	深川						
作文2	松田佳						
アカデミック・ライティング1	松田佳						
中級聴解	松田真						
中上級聴解	小島						
上級聴解Ⅱ	笹原						
上級文法Ⅱ	峯						
日本事情入門Ⅱ	斉木						
日本語速読	太田						
中級読解	敷田						
留学生のための日本文学	三浦						
口頭発表Ⅱ	松田真						
上級読解Ⅱ	深川						
講義の聴解	太田						
アカデミック・ライティング1	小島						
アカデミック・ライティング2	山本						
アカデミック基礎日本語Ⅱ	太田						
ビジネス日本語Ⅰ	太田						
ビジネス日本語Ⅱ	笹原						
日本事情Ⅱ	三浦						

クラス名	2016年度春学期 授業担当者 (クラス責任者)					
日本語初級集中	松田真	笹原	ブシマキナ	本田	伊藤	三浦
日本語初中級集中	伊藤	松田真	敷田	松田佳		
日本語AS1	高畠	松田佳				
日本語AS2	深川	伊藤				
日本語A	星	苗田	ブシマキナ	笹原		
日本語B	寺下	田中	河内	星		
日本語C①	（苗田）	田中	道端			
日本語C②	鶴町	道端				
日本語D1	道端	敷田	岡本			
日本語D2	深川	苗田	松田佳			
日本語E	敷田	苗田	松田佳			
医学部入門	峯	ブシマキナ				
医学部初級	峯	深澤				
医学部中級	深澤	TA				
漢字・語彙1	ブシマキナ					
漢字・語彙2	田中					
漢字・語彙3	ブシマキナ					
漢字・語彙4	河内					
漢字・語彙5	河内					
漢字・語彙6	高畠					
漢字・語彙7	藤田					
作文1	深川					
作文2	松田佳					
アカデミック・ライティング1	松田佳					
中級聴解	松田真					
中上級聴解	小島					
上級聴解Ⅰ	笹原					
上級文法Ⅰ	峯					
日本事情入門Ⅰ	斉木					
日本語速読	太田					
中級読解	敷田					
留学生のための日本文学	三浦					
アカデミック基礎日本語Ⅰ	深澤					
アカデミック・ライティング1	小島					
アカデミック・ライティング2	山本					
口頭発表Ⅰ	峯					
上級読解Ⅰ	深川					
講義の聴解	太田					
日本事情	峯					
ビジネス日本語Ⅲ	深川					
ビジネス・コミュニケーション	笹原					

クラス名	2016年度秋学期 授業担当者 (クラス責任者)						
日本語初級集中	松田真	伊藤	笹原	星	本田	ブシマキナ	三浦
日本語初中級集中	伊藤	松田真	仁谷	松田佳	敷田		
日本語AS1①	松田佳	峯					
日本語AS1②	高畠	ブシマキナ					
日本語AS2	深川	伊藤					
日本語A	星	苗田	ブシマキナ	笹原			
日本語B	寺下	田中	星				
日本語C①	（苗田）	市村	道端				
日本語C②	鶴町	道端					
日本語D1	道端	敷田	岡本				
日本語D2	深川	苗田	松田佳				
日本語E	敷田	苗田	松田佳				
医学部入門	峯	ブシマキナ					
医学部初級	峯	深澤					
医学部中級	深澤	TA					
漢字・語彙1	ブシマキナ						
漢字・語彙2	田中						
漢字・語彙3	ブシマキナ						
漢字・語彙4	河内						
漢字・語彙5	河内						
漢字・語彙6	高畠						
漢字・語彙7	藤田						
作文1	深川						
作文2	松田佳						
アカデミック・ライティング1	松田佳						
中級聴解	松田真						
中上級聴解	小島						
上級聴解Ⅱ	笹原						
上級文法Ⅱ	峯						
日本事情入門Ⅱ	斉木						
日本語速読	太田						
中級読解	敷田						
留学生のための日本文学	三浦						
アカデミック基礎日本語	深川						
アカデミック・ライティング1	小島						
アカデミック・ライティング2	山本						
口頭発表Ⅱ	松田真						
上級読解Ⅱ	深川						
講義の聴解	太田						
日本事情	峯						
ビジネス日本語Ⅰ(Q3)	太田						
ビジネス日本語Ⅱ(Q4)	小島	深川					
ビジネス・コミュニケーション	笹原						

クラス名	2017年度春学期 授業担当者 (クラス責任者)					
日本語初級集中	松田真	笹原	ブシマキナ	本田	伊藤	仁谷
日本語初中級集中	松田真	仁谷	松田佳	奥山		
日本語AS1	高畠	松田佳				
日本語AS2	深川	仁谷				
日本語A	笹原	ブシマキナ	苗田	星		
日本語B	田中	寺下	河内	星		
日本語C①	（道端）	市村	苗田			
日本語C②	鶴町	道端	仁谷			
日本語D1	敷田	岡本	市村			
日本語D2	苗田	敷田	道端			
日本語E	松田佳	苗田	敷田			
医学部入門	ブシマキナ	三浦				
医学部初級	峯	深澤				
医学部中級	深澤	TA				
漢字・語彙1	ブシマキナ					
漢字・語彙2	田中					
漢字・語彙3	ブシマキナ					
漢字・語彙4	河内					
漢字・語彙5	河内					
漢字・語彙6	高畠					
漢字・語彙7	藤田					
作文1	深川					
作文2	松田佳					
アカデミック・ライティングⅠ	松田佳					
中級聴解	松田真					
中上級聴解	小島					
上級聴解Ⅰ	笹原					
上級文法Ⅰ	峯					
日本事情入門Ⅰ	斉木					
日本語速読	太田					
中級読解	敷田					
留学生のための日本文学	三浦					
アカデミック基礎日本語	深澤					
アカデミック・ライティングⅠ	小島					
アカデミック・ライティングⅡ	山本					
口頭発表Ⅱ	松田真					
上級読解Ⅰ	深川					
講義の聴解	太田					
日本事情	峯					
ビジネス日本語Ⅲ	深川					
ビジネス・コミュニケーション	笹原					

クラス名	2017年度秋学期 授業担当者 (クラス責任者) (シラバス入力可能)					
日本語初級集中	仁谷	笹原	本田	伊藤	市村	多胡
日本語初中級集中	仁谷	奥山				
日本語AS1①	高畠	峯				
日本語AS1②	（敷田）	多胡				
日本語AS2	深川					
日本語A	星	河内	苗田			
日本語B	田中	寺下	星	鶴町		
日本語C	鶴町	市村	道端			
日本語D1	岡本	道端				
日本語D1（会話）	敷田					
日本語D2	苗田	敷田				
日本語D2（会話）	道端					
日本語E	深川	敷田	苗田			
医学部入門	峯	三浦				
医学部初級	三浦	太田				
漢字・語彙1	伊藤					
漢字・語彙2	田中					
漢字・語彙3	多胡					
漢字・語彙4	河内					
漢字・語彙5	河内					
漢字・語彙6	高畠					
漢字・語彙7	藤田					
作文1	深川					
作文2	苗田					
中上級聴解	小島					
上級聴解Ⅱ	笹原					
上級文法Ⅱ	峯					
日本事情入門Ⅱ	斉木					
日本語速読	太田					
留学生のための日本文学	三浦					
アカデミック基礎日本語	深川					
アカデミック・ライティングⅠ	小島					
アカデミック・ライティングⅡ	山本					
口頭発表Ⅰ	峯					
上級読解Ⅱ	小島					
講義の聴解	太田					
日本語で学ぶ論理	太田					
日本事情	峯					
ビジネス日本語Ⅰ(Q3)	太田					
ビジネス日本語Ⅱ(Q4)	小島					
ビジネス・コミュニケーション	笹原					

区分	クラス名	2018年度春学期 授業担当者 (クラス責任者(シラバス・成績入力)) (シラバス入力)					
総合/研修	日本語初級集中	松田	笹原	多胡	本田	伊藤	ブシマキナ
	日本語初中級集中	松田	仁谷	奥山	市村		
総合	日本語AS1	高畠	多胡				
	日本語AS2	深川	筒井				
	日本語A	星	ブシマキナ	多胡	苗田		
	日本語B①	（河内）	筒井	苗田	仁谷		
	日本語B②	寺下	田中	星	岡本		
	日本語C	仁谷	多胡	道端			
	日本語D1①	道端	敷田				
	日本語D1①（会話）	岡本					
	日本語D1②	（苗田）	道端				
医学部補講	日本語D1②（会話）	鶴町					
	日本語D2	苗田	敷田				
	日本語D2（会話）	道端					
漢字・語彙	日本語E	敷田	鶴町	苗田			
	入門（医学）	三浦	ブシマキナ				
	初級（医学）	峯	深澤				
	中級	TA（深澤）					
	漢字・語彙1	ブシマキナ					
	漢字・語彙2	田中					
	漢字・語彙3	ブシマキナ					
技能別	漢字・語彙4	河内					
	漢字・語彙5	河内					
	漢字・語彙6	高畠					
	漢字・語彙7	藤田					
	作文1	深川					
	作文2	仁谷					
	中級読解	敷田					
	中上級聴解	小島					
	上級聴解Ⅰ	笹原					
	上級文法Ⅰ	峯					
	日本事情入門Ⅰ	斉木					
技能別／日本語B	日本語速読	太田					
	留学生のための日本文学	三浦					
	アカデミック基礎日本語	深澤					
	アカデミック ライティング１	小島					
	アカデミック ライティング２	山本					
	口頭発表Ⅰ	峯					
ビジネス日本語	上級読解Ⅰ	深川					
	講義の聴解	太田					
技能別／共通教育	日本事情	峯					
	ビジネス日本語Ⅲ(Q1)	深川					
	ビジネス・コミュニケーション	笹原					

クラス名	2018年度秋学期 授業担当者 (クラス責任者(シラバス・成績入力)) (シラバス入力)			
日本語初級集中	松田	笹原	本田	星
日本語初中級集中	松田	仁谷	奥山	市村
日本語AS1①	高畠	多胡		
日本語AS1②	（峯）	仁谷		
日本語AS2	深川	筒井		
日本語A	苗田	河内	筒井	
日本語B	寺下	田中	ブシマキナ	筒井
日本語C	仁谷	苗田	道端	
日本語D1①	道端	鶴町	岡本	
日本語D1①（会話）	岡本			
日本語D1②	（道端）	岡本	鶴町	
日本語D1②（会話）	鶴町			
日本語D2	敷田	苗田		
日本語D2（会話）	道端			
日本語E	深川	敷田	苗田	
入門（医学）	三浦	ブシマキナ		
初級（医学）	峯	深澤		
中級（医学）	TA（深澤）			
漢字・語彙1	ブシマキナ			
漢字・語彙2	田中			
漢字・語彙3	ブシマキナ			
漢字・語彙4	河内			
漢字・語彙5	河内			
漢字・語彙6	高畠			
漢字・語彙7	藤田			
作文1	深川			
作文2	仁谷			
中級聴解	松田			
中上級聴解	小島			
上級聴解Ⅱ	笹原			
上級文法Ⅱ	峯			
日本事情入門Ⅱ	斉木			
日本語速読	太田			
留学生のための日本文学	三浦			
アカデミック基礎日本語A,B	深川			
アカデミック ライティング1A,B	小島			
アカデミック ライティング2A,B	山本			
口頭発表ⅡA,B	松田			
上級読解ⅡA,B	小島			
講義の聴解A,B	太田			
日本事情A,B	峯			
日本語で学ぶ論理A,B	太田			
ビジネス日本語Ⅰ(Q3)	太田			
ビジネス日本語Ⅱ(Q4)	小島			
ビジネス日本語Ⅳ(Q3)	深川			
ビジネス・コミュニケーション	笹原			

クラス名	2019年度春学期 授業担当者 (クラス責任者(シラバス・成績入力)) (シラバス入力)			
日本語初中級集中（総合）1,2	松田	笹原	奥山	
日本語初中級集中（読解作文）1,2	松田	奥山	本田	
日本語AS1	高畠	多胡		
日本語AS2	深川	筒井		
日本語A	星	河内	筒井	ブシマキナ
日本語B	寺下	田中	星	新井
日本語C	道端	苗田		
日本語C会話①	筒井			
日本語C会話②	鶴町			
日本語D1①	岡本	苗田		
日本語D1会話①	苗田			
日本語D1②	（苗田）	道端		
日本語D1会話②	敷田			
日本語D2	敷田	岡本		
日本語D2会話①	道端			
日本語D2会話②	道端			
日本語E	苗田	敷田	鶴町	
入門（医学）	筒井	ブシマキナ		
初級（医学）	峯	深澤		
中級（医学）	TA（深澤）			
漢字・語彙1	ブシマキナ			
漢字・語彙2	田中			
漢字・語彙3	ブシマキナ			
漢字・語彙4	河内			
漢字・語彙5	河内			
漢字・語彙6	新井			
漢字・語彙7	藤田			
作文1	深川			
作文2	新井			
中級聴解	松田			
中上級聴解	小島			
上級聴解Ⅰ	笹原			
上級文法Ⅰ	峯			
日本事情入門Ⅰ	斉木			
日本語速読	太田			
アカデミック基礎日本語A,B	深澤			
アカデミック ライティング1A,B	小島			
口頭発表ⅠA,B	峯			
上級読解ⅠA,B	深川			
講義の聴解A,B	太田			
日本事情A,B	峯			
ビジネス日本語Ⅲ(Q1)	深川			
ビジネス・コミュニケーション	笹原			

クラス名	2019年度秋学期 授業担当者 (クラス責任者(シラバス・成績入力)) (シラバス入力)			
日本語初級集中	松田	笹原	ブシマキナ	
日本語初中級集中	松田	奥山	本田	
日本語AS1①	多胡			
日本語AS1②	（多胡）	筒井		
日本語AS2	深川	筒井		
日本語A	星	河内	ブシマキナ	苗田
日本語B	寺下	田中	星	新井
日本語C①	（筒井）	苗田	多胡	
日本語C②	鶴町	筒井	多胡	
日本語D1①	岡本	苗田	敷田	
日本語D1②	（苗田）	岡本	多胡	
日本語D2	苗田	敷田	鶴町	
日本語E	敷田	鶴町	深川	
入門（医学）	筒井	ブシマキナ		
初級（医学）	峯	深澤		
中級（医学）	TA（深澤）			
漢字・語彙1	ブシマキナ			
漢字・語彙2	田中			
漢字・語彙3	ブシマキナ			
漢字・語彙4	河内			
漢字・語彙5	河内			
漢字・語彙6	新井			
漢字・語彙7	藤田			
作文1	深川			
作文2	新井			
中級聴解	松田			
中上級聴解	小島			
上級聴解Ⅱ	笹原			
上級文法Ⅱ	峯			
日本事情入門Ⅱ	斉木			
日本語速読	太田			
アカデミック基礎日本語A,B	深川			
アカデミック ライティング1A,B	小島			
口頭発表ⅡA,B	松田			
上級読解ⅡA,B	小島			
講義の聴解A,B	太田			
日本事情A,B	峯			
日本語で学ぶ論理A,B	太田			
ビジネス日本語Ⅰ(Q3)	太田			
ビジネス日本語Ⅱ(Q4)	小島			
ビジネス・コミュニケーションⅡ	笹原・深川			

クラス名	2020年度春学期 授業担当者 (クラス責任者(シラバス・成績入力)) (シラバス入力)			
日本語初中級集中（総合）1,2	松田	笹原	奥山	
日本語初中級集中（読解作文）1,2	松田	奥山	本田	
日本語AS1	高畠	多胡		
日本語AS2	深川	筒井		
日本語A	星	苗田	多胡	
日本語B	河内	苗田	筒井	山田
日本語C	鶴町	筒井	多胡	
日本語D1	岡本	多胡	苗田	
日本語D2	苗田	敷田	鶴町	
日本語E	敷田	鶴町	苗田	
入門（医学）	筒井	ブシマキナ		
初級（医学）	峯	筒井		
漢字・語彙1	ブシマキナ			
漢字・語彙2	田中			
漢字・語彙3	ブシマキナ			
漢字・語彙4	河内			
漢字・語彙5	河内			
漢字・語彙6	高畠			
漢字・語彙7	藤田			
作文1	深川			
作文2	星			
中級聴解	松田			
中上級聴解	小島			
上級聴解Ⅰ	笹原			
上級文法Ⅰ	峯			
日本事情入門Ⅰ	斉木			
日本語速読	太田			
中上級読解	敷田			
アカデミック基礎日本語A,B	深澤			
アカデミック ライティング①A,B	小島			
アカデミック ライティング②A,B	松田			
口頭発表ⅠA,B	峯			
上級読解ⅠA,B	深川			
講義の聴解A,B	太田			
日本事情A,B	峯			
ビジネス・コミュニケーションⅠ	笹原			

科目ナンバー	（英語）	2020fからのクラ（日本語）	授業担当者 (クラス責任者(シラバス・成績入力)) (シラバス入力)			
JPN001	Survival Japanese 1	日本語　基礎１	高畠	多胡		
JPN002	Survival Japanese 2	日本語　基礎２	深川	筒井		
JPN101	Elementary Japanese 1	日本語　初級１	星	苗田	多胡	
JPN201	Elementary Japanese 2	日本語　初級２	河内	苗田	筒井	山田
JPN301	Intermediate Japanese1	日本語　中級１	鶴町	筒井	多胡	
JPN401	Intermediate Japanese 2	日本語　中級２	岡本	多胡	苗田	
JPN501	Upper-intermediate Japanese	日本語　中上級	苗田	敷田	鶴町	
JPN601	Advanced Japanese	日本語　上級	敷田	鶴町	苗田	
JPN111	Japanese Kanji & Vocabulary 1	日本語 漢字・語彙１	田中			
JPN211	Japanese Kanji & Vocabulary 2	日本語 漢字・語彙２	田中			
JPN311	Japanese Kanji & Vocabulary 3	日本語 漢字・語彙３	筒井			
JPN411	Japanese Kanji & Vocabulary 4	日本語 漢字・語彙４	河内			
JPN511	Japanese Kanji & Vocabulary 5	日本語 漢字・語彙５	河内			
JPN611	Japanese Kanji & Vocabulary 6	日本語 漢字・語彙６	高畠			
JPN711	Japanese Kanji & Vocabulary 7	日本語 漢字・語彙７	藤田			
JPN261	Japanese Elementary Conversation	日本語 初級会話	笹原	奥山		
JPN351	Japanese Intermediate Listening	日本語 中級聴解	松田			
JPN551	Japanese Upper-Intermediate Listening	日本語 中上級聴解	小島			
JPN752	Japanese Advanced Listening 2	日本語 上級聴解Ⅱ	笹原			
JPN221	Japanese Elementary Reading	日本語 初級読解	本田			
JPN421	Japanese Rapid Reading	日本語 速読	太田			
JPN521	Japanese Upper-Intermediate Reading	日本語 中上級読解	敷田			
JPN241	Japanese Elementary Writing	日本語 初級作文	奥山			
JPN341	Japanese Intermediate Writing	日本語 中級作文	深川			
JPN541	Japanese Upper-Intermediate Writing	日本語 中上級作文	星			
JPN372	Japanese Japanese Affairs: Introductory 2	日本語 日本事情入門Ⅱ	斉木			
JPN792	Japanese Advanced Grammar 2	日本語 上級文法Ⅱ	峯			
JPN691A	Japanese Academic Japanese A	日本語 アカデミック基礎日本語A	深川			
JPN691B	Japanese Academic Japanese B	日本語 アカデミック基礎日本語B	深川			
JPN641A	Japanese Academic Writing(1) A	日本語 アカデミック・ライティング①A	小島			
JPN641B	Japanese Academic Writing(1) B	日本語 アカデミック・ライティング①B	小島			
JPN641A	Japanese Academic Writing(2) A	日本語 アカデミック・ライティング②A	松田			
JPN641B	Japanese Academic Writing(2) B	日本語 アカデミック・ライティング②B	松田			
JPN661A	Japanese Oral Presentation 1A	日本語 口頭発表ⅠA	峯			
JPN661B	Japanese Oral Presentation 1B	日本語 口頭発表ⅠB	峯			
JPN722A	Japanese Advanced Reading 2A	日本語 上級読解ⅡA	小島			
JPN722B	Japanese Advanced Reading 2B	日本語 上級読解ⅡB	小島			
JPN651A	Japanese Academic Listening A	日本語 講義の聴解A	太田			
JPN651B	Japanese Academic Listening B	日本語 講義の聴解B	太田			
JPN793A	Japanese Logical Thinking in Japanese A	日本語で学ぶ論理A	太田			
JPN793B	Japanese Logical Thinking in Japanese B	日本語で学ぶ論理B	太田			
JPN671A	Japanese Japanese Affairs A	日本語 日本事情A	峯			
JPN671B	Japanese Japanese Affairs B	日本語 日本事情B	峯			
JPN681	Japanese Business Japanese 1	日本語 ビジネス日本語Ⅰ	深川			
JPN682	Japanese Business Japanese 2	日本語 ビジネス日本語Ⅱ	小島			
JPN684	Japanese Business Communication 2	日本語 ビジネス・コミュニケーションⅡ	笹原			

※　斜字は専任教員
※　（　）はダブルクラスの副責任者を表す
※　ダブルクラスの①は第１クラス、②は第2クラス

資料３　日本文化・社会学習プログラム・時間割表

"Experience in Japanese Culture and Society" Spring 2015
「日本文化・社会体験プログラム」 春学期 2015

ES1～ES4: 学生の授業登録に制限はない。
ES5～ES9: 学生は5コースの中から一つだけ選択できる。

ES1～ES4: No restriction as to students' course registration.
ES5～ES9: Students are able to select one course out of the five courses.

	授業登録に制限なし No restriction to the class registration				1コースだけ選択 Select ONE course				
コースの番号 Course Number	ES-1	ES-2	ES-3	ES-4	ES-5	ES-6	ES-7	ES-8	ES-9
授業の名前 Course Title (Japanese)	武道・杖道 I	武道・空手道 I	武道・杖道 II	武道・空手道 II	日本の家庭	現代アートとデザイン	日本の伝統芸能	伝統工芸と職人の技	日本の社会と伝統文化 II
授業の英文名 Course Title	Budō-Jōdō I	Budō-Karatedō I	Budō-Jōdō II	Budō-Karatedō II	Family in Japan	Contemporary Art and Design	Japanese Art Performance and Music	Traditional Arts & Crafts and their Techniques	Japanese Society and Traditional Culture II
教員(主担任) Instructor(s)/Coordinator(s)	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	斉木 麻利子 SAIKI Mariko	松田 真希子 MATSUDA Makiko	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi
時間割 Timetable	金曜 16:30-18:00	火曜 16:30-18:00	金曜 14:45-16:15	火曜 16:30-18:00	月曜 13:00-16:15	金曜 13:00-16:15	水曜 13:00-16:15	木曜 13:00-(*18:00)	金曜 13:00-16:15
	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数 Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	16	20	16	10	10	14	20	25	20
オリエンテーションと履修登録の日程と場所 Orientation and Registration Date and Place	4/10(金 Fri.) 16:30	4/14(火 Tue.) 16:30	4/10(金 Fri.) 14:45	4/14(火 Tue.) 16:30	4/13(月 Mon.) 13:00	4/10(金 Fri.) 13:00	4/15(水 Wed.) 13:00	4/16(木 Thu.) 13:00	4/10(金 Fri.) 13:00
	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	(1回目のみ)地域連携推進センター2階 (4/10 Orientation only)2F, Center for Regional Collaboration (2回目以降)総合教育講義棟2階A4講義室 (Classroom except 4/10) Rm. #A4, 2F General Education Lecture Hall	総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)	なし N/A	なし N/A	杖道 I (EF-1) Budō-Jōdō I (EF-1)	空手道 I (EF-2) Budō-Karatedō I (EF-2)	なし N/A	日本語レベル D ～ Japanese level D ～	日本語レベル C ～ Japanese level C ～	なし N/A	日本語レベル D ～ Japanese level D ～
内容 Contents	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	空手道 Karatedō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	空手道	家族形態と機能について Form and Functions of Family	現代アート Modern Art	能 Noh	山中漆器の制作(形成, 塗り, 装飾) Yamanaka Lacquerware (carving, painting, decorating)	民謡 Minyō (Japanese old folk song)
	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	家庭料理 Home cooking (practice)	建築 Architecture	狂言 Kyōgen		俳句 Haiku (Japanese Poem)
			技 Additional Techniques	技 Additional Techniques	自主研究 Individual research	現代工芸1 Modern Craft 1	太鼓 Taiko		和菓子 Wagashi (Japanese confectionery)
						現代工芸2 Modern Craft 2	篠笛 Shinobue	日本和紙・紙漉き Washi (Japanese paper)	水墨画 Suibokuga (Chinese painting)
						ポップカルチャー1 Pop Culture 1		美術館 Museum	大社焼 Taisya Pottery
						ポップカルチャー2 Pop Culture 2			能楽 Noh (Classical Japanese Performance)
									地引網体験 Experience of the Seine Fishing

「日本文化・社会学習プログラム」 秋学期 2015

Program for the Study of Japanese Culture and Society – Autumn 2015-2016

PA-1～PA-4：学生は4コースの中から一つだけ選択できる。 Students are able to select one course out of the four courses.
PA-5～PA-12：授業登録数に制限はない。 No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

10月14日(水) 17:00までに履修登録書を留学生センターに提出してください。
Please submit the Application form to the International Student Center by 14 October (Wed.)

	1コースだけ選択 Select ONE course			
コースの番号 Course Number	PA-1-E	PA-2-E	PA-3-E	PA-4-E
Course Title	Japanese Culture through the Way of Tea	Ōhi Pottery: Clay and Fire	Japanese Society and Traditional Culture I	Education in Japan
コースタイトル	茶道を通して学ぶ日本文化	大樋焼:土と炎	日本の社会と伝統文化Ⅰ	日本の教育
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko
時間割 Timetable	火曜日 Tuesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-(18:00+)	金曜日 Friday 13:00-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (no Japanese students)	20	25	18	10
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10月6日(火) 13:00～ 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10月1日(木) 13:00～ 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10月2日(金) 13:00～ 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10月7日(水) 13:00～ 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)			日本語レベル D～ Japanese level D or upper	
内容 Contents	茶道 Tea Ceremony	茶道 Tea Ceremony	輪島塗・蒔絵体験 Wajimanuri	幼児教育 Preschool Education
	茶室と露地 Tea rooms and Gardens	大樋焼(作陶, 釉薬, 窯焼き) Ōhi Pottery (forming, carving, glazing, firing)	県立歴史博物館 History Museum	学校教育 School Education
	生け花 Flower Arrangement		茶道 Tea Ceremony	特別支援教育 Special Education
	茶器と茶道具 Tea bowl and implements		加賀友禅体験、及び友禅工房見学 Kaga Cuisine	学校訪問 School visit
	書 Calligraphy		兼六園・金沢城見学 KENROKU garden	自主研究 Individual Research
	和菓子 Confections		金箔工芸体験 Gold Leaf	

	授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration										
コースの番号 Course Number	PA-5-E	PA-6-E	PA-7-E	PA-8-E	PA-9-E	PA-10-L	PA-11-E	PA-12-L	PA-13-E	PA-14-L	PA-15-L
Course Title	Budō - Karatedō I	Budō - Shōrinji-Kenpō	Budō - Jōdō I	Japanese Religions	Zen and Japanese Culture	Japanese Calendar and Time Culture	Natural and Cultural Diversity of Ishikawa and International Initiatives	Communication Business	Nurse Care to Elderly People in Japan	Gender and Society	Japanese Language and Society
コースタイトル	武道・空手道Ⅰ	武道・少林寺拳法	武道・杖道Ⅰ	日本の宗教	禅と日本文化	日本の暦と時間	石川県の自然と文化多様性と国際的なイニチアチブ	コミュニケーションビジネス	日本における介護福祉の現状	ジェンダーと社会	日本語と社会
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	井東 廉介 ITO Rensuke	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	岡本 直子／籔野 秀憲 OKAMOTO Naoko / YABUNO Hidenori	志村 恵 SHIMURA Megumi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 庄一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	鈴木 心／松田 真希子 SUZUKI Shin/MATSUDA Makiko	小島 庄一 KOJIMA Soichi	伊藤 大将 ITO Daisuke	伊藤 大将 ITO Daisuke
時間割 Timetable	火曜日 Tuesday 16:30—18:00	月曜日 Monday 13:00—14:30	金曜日 Friday 16:30—18:00	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 13:00—14:30	火曜日 Tuesday 14:45—16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	木曜日 Thursday 13:00-16:15	月曜日 Monday 13:00—16:15	水曜日 Wednesday 14:45-16:15	金曜日 Friday 13:00-14:30
	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (no Japanese students)	20	20	16	24	20	20	25	100	20	30	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10月6日(火) 16:30～ 体育館2階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium	10月5日(月) 13:00～ 体育館2階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium	10月2日(金) 16:30～ 体育館2階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium	10月8日(水) 13:00～ 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm.#A2, 2F General Education Lecture Hall	10月6日(火) 13:00～ (1回目 のみ)総合教育講義棟3階B2講義室 Rm.#B2, 3F General Education Lecture Hall 角間の里(オリエンテーションは別会場)	10月6日(火) 14:45～ 総合教育講義棟3階B9講義室 Rm.#B9, 3F General Education Lecture Hall	10月1日(木) 13:00～ 総合教育講義棟4階C1講義室 Rm.#B4, 3F General Education Lecture Hall	10月1日(木) 13:00～ 総合教育講義棟4階C1講義室 Rm.#C1, 4F General Education Lecture Hall	10月5日(月) 13:00～ 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm.#A3, 2F General Education Lecture Hall	10月8日(水) 14:45～ 総合教育講義棟5階D4講義室 Rm.#D4, 5F General Education Lecture Hall	10月2日(金) 13:00～ 総合教育講義棟5階D4講義室 Rm.#D4, 5F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)	Students who select PA-5-E are not able to select PA-6-E and vice versa.			日本語レベル N2以上		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper			日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		
内容 Contents	空手道 Karatedō	少林寺拳法 Shōrinji-Kenpō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)		坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	能登の世界農業遺産の調査 Trips to Globally Important Agricultural Heritage Sites of Noto		日本の介護の歴史 History of Nurse Care in Japan	性別とジェンダー Sex and Gender	内と外 In-group / out-group
	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory			日本の時間文化 Time Culture in Japan	白山のユネスコエコパーク調査 Trips to UNESCO EcoParks of Hakusan		高齢化社会問題 Aging Society Problems	男性らしさと女性らしさ Masculinities and Femninities	日本の学校での社会化 Socialization at School
							加賀地域の調査 Trips to Kaga regions		介護体験 Training Experiences about Nurse Care	インターセクショナリティ Intersectionality	日本の家族 Family
							金沢市の自然と文化多様性 Natural and Cultural diversity of Kanazawa City			ジェンダー別社会化 Gendered Socialization	日本で仕事をするということ Work
							有機農業体験 Experience Organic farming			家族と仕事 Gender in Family and Workplace	ポピュラーカルチャー Pop Culture
							UNU-IAS OUIKでの講義 Lectures at UNU-IAS OUIK			メディアとジェンダー Gender in the Media	日本的な認知 Cognition
										社会運動 Social Movement/Change	グローバルな文化(アニメ) Global Culture (Anime)

「日本文化・社会学習プログラム」 春学期 2016　　Program for the Studies of Japanese Culture and Society – Spring 2016

1コースだけ選択　Select ONE course

コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E	PS-5-E
Course Title	Japanese Art Performance and Music	Traditional Arts & Crafts and their Techniques	Contemporary Art and Design	Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ	Family in Japan
コースタイトル	日本の伝統芸能	伝統工芸と職人の技	現代アートとデザイン	日本の社会と伝統文化Ⅱ	日本の家庭
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	松田 真希子 MATSUDA Makiko	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko
時間割 Timetable	水曜 13:00-16:15	木曜 13:00-(*18:00)	金曜 13:00-16:15	金曜 13:00-16:15	月曜 13:00-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (no Japanese students)	20	25	14	20	10
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/13(水 Wed.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/14(木 Thu.) 13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	4/15(金 Fri.) 13:00 総合教育講義棟2階A4講義室 Rm. #A4, 2F General Education Lecture Hall	4/15(金 Fri.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/11(月 Mon.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)	日本語レベル C～ Japanese level C～	なし N/A	日本語レベル D～ Japanese level D～	日本語レベル D～ Japanese level D～	なし N/A
内容 Contents	能 Noh	山中漆器の制作 (形成, 塗り, 装飾) Yamanaka Lacquerware (carving, painting, decorating)	現代アート Modern Art	民謡 Minyō (Japanese old folk song)	家族形態と機能について Form and Functions of Family
	狂言 Kyōgen		建築 Architecture	俳句 Haiku (Japanese Poem)	家庭料理 Home cooking (practice)
	太鼓 Taiko	日本和紙・紙漉き Washi (Japanese paper)	現代工芸1 Modern Craft 1	和菓子 Wagashi (Japanese confectionery)	自主研究 Individual research
	篠笛 Shinobue	美術館 Museum	現代工芸2 Modern Craft 2	水墨画 Suibokuga (Chinese painting)	
			ポップカルチャー1 Pop Culture 1	大社焼 Taisya Pottery	
			ポップカルチャー2 Pop Culture 2	能楽 Noh (Classical Japanese Performance)	
				地引網体験 Experience of the Seine Fishing	

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

PS-1～PS-5: 学生は5コースの中から一つだけ選択できる。
Students are able to select one course out of the five courses.

PS-6～PS-15: 授業登録数に制限はない。
No restriction as to the number of course registration.

4月18日（月） 17:00までに履修登録書を留学生センターに提出してください。

Please submit the Application form to the International Student Center by April 18 (Mon.)

授業登録数に制限なし　No restriction to the number of class registration

コースの番号 Course Number	PS-6-E	PS-7-E	PS-8-E	PS-9-E	PS-10-E	PS-11-E	PS-12-L	PS-13-E	PS-14-E	PS-15-L	PS-16-L
Course Title	Budō – Karatedō Ⅰ	Budō-Karatedō Ⅱ	Budō – Shōrinji-Kenpō	Budō-Jōdō Ⅰ	Budō-Jōdō Ⅱ	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History	Bio-cultural diversity of Kanazawa and International Initiatives	The "Omotenashi" Spirit in The Service Industry of Japan	Sociology of Food and Eating	Japanese Language and Society
コースタイトル	武道・空手道Ⅰ	武道・空手道Ⅱ	武道・少林寺拳法	武道・杖道Ⅰ	武道・杖道Ⅱ	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間	金沢の生物多様性と国際イニシアチブ	サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心	食の社会学	日本語と社会
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 庄一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 庄一 KOJIMA Soichi	伊藤 大将 ITŌ Daisuke	伊藤 大将 ITŌ Daisuke
時間割 Timetable	火曜 16:30-18:00	火曜 16:30-18:00	月曜日 Monday 13:00－14:30	金曜 16:30-18:00	金曜 14:45-16:15	火曜日 Tuesday 13:00－14:30	火曜日 Tuesday 14:45－16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	月曜日 Monday 13:00－16:15	火曜日 Tuesday 13:00－14:30	水曜日 Wednesday 13:00－14:30
	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (no Japanese students)	20	10	20	16	16	20	20	25	20	15	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/12(火 Tue.) 16:30	4/12(火 Tue.) 16:30	4/11(月 Mon.) 13:00	4/15(金 Fri.) 16:30	4/15(金 Fri.) 14:45	4/12(火 Tue.) 13:00	4/12(火 Tue.) 14:45	4/14(木 Thu.) 13:00	4/11(月 Mon.) 13:00	4/12(火 Tue.) 13:00	4/13(水 Wed.) 13:00
	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	(1回目のみ)総合教育講義棟3階B2講義室 Rm.#B2, 3F General Education Lecture Hall (2回目以降)角間の里 Kakumano-sato	総合教育講義棟3階B9講義室 Rm.#B9, 3F General Education Lecture Hall	総合教育講義棟3階B4講義室 Rm.#B4, 3F General Education Lecture Hall	総合教育講義棟2階A3講義室 Rm.#A3, 2F General Education Lecture Hall		
履修条件 Prerequisite(s)	Students who select PS-6-E are not able to select PS-8-E or PS-9-E, and vice versa.	空手道Ⅰ(PA-5-E) Budō-Karatedō Ⅰ(PA-5-E)	Students who select PS-8-E are not able to select PS-6-E or PS-9-E, and vice versa.	Students who select PS-9-E are not able to select PS-6-E or PS-8-E, and vice versa.	杖道Ⅰ(PA-7-E) Budō-Jōdō Ⅰ(PA-7-E)		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		
内容 Contents	空手道 Karatedō	空手道	少林寺拳法 Shōrinji-Kenpō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	金沢の海、川、山の紹介 Field Trips to the Mountain, Sea and River ares of Kanazawa City	日本の介護とサービス業 Nurse Care and Service Industry in Japan	食文化 Food Culture	内と外 In-group / out-group
	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory		日本の時間文化 Time Culture in Japan	金沢市の自然と文化多様性 Natural and Cultural diversity of Kanazawa City	日本のおもてなし文化 The Omotenashi culture in Japan	食と美 Food and Aesthetics	日本の学校での社会化 Socialization at School
		技 Additional Techniques			技 Additional Techniques			有機農業体験 Experience Organic farming	介護体験 Training Experiences about Nurse Care	食産業 Food Industry	日本の家族 Family
								UNU-IAS OUIKでの講義 Lectures at UNU-IAS OUIK	サービス業体験 Training Experiences about Service Industry	食と健康 Food and Health	日本で仕事をするということ Work
										グローバリゼーション Globalization of Food	ポピュラーカルチャー Pop Culture
										日本の給食 School Lunch	日本的な認知 Cognition
										料理 Cooking	グローバルな文化(アニメ) Global Culture (Anime)

「日本文化・社会学習プログラム」 秋学期 2016　　Program for the Study of Japanese Culture and Society – Autumn 2016

	1コースだけ選択　Select ONE course			
コースの番号 Course Number	PA-1-E	PA-2-E	PA-3-E	PA-4-E
Course Title	Japanese Culture through the Way of Tea	Ōhi Pottery: Clay and Fire	Japanese Society and Traditional Culture I	Education in Japan
コースタイトル	茶道を通して学ぶ日本文化	大樋焼:土と炎	日本の社会と伝統文化 I	日本の教育
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン　ハイコ BITTMANN Heiko	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko
時間割 Timetable	火曜日 Tuesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	金曜日 Friday 13:00-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (No Japanese students)	20	25	18	10
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10月4日(火)　13:00～ 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10月6日(木)　13:00～ 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10月7日(金)　13:00～ 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10月5日(水)　13:00～ 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)			日本語レベル D～ Japanese level D or upper	
内容 Contents	茶道 Tea Ceremony	茶道 Tea Ceremony	輪島塗・蒔絵体験 Wajimanuri	幼児教育 Preschool Education
	茶室と露地 Tea rooms and Gardens	大樋焼(作陶、釉薬、窯焼き) Ohi Pottery (forming, carving, glazing, firing)	県立歴史博物館 History Museum	学校教育 School Education
	茶器と茶道具 Tea bowl and tea implements		茶道 Tea Ceremony	特別支援教育 Special Education
	和菓子 Confections		加賀友禅体験、及び友禅工房見学 Kaga Cuisine	学校訪問 School visit
	書 Calligraphy		兼六園・金沢城見学 KENROKU garden	自主研究 Individual Research
	生け花 Flower Arrangement		金箔工芸体験 Gold Leaf	

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

PA-1～PA-4: 学生は4コースの中から一つだけ選択できる。
Students are able to select one course out of the four courses.
PA-5～PA-16: 授業登録数に制限はない。
No restriction as to the number of course registration.

10月12日(水)　17:00までに履修登録書を留学生センターに提出してください。

Please submit the Application form to the International Student Center by 12, October (Wed.)

	授業登録数に制限なし　No restriction to the number of class registration												
コースの番号 Course Number	PA-5-E	PA-6-E	PA-7-E	PA-8-E	PA-9-L	PA-10-E	PA-11-E	PA-12-L	PA-13-L	PA-14-L	PA-15-L	PA-16-L	PA-17-L
Course Title	Budō – Karatedō I	Budō – Shōrinji-Kenpō	Budō – Jōdō I	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History	Sustainable Development of Kanazawa City	Regional Studies of Hakusan	Communication Business	Nursing Care to Elderly People in Japan	Japanese Language and Society	Sociology: Basics	Social Problems in Japan	Survey and Training Seminar
コースタイトル	武道・空手道 I	武道・少林寺拳法	武道・杖道 I	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間	金沢と持続可能な開発	白山地域学習	コミュニケーションビジネス	日本における介護福祉の現状	日本語と社会	社会学の基礎	日本の社会問題	日本社会文化調査実習
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	ビットマン　ハイコ BITTMANN Heiko	ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida	ビットマン　ハイコ BITTMANN Heiko	ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida	小島　庄一 KOJIMA Soichi	ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida	ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida	鈴木　心／松田　真希子 SUZUKI Shin/MATSUDA Makiko	小島　庄一 KOJIMA Soichi	伊藤　大将 ITŌ Daisuke	伊藤　大将 ITŌ Daisuke	伊藤　大将 ITŌ Daisuke	峯　正志 MINE Masashi
時間割 Timetable	火曜日 Tuesday 16:30－18:00	月曜日 Monday 13:00－14:30	金曜日 Friday 16:30－18:00	月曜日 Monday 13:00－16:15	火曜日 Tuesday 14:45－16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	火曜日 Tuesday 13:00-18:00	月曜日 Monday 13:00－16:15	月曜日 Monday 13:00－16:15	金曜日 Friday 13:00－14:30	月曜日 Monday 14:45－16:15	月曜日 Monday 14:45－16:15	火曜日 Tuesday 14:45-16:15
	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (No Japanese students)	20	16	16	20	20	20	20	100	20	20	30	30	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10月4日(火)　16:30～ 体育館2階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium	10月3日(月)　13:00～ 体育館2階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium	10月7日(金)　16:30～ 体育館2階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium	10月3日(月)　13:40～ (1回目のみ)総合教育講義棟4階C15講義室　Rm.#C15, 4F General Education Lecture Hall (2回目以降)角間ゲストハウス Kakuma Guest House	10月4日(火) 14:45～ 総合教育講義棟3階B9講義室 Rm.#B9, 3F General Education Lecture Hall	10月6日(木)　13:00～ 総合教育講義棟3階B5講義室 Rm.#B5, 3F General Education Lecture Hall	10月4日(火)　13:00～ 総合教育講義棟4階C6講義室 Rm.#C6, 4F General Education Lecture Hall	10月3日(月)　13:00～ 地域連携推進センター Center for Regional Collaboration	10月3日(月)　13:00～ 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm.#A3, 2F General Education Lecture Hall	10月7日(金)　13:00～ 総合教育講義棟5階D3講義室 Rm.#D3, 5F General Education Lecture Hall	10月3日(月)　14:45～ 総合教育講義棟2階A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	12月5日(月)　14:45～ 総合教育講義棟2階A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	10月4日(火)　14:45～ 総合教育講義棟3階B7講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)	Students who select PA-5-E are not able to select PA-6-E and vice versa.				日本語レベルD～ Japanese Level D or upper			日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper				日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	空手道 Karatedō	少林寺拳法 Shōrinji-Kenpō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	現地学習 Fieldworks	集落学習 Community Learning	写真 photograph	日本の介護の歴史 History of Nurse Care in Japan	内と外 In-group / out-group	社会学的想像力 The Sociological Imagination	階層 Wealth and Poverty	日本の社会 Japanese Society
	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory		日本の時間文化 Time Culture in Japan	水管理 Water Management	里山学習 Satoyama Fieldworks	工芸 craft	高齢化社会問題 Aging Society Problems	日本の学校での社会化 Socialization at School	社会学理論 Sociological Theory	ジェンダーとセクシュアリティ Gender and Sexuality	日本の文化 Japanese Culture
						ゴミと発電所 Waste and Renewable Energy		アート art	介護体験 Training Experiences about Nurse Care	日本の家族 Family	社会構築主義 Social Construction	過疎 Depopulation	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire
								デザイン design		日本で仕事をするということ Work	社会学的な研究方法 Methods	教育 Education	自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic
								音楽 music		ポピュラーカルチャー Pop Culture	印象 Impressions	飲酒とドラッグ Alcohol and Drugs	調査結果の発表 Presentation of the Research
								ファッション fasion		日本的な認知 Cognition		解決策 Solutions	
								ゲーム game		グローバルな文化(アニメ) Global Culture (Anime)			

「日本文化・社会学習プログラム」 春学期 2017　　Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Spring 2017

PS-1-E～PS-5-E: 学生は5コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to select one course out of the five courses.
PS-6-E～PS-20-L: 授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

4月21日（金） 17:00までに履修登録書を留学生センターに提出してください。Please submit the Application form to the International Student Center by 17:00, April 21 (Fri.)

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ選択できる You can select ONE course.					授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration				
コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E	PS-5-E	PS-6-E	PS-7-E	PS-8-E	PS-9-E	PS-10-E
Course Title	Japanese Traditional Performing Arts and Music	Traditional Arts & Crafts and their Techniques	Contemporary Art and Design	Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ	Family in Japan	Budō – Karatedō Ⅰ	Budō – Shōrinji-Kenpō	Budō–Jōdō Ⅰ	Budō–Karatedō Ⅱ	Budō–Jōdō Ⅱ
コースタイトル	日本の伝統芸能	伝統工芸と職人の技	現代アートとデザイン	日本の社会と伝統文化Ⅱ	日本の家庭	武道・空手道Ⅰ	武道・少林寺拳法	武道・杖道Ⅰ	武道・空手道Ⅱ	武道・杖道Ⅱ
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	松田 真希子, 塚 敦朗 MATSUDA Makiko, TSUTSUMI Atsuro	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	芳木 麻利子 SAIKI Mariko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko
時間割 Timetable	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-(*18:00)	月曜日 Monday 13:00-16:15	金曜日 Friday 13:00-16:15	月曜日 Monday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	月曜日 Monday 13:00－14:30	金曜日 Friday 16:30-18:00	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	金曜日 Friday 14:45-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment	20	25	16	18	11	20	20	16	10	16
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/12（水 Wed.） 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/13（木 Thu.） 13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	4/10（月 Mon.） 13:00 地域連携推進センター2階 2F, Center for Regional Collaboration	4/14（金 Fri.） 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/10（月 Mon.） 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/11（火 Tue.） 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/10（月 Mon.） 13:00 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/14（金 Fri.） 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/11（火 Tue.） 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/14（金 Fri.） 14:45 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place
履修条件 Prerequisite(s)	日本語レベル C以上が望ましい Japanese level C or upper is desirable	なし N/A	日本語レベル D～ Japanese level D～	日本語レベル D～ Japanese level D～	なし N/A	Students who select PS-6-E are not able to select PS-7-E and vice versa.	Students who select PS-7-E are not able to select PS-6-E and vice versa.		空手道Ⅰ(PA-6-E) Budō-Karatedō Ⅰ(PA-6-E)	杖道Ⅰ(PA-8-E) Budō-Jōdō Ⅰ(PA-8-E)
内容 Contents	能 Noh	山中漆器の制作 (形成、塗り、装飾) Yamanaka Lacquerware (carving, painting, decorating)	メディアアート media art	民謡 Minyō (Japanese old folk song)	家族形態と機能について Form and Functions of Family	空手道 Karatedō	少林寺拳法 Shōrinji-Kenpō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	空手道	杖道 Jōdō (Way of the Stick)
	狂言 Kyōgen	写真 Photograph	俳句 Haiku (Japanese Poem)	家庭料理 Home cooking (practice)		実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory
	太鼓 Taiko	日本和紙・紙漉き Washi (Japanese paper)	現代工芸1 Modern Craft 1	和菓子 Wagashi (Japanese confectionery)	自主研究 Individual research				技 Additional Techniques	技 Additional Techniques
	篠笛 Shinobue	美術館 Museum	現代工芸2 Modern Craft 2	水墨画 Suibokuga (Chinese painting)						
	"三味線" Shamisen"			大社焼 Taisya Pottery						
				能楽 Noh(Classical Japanese Performance)						

	授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration									
コースの番号 Course Number	PS-11-E	PS-12-E	PS-13-L	PS-14-E	PS-15-E	PS-16-E	PS-17-L	PS-18-L	PS-19-L	PS-20-L
Course Title	Zen and Japanese Culture	Architecture and the city in Japan: from the past to the future	Calendar and Time in the Japanese History	Sustainability and Well-being	Regional Studies of Hakusan	The "Omotenashi" Spirit in The Service Industry of Japan	Sociology of Food and Eating	Intercultural Debates: On Controversial Social Issues	Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society	Special Lecture on Japanese Culture: Japan in the Age of Monsters
コースタイトル	禅と日本文化	日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから	日本の歴史からみた暦と時間	持続可能性と福祉	白山地域学習	サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心	食の社会学	異文化間ディベート：社会問題	日本社会文化調査実習	日本文化特殊講義：妖怪再生
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	松田 真希子 MATSUDA Makiko	小島 荘一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 荘一 KOJIMA Soichi	伊藤 大将 ITO Daisuke	伊藤 大将 ITO Daisuke	峯 正志 MINE Masashi	チャールズ イノウエ/芳木 麻利子 INOUYE Charles/ SAIKI Mariko
時間割 Timetable	月曜日 Monday 13:00－16:15	水曜日 Wednesday 13:00－16:15	火曜日 Tuesday 14:45－16:15	火曜日 Tuesday 13:00－18:00	木曜日 Thursday 13:00－18:00	月曜日 Monday 13:00－16:15	金曜日 Friday 13:00－14:30	木曜日 Thursday 14:45-16:15	火曜日 Tuesday 14:45-16:15	7月の3日間： 13:00-18:00 on 7/12 (Wed.) 13:00-18:00 on 7/13 (Thu.) 13:00-18:15 on 7/14 (Fri.)
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	集中 Intensive
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment	20	100	20	10	20	14	15	25	30	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/10（月 Mon.） 13:00 (1st session)総合教育講義棟 2階 A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	4/12（水 Wed.） 13:00 地域連携推進センター2階 2F, Center for Regional Collaboration	4/11（火 Tue.） 14:45 総合教育講義棟 2階 A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	4/11（火 Tue.） 13:00 総合教育講義棟 3階 B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall	4/13（木 Thu.） 13:00 総合教育講義棟 3階 B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall	4/10（月 Mon.） 13:00 総合教育講義棟4階C9講義室 Rm.#C9, 3F General Education Lecture Hall	4/14（金 Fri.） 13:00 総合教育講義棟4階C4講義室 Rm.#C4, 3F General Education Lecture Hall	4/13（木 Thu.） 14:45 総合教育講義棟5階D2講義室 Rm.#D2, 5F General Education Lecture Hall	4/11（火 Tue.） 14:45 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	未定 TBA
履修条件 Prerequisite(s)		日本語能力N3以上 JLPT N3 or more	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper			日本語レベルD～ Japanese Level D or upper			日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	
内容 Contents	坐禅と理論 Zazen and Theory	建築 Architecture	暦の歴史 History of Calendar	国連の持続可能な開発目標に関して学ぶ Learn about Sustainable Development Goal of United Nations (SDGs)	白山白峰村を訪問 Visit Shiramine Village in Hakusan	日本の介護とサービス業 Nurse Care and Service Industry in Japan	食文化 Food Culture	教育 Education (tiger parents / incentives for good grades)	日本の社会 Japanese Society	TBA
	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Dajōji Temple	まちづくり city design	日本の時間文化 Time Culture in Japan	エネルギー、水管理センター訪問 Visit Energy, Water Management Centers of Kanazawa City	伝統文化体験 Experience Traditional Culture	日本のおもてなし文化 The Omotenashi culture in Japan	食と美 Food and Aesthetics	犯罪 Crime (death penalty / punishing juvenile)	日本の文化 Japanese Culture	
		リノベーション renovation		国連大学IAS-OUKとのワークショップ Workshop at United Nations University IAS OUIK	地域の方々とコミュニケーション Communicate with local people	介護体験 Training Experiences about Nurse Care	食産業 Food Industry	倫理 Ethics (selling organs / assisted suicide)	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire	
		都市計画 urban planning				サービス業体験 Training Experiences about Service Industry	食と健康 Food and Health	Gender and Sexuality (abortion / gender-neutral restrooms)	自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic	
		金沢市の歴史 history of Kanazawa City					グローバリゼーション Globalization of Food	差別意識 Inequality (Japanese people's discrimination)	調査結果の発表 Presentation of the Research	
		金沢市 Kanazawa City					日本の給食 School Lunch	ドラッグ Drugs (legalizing drug use / smoking in public)		
							料理 Cooking	New Technology (social media / cyber cheating)		

「日本文化・社会学習プログラム」 秋学期 2017　　Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Autumn 2017

PS-1-E～PS-4-E：学生は5コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to select one course out of the five courses.
PS-5-E～PS-16-L：授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ選択できる You can select ONE course.				授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration			
コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E	PS-5-E	PS-6-E	PS-7-E	PS-8-E
Course Title	Japanese Culture through the Way of Tea	Ōhi Pottery: Clay and Fire	Japanese Society and Traditional Culture I	Education in Japan	Budō – Karatedō I	Budō – Shōrinji-Kenpō	Budō-Jōdō I	Communication Business
コースタイトル	茶道を通して学ぶ日本文化	大樋焼：土と炎	日本の社会と伝統文化 I	日本の教育	武道・空手道 I	武道・少林寺拳法	武道・杖道 I	コミュニケーションビジネス
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	鈴木 心／堤 敦朗 SUZUKI Shin/TSUTSUMI Atsuro
時間割 Timetable	火曜日 Tuesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	金曜日 Friday 13:00-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	月曜日 Monday 13:00－14:30	金曜日 Friday 16:30-18:00	月曜日 Monday 14:45-18:00
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	20	25	18	10	20	20	16	100
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10/3(火 Tue.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/5(木 Thu.) 13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/6(金 Fri.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/4(水 Wed.) 13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/3(火 Tue.) 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/2(月 Mon.) 13:00 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/6(金 Fri.) 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/2(月 Mon.) 14:45 自然科学本館1F レクチャーホール #Lecture Hall, 1F Natural Science and Technology Main Hall
履修条件 Prerequisite(s)			日本語レベル D～ Japanese level D or upper		Students who select PS-5-E are not able to select PS-6-E and vice versa.	Students who select PS-6-E are not able to select PS-5-E and vice versa.		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	茶道 Tea Ceremony	茶道 Tea Ceremony	輪島塗・蒔絵体験 Wajimanuri	幼児教育 Preschool Education	空手道 Karatedō	少林寺拳法 Shōrinji-Kenpō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	写真 photograph
	茶室と露地 Tea rooms and Gardens	大樋焼（作陶，釉薬，窯焼き） Ohi Pottery (forming, carving, glazing, firing)	県立歴史博物館 History Museum	学校教育 School Education	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	工芸 craft
	茶碗と茶道具 Tea bowl and tea implements		茶道 Tea Ceremony	特別支援教育 Special Education				アート art
	和菓子 Confections		加賀友禅体験、及び友禅工房見学 Kaga Cuisine	学校訪問 School visit				デザイン design
	書 Calligraphy		兼六園・金沢城見学 KENROKU garden	自主研究 Individual Research				音楽 music
	生け花 Flower Arrangement		金箔工芸体験 Gold Leaf					ファッション fasion
								ゲーム game

	授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration							
コースの番号 Course Number	PS-9-E	PS-10-E	PS-11-L	PS-12-E	PS-13-E	PS-14-L	PS-15-L	PS-16-L
Course Title	Nursing Care to Elderly People in Japan	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History	Sustainability and Well-being	Bio-cultural Diversity of Ishikawa	Gender and Society: A Practicum	Japanese Language and Society	Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society
コースタイトル	日本の介護福祉におけるコミュニケーション	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間	持続可能性と福祉	石川の生物文化多様性	ジェンダーと社会：実践編	日本語と社会	日本社会文化調査実習
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	小島 莊一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 莊一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	伊藤 大将 ITŌ Daisuke	伊藤 大将 ITŌ Daisuke	峯 正志 MINE Masashi
時間割 Timetable	月曜日 Monday 13:00－16:15	月曜日 Monday 13:00－16:15	火曜日 Tuesday 14:45－16:15	火曜日 Tuesday 13:00－18:00	木曜日 Thursday 13:00－18:00	水曜日 Wednesday 14:45-16:15	金曜日 Friday 13:00-14:30	火曜日 Tuesday 14:45-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	20	20	20	10	20	10	20	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10/2(月 Mon.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/2(月 Mon.) 13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/3(火 Tue.) 14:45 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/3(火 Tue.) 13:00 総合教育講義棟 3階 B9講義室 Rm. #B9, 3F General Education Lecture Hall	10/5(木 Thu.) 13:00 総合教育講義棟 3階 B12講義室 Rm. #B12, 3F General Education Lecture Hall	10/4(水 Wed.) 14:45 総合教育講義棟 3階 B2講義室 Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall	10/6(金 Fri.) 13:00 総合教育講義棟4階C4講義室 Rm.#C4, 4F General Education Lecture Hall	10/3(火 Tue.) 14:45 総合教育講義棟3階B7講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper			日本語レベルD～ Japanese Level D or higher		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	高齢者とのコミュニケーション体験 Communication with Elderly People	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	国連の持続可能な開発目標に関して学ぶ Learn about Sustainable Development Goal of United Nations		Doing ジェンダー Doing Gender	内と外 In-group / out-group	日本の社会 Japanese Society
	高齢化社会問題 Aging Society Problems	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Daijojji Temple	日本の時間文化 Time Culture in Japan	エネルギー、水管理センター訪問 Visit Energy, Water Management Centers of Kanazawa City		仕事とジェンダー Gender and Work	日本の学校での社会化 Socialization at School	日本の文化 Japanese Culture
	介護体験 Training Experiences about Nurse Care			国連大学IAS-OUIKとワークショップ Workshop at United Nations University IAS OUIK		ジェンダーと差別 Discrimination based on Gender	日本の家族 Family	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire
						ジェンダーと仕事に関するアンケート作成、データ分析 Survey and Data Analyses	日本で仕事をするということ Work	自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic
						聞き取り調査 Interview	ポピュラーカルチャー Pop Culture	調査結果の発表 Presentation of the Research
						プレゼンテーション Presentations	日本的な認知 Cognition	
							グローバルな文化（アニメ） Global Culture (Anime)	

「日本文化・社会学習プログラム」 春学期 2018　　Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Spring 2018

PS-1-E～PS-5-E: 学生は5コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to select one course out of the five courses.
PS-6-E～PS-22-L: 授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ選択できる You can select ONE course.					授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration					
コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E	PS-5-E	PS-6-E	PS-7-E	PS-8-E	PS-9-E	PS-10-E	PS-11-L
Course Title	Japanese Traditional Performing Arts and Music	Traditional Arts & Crafts and their Techniques	Contemporary Art and Design	Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ	Family in Japan	Budō – Karatedō Ⅰ	Budō-Jōdō Ⅰ	Budō-Karatedō Ⅱ	Budō-Jōdō Ⅱ	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History
コースタイトル	日本の伝統芸能	伝統工芸と職人の技	現代アートとデザイン	日本の社会と伝統文化Ⅱ	日本の家庭	武道・空手道Ⅰ	武道・杖道Ⅰ	武道・空手道Ⅱ	武道・杖道Ⅱ	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間
単位 Credit	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	松田 真希子/堤 敦朗 MATSUDA Makiko / TSUTSUMI Atsuro	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 莊一 KOJIMA Soichi
時間割 Timetable	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester
	水曜日 Wednesday 13:00–16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	火曜日 Tuesday 13:00—16:15	金曜日 Friday 13:00–16:15	月曜日 Monday 13:00–16:15	火曜日 Tuesday 16:30–18:00	金曜日 Friday 16:30–18:00	火曜日 Tuesday 16:30–18:00	金曜日 Friday 14:45–16:15	月曜日 Monday 13:00—16:15	火曜日 Tuesday 14:45—16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (no Japanese students)	18	25	16	18	11	20	16	10	16	20	20
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/11(水 Wed.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/12(木 Thu.) 13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	4/10(火 Tue.) 13:00 地域連携推進センター2階 2F, Center for Regional Collaboration	4/13(金 Fri.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/9(月 Mon.) 13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/10(火 Tue.) 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/13(金 Fri.) 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/10(火 Tue.) 16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/13(金 Fri.) 14:15 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/9(月 Mon.) 13:00 総合教育講義棟 2階 A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	4/10(火 Tue.) 14:45 総合教育講義棟 2階 A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)	日本語レベル C以上が望ましい Japanese level C or upper is desirable	なし N/A	日本語レベル D～ Japanese level D～	日本語レベル D～ Japanese level D～	なし N/A			空手道Ⅰ(PA-6-E) Budō-Karatedō Ⅰ(PA-6-E)	杖道Ⅰ(PA-7-E) Budō-Jōdō Ⅰ(PA-7-E)		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	能 Noh	山中漆器の制作 (彫成、塗り、装飾) Yamanaka Lacquerware (carving, painting, decorating)	メディアアート media art	民謡 Minyō (Japanese old folk song)	家族形態と機能について Form and Functions of Family	空手道 Karatedō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	空手道	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar
	狂言 Kyōgen		写真 Photograph	俳句 Haiku (Japanese Poem)	家庭料理 Home cooking (practice)	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Dajoji Temple	日本の時間文化 Time Culture in Japan
	太鼓 Taiko	日本和紙・紙漉き Washi (Japanese paper)	現代工芸1 Modern Craft 1	和菓子 Wagashi (Japanese confectionery)	自主研究 Individual research			技 Additional Techniques	技 Additional Techniques		
	篠笛 Shinobue	美術館 Museum	現代工芸2 Modern Craft 2	水墨画 Suibokuga (Chinese painting)							
	三味線 Shamisen			大社焼 Taisya Pottery							
				能楽 Noh (Classical Japanese Performance)							

	授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration										
コースの番号 Course Number	【開講しない Canceled】	PS-13-E	PS-14-E	PS-15-L	PS-16-L	PS-17-L	PS-18-L	PS-19-E	PS-20-E	PS-21-L	PS-22-L
Course Title	Sustainability and Well-being	UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves	The "Omotenashi" Spirit in The Service Industry of Japan	Sociology of Food and Eating	Intercultural Debates: On Controversial Social Issues	Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society	Self-analysis with Art Therapy 1	Architecture and the City in Japan: from the Past to the Future	Incense in Japanese Culture	Entertainment English	Special Lecture on Japanese Culture
コースタイトル	持続可能性と福祉	ユネスコジオパークとエコパーク	サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心	食の社会学	異文化間ディベート:社会問題	日本社会文化調査実習	アートセラピーを通した自己分析1	日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから	香りと日本文化	エンターテインメントの英語	日本文化特殊講義
単位 Credit	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 莊一 KOJIMA Soichi	伊藤 大将 ITO Daisuke	伊藤 大将 ITO Daisuke	峯 正志 MINE Masashi	堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro	松田 真希子/小津 誠一 MATSUDA Makiko / KOZU Seiichi	西間重慶/堤 敦朗 NISHIGIWA Joyo / TSUTSUMI Atsuro	堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro	チャールズ イノウエ/斉木 麻利子 INOUYE Charles / SAIKI Mariko
時間割 Timetable	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	第1クォーター Quarter 1	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2
	火曜日 Tuesday 13:00—18:00	木曜日 Thursday 13:00—18:00	月曜日 Monday 13:00—16:15	金曜日 Friday 13:00—14:30	水曜日 Wednesday 13:00—14:30	火曜日 Tuesday 14:45–16:15	金曜日 Friday 8:45–12:00	水曜日 Wednesday 13:00–16:15	月曜日 Monday 14:15–18:00	水曜日 Wednesday 13:00—14:30	7月の3日間: 13:00–18:00 on 7/11 (Wed.) 13:00–18:00 on 7/12 (Thu.) 13:00–16:15 on 7/13 (Fri.)
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	集中 Intensive
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (no Japanese students)	10	20	14	15	25	30	20	100	20	20	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/10(火 Tue.) 13:00 総合教育講義棟 3階 B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall	4/12(木 Thu.) 13:00 総合教育講義棟 3階 B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall	4/9(月 Mon.) 13:00 総合教育講義棟4階C9講義室 Rm.#C9, 3F General Education Lecture Hall	4/13(金 Fri.) 13:00 総合教育講義棟4階C4講義室 Rm.#C4, 3F General Education Lecture Hall	4/11(水 Wed.) 13:00 総合教育講義棟6階E1講義室 Rm.#E1, 6F General Education Lecture Hall	4/10(火 Tue.) 14:45 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/13(金 Fri.) 8:45 総合教育講義棟 3階 B2講義室 Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall	6/13(水 Wed.) 13:00 地域連携推進センター2階 2F, Center for Regional Collaboration	6/11(月 Mon.) 14:15 総合教育講義棟 3階 B2講義室 Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall	6/13(水 Wed.) 13:00 総合教育講義棟 3階 B15講義室 Rm. #B15, 3F General Education Lecture Hall	未定 TBA
履修条件 Prerequisite(s)			日本語レベルD～ Japanese Level D or upper			日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語能力N3以上 JLPT N3 or more	日本語能力N3以上 JLPT N3 or more	日本語能力N3以上 JLPT N3 or more	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper 英語TOEIC730、IELTES5.5、英検2級以上	
内容 Contents	国連の持続可能な開発目標に関して学ぶ Learn about Sustainable Development Goal of United Nations (SDGs)	白山白峰村を訪問 Visit Shirarine Village in Hakusan	日本の介護とサービス業 Nurse Care and Service Industry in Japan	食文化 Food Culture	教育 Education (tiger parents / incentives for good grades)	日本の社会 Japanese Society	アートセラピーの歴史	建築 Architecture	香道の歴史	ミュージカル	TBA
	エネルギー、水管理センター訪問 Visit Energy, Water Management Centers of Kanazawa City	伝統文化体験 Experience Traditional Culture	日本のおもてなし文化 The Omotenashi culture in Japan	食と美 Food and Aesthetics	犯罪 Crime (death penalty / punishing juvenile)	日本の文化 Japanese Culture	アートセラピーの理論	まちづくり city design	香道の作法	ドラマ	
	国連大学IAS-OUIKとワークショップ Workshop at United Nations University IAS OUIK	地域の方々とコミュニケーション Communicate with local people	介護体験 Training Experiences about Nurse Care	食産業 Food Industry	倫理 Ethics (selling organs / assisted suicide)	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire	実習	リノベーション renovation	香道実技	音楽	
			サービス業体験 Training Experiences about Service Industry	食と健康 Food and Health	Gender and Sexuality (abortion / gender-neutral restrooms)	自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic	ワークショップ	都市計画 urban planning	ワークショップ		
				グローバリゼーション Globalization of Food	差別意識 Inequality (Japanese people's discrimination)	調査結果の発表 Presentation of the Research		金沢市の歴史 history of Kanazawa City			
				日本の給食 School Lunch	ドラッグ Drugs (legalizing drug use / smoking in public)			金沢市 Kanazawa City			
				料理 Cooking	New Technology (social media / cyber cheating)						

「日本文化・社会学習プログラム」 秋学期 2018　　Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Autumn 2018

PS-1-E～PS-4-E: 学生は4コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to select one course out of the four courses.
PS-5-E～PS-14-L: 授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ選択できる You can select ONE course.				授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration		
コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E	PS-5-E	PS-6-E	PS-7-E
Course Title	Japanese Culture through the Way of Tea	Ōhi Pottery: Clay and Fire	Japanese Society and Traditional Culture I	Education in Japan	Budō – Karatedō I	Budō–Jōdō I	Communication Business
コースタイトル	茶道を通して学ぶ日本文化	大樋焼：土と炎	日本の社会と伝統文化 I	日本の教育	武道・空手道 I	武道・杖道 I	コミュニケーションビジネス
単位	2	2	2	2	2	2	2
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	鈴木 心／松田真希子 SUZUKI Shin/MATSUDA Makiko
時間割 Timetable	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester
	火曜日 Tuesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	金曜日 Friday 13:00-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	金曜日 Friday 16:30-18:00	月曜日 Monday 14:45-18:00
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	18	25	18	10	20	16	100
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10/2(火 Tue.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/4(木 Thu.)13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/5(金 Fri.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/3(水 Wed.)13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/2(火 Tue.)16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/5(金 Fri.)16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/1(月 Mon.)14:45 総合教育講義棟2階A5講義室 Rm. #A5, 2F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)			日本語レベル D～ Japanese level D or upper				日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	茶道 Tea Ceremony	茶道 Tea Ceremony	輪島塗・蒔絵体験 Wajimanuri	幼児教育 Preschool Education	空手道 Karatedō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	写真 photograph
	茶室と露地 Tea rooms and Gardens	大樋焼(作陶, 釉薬, 窯焼き) Ohi Pottery (forming, carving, glazing, firing)	県立歴史博物館 History Museum	学校教育 School Education	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	工芸 craft
	茶碗と茶道具 Tea bowl and tea implements		茶道 Tea Ceremony	特別支援教育 Special Education			アート art
	和菓子 Confections		加賀友禅体験、及び友禅工房見学 Kaga Cuisine	学校訪問 School visit			デザイン design
	書 Calligraphy		兼六園・金沢城見学 KENROKU garden	自主研究 Individual Research			音楽 music
	生け花 Flower Arrangement		金箔工芸体験 Gold Leaf				ファッション fasion
							ゲーム game

	授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration						
コースの番号 Course Number	PS-8-E	PS-9-E	PS-10-L	PS-11-E	PS-12-L	PS-13-E	PS-14-L
Course Title	Nursing Care to Elderly People in Japan	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History	UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves	Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society	Food and Photography in Art	Self-analysis with Art Therapy 2
コースタイトル	日本の介護福祉におけるコミュニケーション	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間	ユネスコジオパークとエコパーク	日本社会文化調査実習	芸術としての料理と写真	アートセラピーを通した自己分析2
単位	2	2	2	2	2	1	1
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	小島 莊一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 莊一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	峯 正志 MINE Masashi	堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro	堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro
時間割 Timetable	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	第3クォーター Quarter 3	第3クォーター Quarter 3
	月曜日 Monday 13:00－16:15	月曜日 Monday 13:00－16:15	火曜日 Tuesday 14:45－16:15	木曜日 Thursday 13:00－18:00	火曜日 Tuesday 14:45-16:15	火曜日 Tuesday 14:45-18:00	水曜日 Wednesday 13:00-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	20	20	20	20	30	20	20
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10/1(月 Mon.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/1(月 Mon.)13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/2(火 Tue.)14:45 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/4(木 Thu.)13:00 総合教育講義棟3階B11講義室 Rm. #B11, 3F General Education Lecture Hall	10/2(火 Tue.)14:45 総合教育講義棟3階B7講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall	10/2(火 Tue.)14:45 総合教育講義棟 3階 B2講義室 Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall	10/3(水 Wed)13:00 総合教育講義棟 4階 C3講義室 Rm. #C3, 4F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	高齢者とのコミュニケーション体験 Communication with Elderly People	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	白山白峰村を訪問 Visit Shiramine Village in Hakusan	日本の社会 Japanese Society	写真 Photography	心理学 Psychology
	高齢化社会問題 Aging Society Problems	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Daijoji Temple	日本の時間文化 Time Culture in Japan	伝統文化体験 Experience Traditional Culture	日本の文化 Japanese Culture	料理 Food	メンタルヘルス Mentalhealth
	介護体験 Training Experiences about Nurse Care			地域の方々とコミュニケーション Communicate with local people	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire	日本の文化 Japanese Culture	芸術療法 Art therapy
					自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic		
					調査結果の発表 Presentation of the Research		

「日本文化・社会学習プログラム」 春学期 2019　　Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Spring 2019

PS-1-E～PS-5-E: 学生は5コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to select one course out of the five courses.
PS-6-E～PS-19-E: 授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ選択できる　You can select ONE course.					授業登録数に制限なし　No restriction to the number of class registration			
コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E	PS-5-E	PS-6-E	PS-7-E	PS-8-E	PS-9-E
Course Title	Japanese Traditional Performing Arts and Music	Traditional Arts & Crafts and their Techniques	Contemporary Art and Design	Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ	Family in Japan	Budō- Karatedō Ⅰ	Budō- Jōdō Ⅰ	Budō- KaratedōⅡ	Budō- Jōdō Ⅱ
コースタイトル	日本の伝統芸能	伝統工芸と職人の技	現代アートとデザイン	日本の社会と伝統文化Ⅱ	日本の家庭	武道・空手道Ⅰ	武道・杖道Ⅰ	武道・空手道Ⅱ	武道・杖道Ⅱ
単位 Credit	2	2	2	2	2	2	2	2	2
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	松田 真希子/堤 敦朗 MATSUDA Makiko / TSUTSUMI Atsuro	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko
時間割 Timetable	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester
	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	火曜日 Tuesday 13:00－16:15	金曜日 Friday 13:00-16:15	月曜日 Monday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	金曜日 Friday 16:30-18:00	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	金曜日 Friday 14:45-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	講義日は授業計画による The course schedule will be announced in the class.	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (ino Japanese students)	18	25	16	18	11	20	16	10	16
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/10(水 Wed.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/11(木 Thu.)13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	4/9(火 Tue.)13:00 総合教育講義棟2階A5演習室 Rm. #A5, 2F General Education Lecture Hall	4/12(金 Fri.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/8(月 Mon.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	4/9(火 Tue.)16:30 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/12(金 Fri.)16:30 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/9(火 Tue.)16:30 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place	4/12(金 Fri.)14:45 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place
履修条件 Prerequisite(s)	日本語レベル C以上が望ましい Japanese level C or upper is desirable	なし N/A	日本語レベル D～ Japanese level D～	日本語レベル D～ Japanese level D～	なし N/A			空手道Ⅰ(PA-5-E)を履修した学生 Studnets who completed Budō-Karatedō Ⅰ (PA-6-E)	杖道Ⅰ(PA-6-E)を履修した学生 Studnets who completed Budō-Jōdō Ⅰ (PA-7-E)
内容 Contents	能 Noh	山中漆器の制作 (形成, 塗り, 装飾) Yamanaka Lacquerware (carving, painting, decorating)	メディアアート media art	民謡 Minyō (Japanese old folk song)	家族形態と機能について Form and Functions of Family	空手道 Karatedō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	空手道	杖道 Jōdō (Way of the Stick)
	狂言 Kyōgen		写真 Photograph	俳句 Haiku(Japanese Poem)	家庭料理 Home cooking(practice)	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory
	太鼓 Taiko	日本和紙・紙漉き Washi (Japanese paper)	現代工芸1 Modern Craft 1	和菓子 Wagashi (Japanese confectionery)	自主研究 Individual research			技 Additional Techniques	技 Additional Techniques
	篠笛 Shinobue	美術館 Museum	現代工芸2 Modern Craft 2	水墨画 Suibokuga(Chinese painting)					
	三味線 Shamisen			大社焼 Taisya Pottery					
				能楽 Noh(Classical Japanese Performance)					

	授業登録数に制限なし　No restriction to the number of class registration								
コースの番号 Course Number	PS-10-E	PS-11-E	PS-12-E	PS-13-E	PS-14-L	PS-15-L	PS-16-E	PS-17-E	PS-18-L
Course Title	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History	UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves	The "Omotenashi" Spirit in The Service Industry of Japan	Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society	Self-analysis with Art Therapy	Architecture and the City in Japan: from the Past to the Future	Incense in Japanese Culture	Special Lecture on Japanese Culture
コースタイトル	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間	ユネスコジオパークとエコパーク	サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心	日本社会文化調査実習	アートセラピーを通した自己分析	日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから	香りと日本文化	日本文化特殊講義
単位 Credit	2	2	2	2	2	1	1	1	1
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 荘一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 荘一 KOJIMA Soichi	峯 正志 MINE Masashi	堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro	松田 真希子/小津 誠一 MATSUDA Makiko / KOZU Seiichi	西際重夢/堤 敦朗 NISHIGIWA Joyo / TSUTSUMI Atsuro	チャールズ イノウエ/斉木 麻利子 INOUYE Charles / SAIKI Mariko
時間割 Timetable	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2
	月曜日 Monday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 14:45-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	月曜日 Monday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 14:45-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	月曜日 Monday 14:45-18:00	7月の3日間 3 days in July
	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	集中 Intensive
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (ino Japanese students)	20	20	25	14	30	20	100	20	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	4/8(月 Mon.)13:00 総合教育講義棟 2階 A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	4/9(火 Tue.)14:45 総合教育講義棟 2階 A4講義室 Rm. #A4, 2F General Education Lecture Hall	4/11(木 Thu.)13:00 総合教育講義棟 3階 B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall	4/8(月 Mon.)13:00 総合教育講義棟4階C9講義室 Rm. #C9, 3F General Education Lecture Hall	4/9(火 Tue.)14:45 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	6/12(水 Wed.)13:00 総合教育講義棟 3階 B4講義室 Rm. #B4, 3F General Education Lecture Hall	6/12(水 Wed.)13:00 総合教育講義棟2階A5演習室 Rm. #A5, 2F General Education Lecture Hall	6/17(月 Mon.)14:45 総合教育講義棟 5階 D3講義室 Rm. #D3, 5F General Education Lecture Hall	未定 TBA
履修条件 Prerequisite(s)		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	
内容 Contents	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	白山白峰村を訪問 Visit Shiramine Village in Hakusan	日本の介護とサービス業 Nurse Care and Service Industry in Japan	日本の社会 Japanese Society	アートセラピーの歴史	建築 Architecture	香道の歴史	TBA
	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Daijoji Temple	日本の時間文化 Time Culture in Japan	伝統文化体験 Experience Traditional Culture	日本のおもてなし文化 The Omotenashi culture in Japan	日本の文化 Japanese Culture	アートセラピーの理論	まちづくり city design	香道の作法	
			地域の方々とコミュニケーション Communicate with local people	介護体験 Training Experiences about Nurse Care	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire	実習	リノベーション renovation	香道実技	
				サービス業体験 Training Experiences about Service Industry	自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic	ワークショップ	都市計画 urban planning	ワークショップ	
					調査結果の発表 Presentation of the Research		金沢市の歴史 history of Kanazawa City		
							金沢市 Kanazawa City		

「日本文化・社会学習プログラム」 秋学期 2019　　Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Autumn 2019

PS-1-E～PS-4-E: 学生は4コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to select one course out of the four courses.
PS-5-E～PS-11-L: 授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ選択できる You can select ONE course.			
コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E
Course Title	Japanese Culture through the Way of Tea	Ōhi Pottery: Clay and Fire	Japanese Society and Traditional Culture I	Education in Japan
コースタイトル	茶道を通して学ぶ日本文化	大樋焼：土と炎	日本の社会と伝統文化Ⅰ	日本の教育
単位	2	2	2	2
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン　ハイコ BITTMANN Heiko	山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi	斉木 麻利子 SAIKI Mariko
時間割 Timetable	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester
	火曜日 Tuesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	金曜日 Friday 13:00-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly
最大受入学生数（目安） Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	18	25	18	10
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10/1（火 Tue.）13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/3（木 Thu.）13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/2(水Wed.)16：30 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/2(水 Wed.) 13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)			日本語レベル D～ Japanese level D or upper	
内容 Contents	茶道 Tea Ceremony	茶道 Tea Ceremony	輪島塗・蒔絵体験 Wajimanuri	幼児教育 Preschool Education
	茶室と露地 Tea rooms and Gardens	大樋焼（作陶，釉薬，窯焼き） Ohi Pottery (forming, carving, glazing, firing)	県立歴史博物館 History Museum	学校教育 School Education
	茶碗と茶道具 Tea bowl and tea implements		茶道 Tea Ceremony	特別支援教育 Special Education
	和菓子 Confections		加賀友禅体験、及び友禅工房見学 Kaga Cuisine	学校訪問 School visit
	書 Calligraphy		兼六園・金沢城見学 KENROKU garden	自主研究 Individual Research
	生け花 Flower Arrangement		金箔工芸体験 Gold Leaf	

	授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration						
コースの番号 Course Number	PS-5-E	PS-6-E	PS-7-E	PS-8-E	PS-9-E	PS-10-E	PS-11-L
Course Title	Budō – Karatedō I	Budō-Jōdō I	Nursing Care to Elderly People in Japan	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History	UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves	Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society
コースタイトル	武道・空手道Ⅰ	武道・杖道Ⅰ	日本の介護福祉におけるコミュニケーション	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間	ユネスコジオパークとエコパーク	日本社会文化調査実習
単位	2	2	2	1	2	1	2
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	小島　荘一 KOJIMA Soichi	ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida	小島　荘一 KOJIMA Soichi	ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida	峯　正志 MINE Masashi
時間割 Timetable	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	第3クォーター Quarter 3	後期 Autumn Semester	第3クォーター Quarter 3	後期 Autumn Semester
	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	金曜日 Friday 16:30-18:00	月曜日 Monday 13:00－16:15	月曜日 Monday 13:00－16:15	火曜日 Tuesday 14:45－16:15	木曜日 Thursday 13:00－18:00	火曜日 Tuesday 14:45-16:15
	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly
最大受入学生数（目安） Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	20	16	20	20	20	20	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	10/1（火 Tue.）16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/4(金 Fri.)16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/7（月 Mon.）13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/7（月 Mon.）13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/1（火 Tue.）14:45 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/10（木 Thu.）13:00 総合教育講義棟3階B11講義室 Rm. #B11, 3F General Education Lecture Hall	10/1（火 Tue.）14:45 総合教育講義棟3階B7講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall
履修条件 Prerequisite(s)			日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	空手道 Karatedō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	高齢者とのコミュニケーション体験 Communication with Elderly People	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	白山白峰村を訪問 Visit Shiramine Village in Hakusan	日本の社会 Japanese Society
	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	高齢化社会問題 Aging Society Problems	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Daijoji Temple	日本の時間文化 Time Culture in Japan	伝統文化体験 Experience Traditional Culture	日本の文化 Japanese Culture
			介護体験 Training Experiences about Nurse Care			地域の方々とコミュニケーション Communicate with local people	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire
							自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic
							調査結果の発表 Presentation of the Research

「日本文化・社会学習プログラム」 春学期 2020　Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Spring 2020

PS-1-E～PS-4-E：学生は4コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to register one course out of the four courses.
PS-5-E～PS-16-L：授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ登録できる Students can register ONE course.				授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration			
コースの番号 Course Number	PS-1-E	PS-2-E	PS-3-E	PS-4-E	PS-5-E	PS-6-E	PS-7-E	PS-8-E
Course Title	Japanese Traditional Performing Arts and Music 2	Traditional Arts & Crafts and their Techniques *There is the possibility that this course will be cancelled.	Contemporary Art and Design	Family in Japan	Budō- Karatedō I	Budō- Jōdō I	Budō- Karatedō II	Budō- Jōdō II
コースタイトル	日本の伝統芸能 2	伝統工芸と職人の技 *この授業は開講されない場合があります。	現代アートとデザイン	日本の家庭	武道・空手道 I	武道・杖道 I	武道・空手道 II	武道・杖道 II
単位 Credit	1	2	1	2	2	2	2	2
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	松田 真希子 MATSUDA Makiko	斉木 麻利子 SAIKI Mariko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko
時間割 Timetable	第2クォーター Quarter 2	前期 Spring Semester	第2クォーター Quarter 2	第1クォーター Quarter 1	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester	前期 Spring Semester
	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	火曜日 Tuesday 13:00－16:15	月曜日 Monday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	金曜日 Friday 16:30-18:00	火曜日 Tuesday 16:30-18:00	金曜日 Friday 14:45-16:15
	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	講義日は授業計画による The course schedule will be announced in the class.	講義日は授業計画による The course schedule will be announced in the class.	毎週 Weekly Week 1 to 8/ 課題 Report Week 9 to 16/ 実技 Training	毎週 Weekly Week 1 to 8/ 課題 Report Week 9 to 16/ 実技 Training	毎週 Weekly Week 1 to 8/ 課題 Report Week 9 to 16/ 実技 Training	毎週 Weekly Week 1 to 8/ 課題 Report Week 9 to 16/ 実技 Training
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (Inc Japanese students)	18	25	16	7	20	16	10	16
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	6/24(水 Wed.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	We will inform you about the details by email. 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	6/23(火 Tue.)13:00 総合教育講義棟2階A5演習室 Rm. #A5, 2F General Education Lecture Hall	未定 TBA 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	We will inform you about the details by email. 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place	We will inform you about the details by email. 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place	We will inform you about the details by email. 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place	We will inform you about the details by email. 体育館2階ダンス場 Gymnasium Dance Place
履修条件 Prerequisite(s)	日本語レベル C以上が望ましい Japanese level C or upper is desirable	なし N/A	日本語レベル D～ Japanese level D～	なし N/A	なし N/A	なし N/A	武道・空手道 I を履修した学生 Students who completed Budō-Karatedō I	武道・杖道 I を履修した学生 Students who completed Budō-Jōdō I
内容 Contents	能 Noh	山中漆器の制作（形成，塗り，装飾） Yamanaka Lacquerware (carving, painting, decorating)	21世紀美術館 21st century museum	家族形態と機能について Form and Functions of Family	空手道 Karatedō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	空手道	杖道 Jōdō (Way of the Stick)
	狂言 Kyōgen		現代工芸1 Modern Craft 1	家庭料理 Home cooking (practice)	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory
	太鼓 Taiko	日本和紙・紙漉き Washi (Japanese paper)	現代工芸1 Modern Craft 2	自主研究 Individual research			技 Additional Techniques	技 Additional Techniques
	篠笛 Shinobue	美術館 Museum	現代工芸1 Modern Craft 3					
			現代工芸1 Modern Craft 4					
			現代工芸1 Modern Craft 5					

	授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration							
コースの番号 Course Number	PS-9-E	PS-10-E	PS-11-E	PS-12-E	PS-13-L	PS-14-E	PS-15-E	PS-16-L
Course Title	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History	UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves	The "Omotenashi" Spirit in The Service Industry of Japan	Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society	Architecture and the City in Japan: from the Past to the Future	Incense in Japanese Culture	Special Lecture on Japanese Culture
コースタイトル	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間	ユネスコジオパークとエコパーク	サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心	日本社会文化調査実習	日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから	香りと日本文化	日本文化特殊講義
単位 Credit	1	1	1	1	2	1	1	1
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 庄一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 庄一 KOJIMA Soichi	峯 正志 MINE Masashi	林野 紀子/ 松田 真希子 RINNO Noriko/ MATSUDA Makiko	西際重譽/ 山本 洋 NISHIGIWA Joyo/ YAMAMOTO Hiroshi	チャールズ イノウエ/斉木 麻利子 INOUYE Charles / SAIKI Mariko
時間割 Timetable	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	前期 Spring Semester Q1/ Online teaching Q2/ On campus	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2	第2クォーター Quarter 2
	月曜日 Monday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 14:45-16:15	木曜日 Thursday 13:00-18:00	月曜日 Monday 13:00-16:15	火曜日 Tuesday 14:45-16:15	水曜日 Wednesday 13:00-16:15	月曜日 Monday 14:45-18:00	7月の3日間 3 days in July
	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	集中 Intensive
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (Inc Japanese students)	20	20	25	14	30	100	20	30
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	6/15 (月 Mon.) 13:00 総合教育講義棟 2階 A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	6/16(火 Tue.)14:45 総合教育講義棟 2階 A4講義室 Rm. #A4, 2F General Education Lecture Hall	6/18(木 Thu.)13:00 総合教育講義棟 5階 D4講義室 Rm. #D4, 5F General Education Lecture Hall	6/15(月 Mon.)13:00 総合教育講義棟4階C9講義室 Rm. #C9, 4F General Education Lecture Hall	4/21(火 Tue.) 14:45 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	6/24(水 Wed.)13:00 総合教育講義棟2階A5演習室 Rm. #A5, 2F General Education Lecture Hall	6/22 (月 Mon.) 14:45 総合教育講義棟 5階 D3講義室 Rm. #D3, 5F General Education Lecture Hall	未定 TBA
履修条件 Prerequisite(s)	なし N/A	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	なし N/A	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	日本語レベルD～ Japanese Level D or upper	なし N/A
内容 Contents	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar	白山白峰村を訪問 Visit Shiramine Village in Hakusan	日本の介護とサービス業 Nurse Care and Service Industry in Japan	日本の社会 Japanese Society	建築 Architecture	香道の歴史	TBA
	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Daijoji Temple	日本の時間文化 Time Culture in Japan	伝統文化体験 Experience Traditional Culture	日本のおもてなし文化 The Omotenashi culture in Japan	日本の文化 Japanese Culture	まちづくり city design	香道の作法	
			地域の方々とコミュニケーション Communicate with local people	介護体験 Training Experiences about Nurse Care	アンケート調査の基礎 Basics of Research using Questionnaire	リノベーション renovation	香道実技	
				サービス業体験 Training Experiences about Service Industry	自分で選んだトピックの調査 Research of the Chosen Topic	都市計画 urban planning	ワークショップ	
					調査結果の発表 Presentation of the Research	金沢市の歴史 history of Kanazawa City		
						金沢市 Kanazawa City		

「日本文化・社会学習プログラム」 秋学期 2020 Program for the Studies on Japanese Culture and Society – Autumn 2020

PA-1-E～PA-2-E: 学生は2コースの中から一つだけ選択できる。Students are able to select one course out of the two courses.
PA-3-E～PA-9-L: 授業登録数に制限はない。No restriction as to the number of course registration.

E = Experience-oriented Course / L = Lecture-oriented Course

	1コースだけ選択できる You can select ONE course.		授業登録数に制限なし No restriction to the number of class registration				
コースの番号 Course Number	PA-1-E	PA-2-E	PA-3-E	PA-4-E	PA-5-E	PA-6-E	PA-7-E
Course Title	Japanese Culture through the Way of Tea	Ōhi Pottery: Clay and Fire	Budō – Karatedō I	Budō–Jōdō I	Nursing Care to Elderly People in Japan	Zen and Japanese Culture	Calendar and Time in the Japanese History
コースタイトル	茶道を通して学ぶ日本文化	大樋焼：土と炎	武道・空手道 I	武道・杖道 I	日本の介護福祉におけるコミュニケーション	禅と日本文化	日本の歴史からみた暦と時間
単位	1	2	2	2	2	1	2
教員 Instructor(s)/Coordinator(s)	深川 美帆 FUKAGAWA Miho	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko	小島 荘一 KOJIMA Soichi	ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida	小島 荘一 KOJIMA Soichi
時間割 Timetable	第4クォーター Quarter 4	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	後期 Autumn Semester	第3クォーター Quarter 3	後期 Autumn Semester
	金曜日 Friday 16:30–18:00	木曜日 Thursday 13:00–18:00	火曜日 Tuesday 16:30–18:00	金曜日 Friday 16:30–18:00	月曜日 Monday 13:00－16:15	月曜日 Monday 13:00－16:15	火曜日 Tuesday 14:45－16:15
	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly	毎週 Weekly	隔週 Biweekly	隔週 Biweekly	毎週 Weekly
最大受入学生数(目安) Maximum Student Enrollment (inc Japanese students)	20	25	20	16	20	20	20
オリエンテーション日時・場所 Orientation Date and Place	12/11(金 Fri.)17:00 –18:00(JST) オンライン(Webミーティング) Web Meeting	10/1(木 Thu.)13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/6 (火 Tue.)16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/2 (金 Fri.)16:30 体育館2階 ダンス場 Gymnasium Dance Place	10/5 (月 Mon.)13:00 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	10/5(月 Mon.)13:00 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall	10/6 (火 Tue.)14:45 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall
授業形態	オンデマンド授業型(一部双方向Web授業型併用) on-demand class type & web meeting type (combination)	「対面授業型」(予定) face-to-face class type (Subject to change)	「対面授業型」 face-to-face class type	「対面授業型」 face-to-face class type	オンデマンド授業型(一部双方向Web授業型併用) on-demand class type & web meeting type (combination)	「対面授業型」 face-to-face class type	オンデマンド授業型(一部双方向Web授業型併用) on-demand class type & web meeting type (combination)
履修条件 Prerequisite(s)					日本語レベルD～ Japanese Level D or upper		日本語レベルD～ Japanese Level D or upper
内容 Contents	茶道 Tea Ceremony	茶道 Tea Ceremony	空手道 Karatedō	杖道 Jōdō (Way of the Stick)	高齢者とのコミュニケーション体験 Communication with Elderly People	坐禅と理論 Zazen and Theory	暦の歴史 History of Calendar
	茶室と露地 Tea rooms and Gardens	大樋焼(作陶, 釉薬, 窯焼き) Ohi Pottery (forming, carving, glazing, firing)	実技と理論 Practice and Theory	実技と理論 Practice and Theory	高齢化社会問題 Aging Society Problems	大乗寺で坐禅体験 Zazen at Daijojji Temple	日本の時間文化 Time Culture in Japan
	茶碗と茶道具 Tea bowl and tea implements				介護体験 Training Experiences about Nurse Care		
	和菓子 Confections						
	書 Calligraphy						
	生け花 Flower Arrangement						

資料４　KUSEP・時間割表

「第 XVIII 期：秋学期(2015.10-2016.3)」KUSEP プログラム授業時間割表　<2015.10 ～ 2016.3 KUSEP Timetable>

	１時限 (8:45 - 10:15)	２時限 (10:30 - 12:00)	３時限 (13:00 – 14:30)	４時限 (14:45 – 16:15)	５時限 (16:30 – 18:00)
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	比較政治学 (A-1)　Comparative Politics ビートン アンドリュー　BEATON Andrew 人間社会第1講義棟 3 階 313 講義室 Rm. #313, 3F Human and Social Science Lecture Hall 1		
			武道・少林寺拳法(PA-6-E) Budō – Shōrinji-Kenpō ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 体育館 2 階ダンス場　Dance Place, 2F Gymnasium		
			日本における介護福祉の現状(PA-13-E) Nurse Care to Elderly People in Japan 小島　荘一　KOJIMA Soichi 総合教育講義棟 2 階 A3 講義室 Rm.#A3, 2F General Education Lecture Hall		
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	禅と日本文化(PA-9-E)　Zen and Japanese Culture ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida (1st session) 総合教育講義棟 3 階 B2 講義室　Rm.#B2, 3F General Education Lecture Hall (2nd session and after) 角間の里　Kakumano-sato	日本の暦と時間(PA-10-L) Japanese Calendar and Time Culture 小島　荘一　KOJIMA Soichi 総合教育講義棟 3 階 B9 講義室 Rm.#B9, 3F General Education Lecture Hall	武道・空手道 Ⅰ (PA-5-E) Budō-Karatedō Ⅰ 井東　廉介 ITÔ Rensuke 体育館 2 階ダンス場 Dance Place , 2F Gymnasium
			茶道を通して学ぶ日本文化(PA-1-E)　Japanese Culture through the Way of Tea 深川 美帆　FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟 2 階 A3 講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall 隔週 Biweekly		
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の教育(PA-4-E)　Education in Japan 斉木 麻利子　SAIKI Mariko 総合教育講義棟 2 階 A3 講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall 隔週 Biweekly		
	地球環境論 E (A-5) Global Environment and Its Dynamics 塚脇　真二 TSUKAWAKI Shinji 総合教育棟 2 号館 6 階 E10 講義室 Rm. #E10, 6F General Education Hall 2		日本の宗教(PA-8-E) Japanese Religions 志村　恵 SHIMURA Megumi 総合教育講義棟 2 階 A2 講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall 隔週 Biweekly		
			コミュニケーションビジネス(PA-12-L) Communication Business 鈴木　心／松田　真希子　SUZUKI Shin/MATSUDA Makiko 総合教育講義棟 3 階 B4 講義室　Rm.#B4, 3F General Education Lecture Hall 隔週　Biweekly		
			日本史 (A-4) Japanese History 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟 3 階　B7 講義室 Rm. # B7, 3F General Education Lecture Hall	ジェンダーと社会(PA-14-L)　Gender and Society 伊藤　大将 ITÔ Daisuke 総合教育講義棟 5 階 D4 講義室 Rm.#D4, 5F General Education Lecture Hall	
			日本人類学 (A-3) Anthropology　in Japan アートル ジョン ジョセフ　ERTL John Josef 総合教育 2 号館4階 C14 演習室 Rm. #C14, 4F General Education Hall 2	イギリス地域文化論(A-8)　British Regional Study 山本　卓　YAMAMOTO Taku 人間社会第 2 講義棟 3 階 308 講義室 Rm. #308,　Human and Social Science Lecture Hall 2	
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	大樋焼:土と炎(PA-2-E)　Ohi Pottery : Clay and Fire 深川 美帆　FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟 2 階 A2 講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall 隔週　Biweekly		
			石川県の自然と文化多様性と国際的なイニチアチブ(PA-11-E)　Natural and Cultural Diversity of Ishikawa and International Initiatives ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟 3 階 B4 講義室　Rm.#B4, 3F General Education Lecture Hall 隔週　Biweekly		
			日本政治・外交論 (A-2) Japanese Politics and Diplomacy ビートン アンドリュー　BEATON Andrew 人間社会第 1 講義棟 202 講義室 Rm. #202,　Human and Social Science Lecture Hall 1	国際社会研究演習 (A-6) Seminar in International Society Studies フォックス　セナン　FOX Senan 総合教育2号館 5 階 D12 講義室 Rm. #D12, 5F General Education Hall 2	フランス語を学ぼう(A-7) Learning French 粕谷　雄一　KASUYA Yuichi 総合教育講義棟 5F D2 講義室 Rm. # D2, 5F General Education Lecture Hall
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化Ⅰ (PA-3-E)　Japanese　Society and Traditional Culture Ⅰ 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟 2 階 A3 講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall 隔週　Biweekly		武道・杖道Ⅰ (PA-7-E)　Budō-Jōdō Ⅰ 岡本　直子／藪野　秀憲 OKAMOTO Naoko / YABUNO Hidenori 体育館 2 階ダンス場　Dance Place , 2F Gymnasium
			日本語と社会(PA-15-L) Japanese Language and Society 伊藤　大将 ITÔ Daisuke 総合教育講義棟 5 階 D4 講義室 Rm.#D4, 5F General Education Lecture Hall		

日本語 Japanese classes　日本文化・社会スタディ・プログラム Program for the Study of Japanese Culture and Society　選択科目 Elective Courses

「第 XVIII 期：春学期(2016.4-2016.9)」金沢大学短期留学プログラム（ＫＵＳＥＰ）授業時間割表　＜2016.4 ～ 2016.9 KUSEP Timetable

	１時限 (8:45 - 10:45)	２時限 (10:30 - 12:00)	３時限 （１３：００―１４：３０）	４時限 （１４：４５―１６：１５）	５時限 （１６：３０―１８：００）
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の家庭　Family in Japan 斉木 麻利子 SAIKI Mariko 総合教育講義棟２階 A3 講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly 現代アートとデザイン Contemporary Art and Design 松田 真希子 MATSUDA Makiko 地域連携推進センター2 階 2F, Center for Regional Collaboration ★毎週 Weekly 武道･少林寺拳法 Budō – Shōrinji-Kenpō ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida 体育館２階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心 The "Omotenashi" Spirit in the Service Industry of Japan 小島 荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟４階 C9 講義室 Rm. #C9, 4F General Education Lecture Hall		日本人類学 Anthropology in Japan アートル ジョン ジョセフ ERTL, John Josef 総合教育講義棟 4 階 C7 講義室 Rm. #C7, 4F General Education Lecture Hall ヨーロッパ生活論 Lecture on European Life Culture ラントハーゲ ザビーネ RANDHAGE Sabine 人間社会第1講義棟 3 階 313 講義室 Rm. #313, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese 米英メディア文化論 American/British Media Studies 小原文衛 KOHARA Bunei 総合教育２号館５階 D12 講義室 Rm. #D12, 5F General Education Hall 2	禅と日本文化 Zen and Japanese Culture ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida (1st session) 総合教育講義棟４階 C3 講義室 Rm. #C3, 4F General Education Lecture Hall (2nd session and after) 角間の里 Kakumano-sato 食の社会学 Sociology of Food and Eating 伊藤 大将 ITŌ Daisuke 総合教育講義棟４階 C2 講義室 Rm. #C2, 4F General Education Lecture Hall	日本の歴史からみた暦と時間 Calendar and Time in the Japanese History 小島 荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟４階 C9 講義室 Rm.#C9, 4F General Education Lecture Hall 日本社会文化調査実習 Survey and Training Seminar 峯 正志 MINE Masashi 総合教育講義棟２階 A3 講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	武道･空手道 Ⅰ Budō-Karatedō Ⅰ 武道･空手道 Ⅱ Budō-Karatedō Ⅱ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place

水
WED.
	日本語
	Japanese
		日本語
		Japanese
			日本の伝統芸能 Japanese Art Performance and Music
			深川 美帆 FUKAGAWA Miho
			総合教育講義棟２階 A3 講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall
			★隔週 Biweekly
			日本語と社会 Japanese Language and Society
			伊藤 大将 ITŌ Daisuke
			総合教育講義棟４階 C2 講義室
			Rm. #C2, 4F General Education Lecture Hall
			日本史 Japanese History
			山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi
			総合教育講義棟２階 A2 講義室
			Rm. # A2, 2F General Education Lecture Hall
			国際政治史(東洋)
			A History of International Politics (Oriental)
			フォックス セナン FOX SENAN JAMES
			総合教育講義棟３階 B5 講義室
			Rm. #B5, 3F General Education Hall
				社会文化の中の言語 Language Ideology in Japan
				榎本 剛士 ENOMOTO Takeshi
				総合教育講義棟４階 C5 講義室
				Rm. #C5, 4F General Education Hall
				現代日本の文化と社会
				An Introduction to the Modern Japanese Culture and Society
				轟 亮 鏡味 治也 ほか
				Todoroki Makoto KAGAMI Haruya, et al.
				人間社会第１講義棟 201 講義室
				Rm. #201, Human and Social Science Lecture Hall 1	

木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	伝統工芸と職人の技 Traditional Arts & Crafts and their Techniques ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 総合教育講義棟２階 A2 講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly 生物多様性と国際イニシアチブ Bio-cultural diversity and International Initiatives ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida (1st session) 総合教育講義棟４階 C15 講義室 Rm. #C15, 4F General Education Lecture Hall (2nd session and after) 角間の里 Kakumano-sato ★隔週 Biweekly	主要な国際問題と課題 Major Global Issues and Challenges フォックス セナン FOX SENAN JAMES 総合教育２号館５階 D15 演習室 Rm. #D15, 5F General Education Hall 2	
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化Ⅱ Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ 山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟２階 A3 講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly	武道･杖道Ⅱ Budō-Jōdō Ⅱ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place	武道･杖道Ⅰ Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Dance Place , Gymnasium

日本語 Japanese classes　日本文化･社会学習 Studies of Japanese Culture and Society　選択科目 Elective Courses

「第 XIX 期：秋学期(2016. 10-2017. 3)」KUSEP プログラム授業時間割表　＜2016. 10 ～ 2017. 3 KUSEP Timetable＞

	1時限 (8:45 - 10:15)	2時限 (10:30 - 12:00)	3時限 (13:00 – 14:30)	4時限 (14:45 – 16:15)	5時限 (16:30 – 18:00)
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	禅と日本文化　(PA-8-E)　Zen and Japanese Culture　**隔週　Biweekly** ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida (1st session) 総合教育講義棟 4 階 C15 講義室　Rm.#C15, 4F General Education Lecture Hall (2nd session and after) 角間ゲストハウス　Kakuma Guest House		
			コミュニケーションビジネス (PA-12-L)　Communication Business　**隔週　Biweekly** 鈴木　心／松田　真希子　SUZUKI Shin/MATSUDA Makiko 地域連携推進センター　Center for Regional Collaboration		
			日本における介護福祉の現状 (PA-13-L)　Nursing Care to Elderly People in Japan　**隔週　Biweekly** 小島　荘一　KOJIMA Soichi 総合教育講義棟 2 階 A3 講義室　Rm.#A3, 2F General Education Lecture Hall		
			武道･少林寺拳法 (PA-6-E)　Budō – Shōrinji-Kenpō ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 体育館 2 階ダンス場　Dance Place, 2F Gymnasium	社会学の基礎(**★第3クォーターのみ開講**) (PA-15-L) Sociology: Basics (**★Only for the 3rd Quarter**) 伊藤　大将　ITŌ Daisuke 総合教育講義棟 2 階 A4 講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	
				日本の社会問題(**★第 4 クォーターのみ開講**) (PA-16-L) Social Problems in Japan (**★Only for the 4th Quarter**) 伊藤　大将　ITŌ Daisuke 総合教育講義棟 2 階 A4 講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	文化表象研究 (A-5)　Cultural Representations 大藪　加奈　OYABU Kana 総合教育講義棟 5 階 D2 講義室 Rm.#D2, 5F General Education Lecture Hall	日本の歴史からみた暦と時間 (PA-9-L) Calendar and Time in the Japanese History 小島　荘一　KOJIMA Soichi 総合教育講義棟 3 階 B9 講義室 Rm.#B9, 3F General Education Lecture Hall	武道･空手道 Ⅰ (PA-5-E) Budō-Karatedō Ⅰ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館 2 階ダンス場 Dance Place , 2F Gymnasium
				日本社会文化調査実習 (PA-17-L) Survey and Training Seminar 峯　正志 MINE Masashi 総合教育講義棟 3 階 B7 講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall	
			茶道を通して学ぶ日本文化(PA-1-E)　Japanese Culture through the Way of Tea　**隔週 Biweekly** 深川 美帆　FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟 2 階 A3 講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall		アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界 (A-7) African Origin People's Music and Modern World 粕谷　雄一　KASUYA Yuichi 総合教育講義棟 5 階 LL 教室Rm. #LL, 5F General Education Hall
			白山地域学習 (PA-11-E)　Regional Studies of Hakusan　**隔週　Biweekly** ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟 4 階 C6 講義室 Rm.#C6, 4F General Education Lecture Hall		
水 WED	日本語 Japanese 地球環境論 E (A-2) Global Environment and Its Dynamics 塚脇　真二　TSUKAWAKI Shinji 総合教育棟 2 号館 6 階 E10 講義室 Rm. #E10, 6F General Education Hall 2	日本語 Japanese	日本の教育 (PA-4-E)　Education in Japan　**隔週　Biweekly** 斉木　麻利子　SAIKI Mariko 総合教育講義棟 2 階 A2 講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall		
			日本史 (A-1) Japanese History 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟 5 階　D14 講義室 Rm. # D14, 5F General Education Lecture Hall		
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	大樋焼: 土と炎(PA-2-E)　Ohi Pottery : Clay and Fire　**隔週　Biweekly** ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 総合教育講義棟 2 階 A2 講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall		
			金沢と持続可能な開発 (PA-10-E)　Sustainable Development of Kanazawa City　**隔週　Biweekly** ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟 3 階 B5 講義室　Rm.#B5, 3F General Education Lecture Hall		
				主要な国際問題と課題 (A-4) Major Global Issues and Challenges フォックス　セナン　FOX Senan 総合教育2号館 5 階　D12 講義室 Rm. #D12, 5F General Education Hall 2	フランス語を学ぼう(A-6) Learning French 粕谷　雄一　KASUYA Yuichi 総合教育講義棟 3F B2 講義室 Rm. # B2, 3F General Education Lecture Hall
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化 Ⅰ (PA-3-E)　Japanese Society and Traditional Culture Ⅰ　**隔週　Biweekly** 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟 2 階 A3 講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall		武道･杖道 Ⅰ (PA-7-E)　Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館 2 階ダンス場　Dance Place , 2F Gymnasium
			日本語と社会 (PA-14-L) Japanese Language and Society 伊藤　大将　ITŌ Daisuke 総合教育講義棟 5 階 D3 講義室 Rm.#D3, 5F General Education Lecture Hall		
			日本の法と社会 (A-3) Law and Society in Japan 東川　浩二　HIGASHIKAWA Koji 総合教育講義棟 4 階 C4 講義室 Rm.#C4, 4F General Education Lecture Hall		

日本語 Japanese classes　日本文化･社会学習プログラム Program for the Study of Japanese Culture and Society　選択科目 Elective Courses

「第XIX期：春学期(2017.4-2017.9)」KUSEPプログラム授業時間割表　＜2017.4 ～ 2017.8 KUSEP Timetable＞

日本語 Japanese classes　　選択科目 Elective Courses　　日本文化・社会学習 Studies of Japanese Culture and Society

	1時限 （8：45－10：45）	2時限 （10：30－12：00）	3時限 （13：00－14：30）	4時限 （14：45－16：15）	5時限 （16：30－18：00）
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の家庭　Family in Japan 斉木 麻利子　SAIKI Mariko , 尾島　恭子 OJIMA, Kyoko 総合教育講義棟2階A3講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		ﾖｰﾛｯﾊ生活論E Lecture on European Life Culture　E ラントハーゲ　ザビーネ RANDHAGE Sabine 人間社会第1講義棟 3階 313講義室 Rm. #313, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1【未確定】
			現代アートとデザイン　Contemporary Art and Design 松田 真希子MATSUDA Makiko , 堤　敦朗　TSUTSUMI　Atsuro 地域連携推進センター2階　2F, Center for Regional Collaboration		
			サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心 The "Omotenashi" Spirit in the Service Industry of Japan 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟4階C9講義室　Rm. #C9, 4F General Education Lecture Hall		
			禅と日本文化　Zen and Japanese Culture ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall		
			武道・少林寺拳法　Budō -Shōrinji-Kenpō ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida 体育館2階ダンス場　Dance Place, 2F Gymnasium	社会言語学　Sociolinguistics 加藤　和夫　KATOH Kazuo 教室未定	
			音声学1（第1Qのみ）Phonetics 1※1Q only 加藤　和夫　KATOH Kazuo 教室未定	日本法ニュースプロジェクト　Japan Law News Project 東川　浩二　HIGASHIKAWA Koji 教室未定	
			音声学2（第2Qのみ）Phonetics 2※2Q only 加藤　和夫　KATOH Kazuo 教室未定		
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	持続可能性と福祉　Sustainability and Well-being ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida **1Q:** 総合教育講義棟3階B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall **2Q:** 総合教育講義棟3階B5講義室 Rm. #B5, 3F General Education Lecture Hall		
		米英メディア文化論 E American/British Media Studies　E 小原文衛　KOHARA Bunei 総合教育2号館5階D12講義室 Rm. #D12, 5F General Education Hall 2 【未確定】		日本の歴史からみた暦と時間 Calendar and Time　in the Japanese History 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	武道・空手道 Ⅰ　Budō-Karatedō Ⅰ 武道・空手道 Ⅱ　Budō-Karatedō Ⅱ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Gymnasium Dance Place
		日本語学概論A1（第1Qのみ）Japanese Language Structure A1　※1Q only 加藤　和夫　KATOH, Kazuo 教室未定		日本社会文化調査実習　Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society 峯　正志　MINE Masashi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	
		日本語学概論A2（第2Qのみ）Japanese Language Structure A2 ※2Q only 加藤　和夫　KATOH, Kazuo 教室未定			
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の伝統芸能　Japanese Traditional Performing Arts and Music 深川 美帆　FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟2階A3講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから Architecture and the city in Japan: from the past to the future 松田 真希子MATSUDA Makiko , 小津　誠一　Kozu　Seiichi 地域連携推進センター2階　2F, Center for Regional Collaboration ※7月26日のみ総合教育講義棟3階B10講義室　Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall on July 26.		
			日本史 Japanese History 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟3階　B7講義室 Rm. # B7, 3F General Education Lecture Hall	現代日本の文化と社会（第1Qのみ） An Introduction to the Modern Japanese Culture and Society ※1Q　only 轟　亮,　鏡味　治也　ほか Todoroki　Makoto　KAGAMI Haruya, et al. 人間社会第1講義棟201講義室 Rm. #201, Human and Social Science Lecture Hall 1【未確定】	
			国際政治史（東洋）A History of International Politics (Oriental) フォックス　セナン　FOX SENAN JAMES 総合教育講義棟3階B5講義室 Rm. #B5, 3F General Education Hall【未確定】		
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	伝統工芸と職人の技　Traditional Arts & Crafts and their Techniques ビットマン ハイコ　BITTMANN Heiko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			石川の生物文化多様性　Bio-cultural Diversity of Ishikawa ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟3階B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			国際関係論　International Relations 中野　涼子 NAKANO Ryoko 教室未定	異文化間ディベート：社会問題　Intercultural Debates: On Controversial Social Issues 伊藤　大将　ITŌ Daisuke 総合教育講義棟5階D2講義室 Rm.#D2, 5F General Education Lecture Hall	
			日本の人口学　Population Geography of Japan 神谷　浩夫　KAMIYA Hiroo 教室未定	主要な国際問題と課題 Major Global Issues and Challenges フォックス　セナン　FOX SENAN JAMES 総合教育2号館5階D15演習室 Rm. #D15, 5F General Education Hall 2 【未確定】	
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化Ⅱ　Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週　Biweekly		武道・杖道Ⅰ　Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Dance Place , Gymnasium
		日本語学概説A Introduction　to Japanese Linguistics A 高山　知明　TAKAYAMA Tomoaki 教室未定	食の社会学 Sociology of Food and Eating伊藤　大将 ITŌ Daisuke総合教育講義棟4階C4講義室Rm. #C4, 4F General Education Lecture Hall	武道・杖道Ⅱ Budō-Jōdō Ⅱ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Gymnasium Dance Place	

「第XX期：秋学期(2017.10-2018.3)」KUSEPプログラム授業時間割表　＜2017.10 ～ 2018.3 KUSEP Timetable＞

日本語 Japanese classes　／　選択科目 Elective Courses　／　日本文化・社会学習 Studies of Japanese Culture and Society

	１時限 （８：４５－１０：４５）	２時限 （１０：３０－１２：００）	３時限 （１３：００－１４：３０）	４時限 （１４：４５－１６：１５）	５時限 （１６：３０－１８：００）
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	武道・少林寺拳法 Budō -Shōrinji-Kenpō ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida 体育館2階ダンス場 Dance Place, 2F Gymnasium	コミュニケーションビジネス Communication Business 堤　敦朗 TSUTSUMI Atsuro, 鈴木　心 SUZUKI Shin 自然科学本館1F レクチャーホール #Lecture Hall, 1F Natural Science and Technology Main Hall ★隔週 Biweekly	
		日本語学概論B1（第3Qのみ）Japanese Language Structure B1 ※3Q only 加藤　和夫 KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	日本の介護福祉におけるコミュニケーション Nursing Care for Elderly People in Japan 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		日本語学概論B2（第4Qのみ）Japanese Language Structure B1 ※4Q only 加藤　和夫 KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	禅と日本文化 Zen and Japanese Culture ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		文学概論 Introduction to Literature 粕谷　雄一 KASUYA Yuichi 人間社会第1講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1	比較政治学 Comparative Politics ビートン アンドリュー Andrew Beaton 人間社会第1講義棟3階306講義室 Rm. #306, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1		
		イギリス地域文化論 British Regional Studies 山本　卓 YAMAMOTO Taku 人間社会第1講義棟3階313講義室 Rm. #313, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	現代中国論E Contemporary Chinese Culture E 古泉　達矢 KOIZUMI Tatsuya 総合教育講義棟5階D2講義室 Rm. #D2, 5F General Education Lecture Hall		
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	持続可能性と福祉 Sustainability and Well-being ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟3階B9講義室 Rm. #B9, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			茶道を通じて学ぶ日本文化 Japanese Culture through the Way of Tea 深川　美帆 FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		武道・空手道 Ⅰ Budō-Karatedō Ⅰ ビットマン　ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place
			ポピュラーカルチャーの文化表象（第3Qのみ）Cultural Representations in Popular Culture ※3Q only 大藪　加奈 OYABU Kana 総合教育講義棟4階C14講義室 Rm. #C14, 4F General Education Lecture Hall	日本の歴史からみた暦と時間 Calendar and Time in the Japanese History 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm.#A2, 2F General Education Lecture Hall	アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界 African Origin People's Music and Modern World 粕谷　雄一 KASUYA Yuichi 総合教育講義棟5階D4講義室Rm. #D4, 5F General Education Lecture Hall
			翻訳児童文学（第4Qのみ）Translated Children's Literature ※4Q only 大藪　加奈 OYABU Kana 総合教育講義棟4階C14講義室 Rm. #C14, 4F General Education Lecture Hall	日本社会文化調査実習 Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society 峯　正志 MINE Masashi 総合教育講義棟3階B7講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall	
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の教育 Education in Japan 斉木 麻利子　SAIKI Mariko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		フランス語を学ぼう Learning French 粕谷　雄一 KASUYA Yuichi 人間社会第2講義棟3階308講義室 Rm. #308, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2
	地球環境論E Global Environment and Its Dynamics E 塚脇　真二　TSUKAWAKI Shinji 総合教育棟2号館6階 E10講義室 Rm. #E10, 6F General Education Hall 2		日本史 Japanese History 山本　洋 YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟3階　B7講義室 Rm. # B7, 3F General Education Lecture Hall	ジェンダーと社会：実践編 Gender and Society: A Practicum 伊藤　大将　ITŌ Daisuke 総合教育講義棟3階B2講義室　Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall	
				国際関係論E International Relations E 中野　涼子 NAKANO Ryoko 人間社会第2講義棟2階201講義室 Rm. #201, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2	
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	大樋焼～土と炎～　Ōhi Pottery: Clay and Fire ビットマン ハイコ　BITTMANN Heiko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			石川の生物文化多様性　Bio-cultural Diversity of Ishikawa ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟3階B12講義室 Rm. #B12, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		米英環境思想論E American/British Environmental Thought E 結城　正美 YUKI Masami 人間社会第2講義棟3階309講義室 Rm. #309, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	日本政治・外交論 Japanese Politics & Diplomacy ビートン アンドリュー Andrew Beaton 人間社会第1講義棟3階302講義室 Rm. #302, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	主要な国際問題と課題 Major Global Issues and Challenges フォックス　セナン　FOX SENAN JAMES 総合教育講義棟5階D12講義室 Rm. #D12, 5F General Education Lecture Hall	
				日本語の語彙・意味1（第3Qのみ） Vocabulary and Meaning of Japanese 1 ※3Q only 加藤　和夫 KATOH Kazuo 人間社会第1講義棟3階305講義室 Rm. #305, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
				日本語の語彙・意味2（第4Qのみ） Vocabulary and Meaning of Japanese 2 ※4Q only 加藤　和夫 KATOH Kazuo 人間社会第1講義棟3階305講義室 Rm. #305, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
金 FRI.	日本語　Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化Ⅰ Japanese Society and Traditional Culture Ⅰ 山本 洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週　Biweekly		武道・杖道Ⅰ　Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Dance Place , Gymnasium
	日本語学講義B Lecture on Japanese Linguistics B 高山　知明　TAKAYAMA Tomoaki 人間社会第1講義棟3階313講義室 Rm. #313, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1		日本語と社会 Japanese Language and Society 伊藤　大将 ITŌ Daisuke 総合教育講義棟4階C4講義室Rm. #C4, 4F General Education Lecture Hall		
			日本の法と社会 Law and Society in Japan 東川　浩二 HIGASHIKAWA Koji 人間社会第1講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1		

「第XX期：春学期(2018.4-2018.9)」KUSEPプログラム授業時間割表　＜2018.4 ～ 2018.9 KUSEP Timetable＞

日本語 Japanese classes　／　選択科目 Elective Courses　／　日本文化・社会学習 Studies of Japanese Culture and Society

	1時限（8：45－10：45）	2時限（10：30－12：00）	3時限（13：00－14：30）	4時限（14：45－16：15）	5時限（16：30－18：00）
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の家庭 Family in Japan 斉木 麻利子 SAIKI Mariko , 尾島 恭子 OJIMA, Kyoko 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		ヨーロッパ生活論E Lecture on European Life Culture E ラントハーゲ ザビーネ RANDHAGE Sabine 人間社会第1講義棟2階 206講義室 Rm. #206, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1
			サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心 The "Omotenashi" Spirit in the Service Industry of Japan 小島 荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟4階C9講義室 Rm. #C9, 4F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			禅と日本文化 Zen and Japanese Culture ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
				香りと日本文化（第2Qのみ）Incense in Japanese Culture ※Q2 only 堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro, 西際 重曥 NISHIGIWA Joyo 総合教育講義棟3階B2講義室 Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly	
			音声学1（第1Q）Phonetics 1 ※Q1 音声学2（第2Q）Phonetics 2 ※Q2 加藤 和夫 KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階 301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	社会言語学1（第1Q） Sociolinguistics 1 ※Q1 社会言語学2（第2Q） Sociolinguistics 2 ※Q2 加藤 和夫 KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟2階 209講義室 Rm. #209, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2	
				日本法ニュースプロジェクト Japan Law News Project 東川 浩二 HIGASHIKAWA Koji 人間社会2号館第2実習室 Human and Social Science Lecture Hall 2	
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	持続可能性と福祉 Sustainability and Well-being ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida 1Q: 総合教育講義棟3階B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall 2Q: 総合教育講義棟3階B5講義室 Rm. #B5, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			現代アートとデザイン Contemporary Art and Design 松田 真希子 MATSUDA Makiko 、堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro 地域連携推進センター2階 2F, Center for Regional Collaboration ★隔週 Biweekly		武道・空手道 Ⅰ Budō-Karatedō Ⅰ 武道・空手道 Ⅱ Budō-Karatedō Ⅱ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place
		日本語学概論A1（第1Q） Japanese Language Structure A1 ※Q1 日本語学概論A2（第2Q） Japanese Language Structure A2 ※Q2 加藤 和夫 KATOH, Kazuo 人間社会第2講義棟2階 202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		日本の歴史からみた暦と時間 Calendar and Time in the Japanese History 小島 荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	
				日本社会文化調査実習 Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society 峯 正志 MINE Masashi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の伝統芸能 Japanese Traditional Performing Arts and Music 深川 美帆 FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟2階 A3講義室 Rm. # A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			日本と金沢の建築・都市。これまでとこれから（第2Qのみ）Architecture and the City in Japan: from the Past to the Future ※Q2 only 松田 真希子MATSUDA Makiko , 小津 誠一 Kozu Seiichi 地域連携推進センター2階 2F, Center for Regional Collaboration ※7月25日のみ総合教育講義棟6階E10講義室 Rm. #E10, 6F General Education Lecture Hall on July 25. ★隔週 Biweekly		
			日本史 Japanese History 山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階 A2講義室 Rm. # A2, 2F General Education Lecture Hall	現代日本の文化と社会（第1Qのみ） An Introduction to the Modern Japanese Culture and Society ※Q1 only 轟 亮 Todoroki Makoto 人間社会第1講義棟3階 302講義室 Rm. #302, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
			国際政治史（東洋）A History of International Politics (Oriental) フォックス セナン FOX SENAN JAMES 人間社会第2講義棟2階 209講義室 Rm. #209, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		
			エンターテインメントの英語（第2Qのみ） Entertainment English ※Q2 only 堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro 総合教育講義棟3階 B15講義室 Rm. # B15, 3F General Education Lecture Hall		
			異文化間ディベート：社会問題 Intercultural Debates: On Controversial Social Issues 伊藤 大将 ITŌ Daisuke 総合教育講義棟6階E1講義室 Rm.#E1, 6F General Education Lecture Hall		
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	伝統工芸と職人の技 Traditional Arts & Crafts and their Techniques ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			ユネスコジオパークとエコパーク UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟3階B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			国際関係論 International Relations 中野 涼子 NAKANO Ryoko 総合教育講義棟5階D10講義室 Rm. #D10, 5F General Education Lecture Hall	主要な国際問題と課題1（第1Q） Major Global Issues and Challenges 1 ※Q1 主要な国際問題と課題2（第2Q） Major Global Issues and Challenges 2 ※Q2 フォックス セナン FOX SENAN JAMES 人間社会第1講義棟3階 304講義室 Rm. #304, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	日本語の歴史 History of Japanese Language 高山 知明 TAKAYAMA Tomoaki 人間社会第1講義棟3階 301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化Ⅱ Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ 山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		武道・杖道 Ⅰ Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Dance Place , Gymnasium
		日本語学概説B Introduction to Japanese Linguistics B 高山 知明 TAKAYAMA Tomoaki 人間社会第1講義棟2階 202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1	食の社会学 Sociology of Food and Eating 伊藤 大将 ITŌ Daisuke 総合教育講義棟4階C4講義室 Rm. #C4, 4F General Education Lecture Hall	武道・杖道 Ⅱ Budō-Jōdō Ⅱ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place	
	アートセラピーを通した自己分析1（第1Qのみ） Self-analysis with Art Therapy 1 ※Q1 only 堤 敦朗 TSUTSUMI Atsuro 総合教育講義棟3階B2講義室 Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly				

シラバス検索方法　Web syllabus
アカンサスポータル> 学務情報サービス> 履修・成績情報> シラバス検索
ACANTHUS PORTAL> Student Information Service> Course grades> Syllabi

※講義室の場所は留学生教育部で確認できます。
The information on classroom for each course is available at the International Student Center.

「第XXI期：秋学期(2018.10-2019.3)」KUSEPプログラム授業時間割表　＜2018.10 ～ 2019.3 KUSEP Timetable＞

日本語 Japanese classes　　選択科目 Elective Courses　　日本文化・社会学習 Studies of Japanese Culture and Society

	1時限 （8：45―10：15）	2時限 （10：30―12：00）	3時限 （13：00―14：30）	4時限 （14：45―16：15）	5時限 （16：30―18：00）
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の介護福祉におけるコミュニケーション Nursing Care for Elderly People in Japan 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		日本語学概論B1（第3Qのみ）Japanese Language Structure B1 ※3Q　only 加藤　和夫　KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	禅と日本文化　Zen and Japanese Culture ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		日本語学概論B2（第4Qのみ）Japanese Language Structure B2 ※4Q　only 加藤　和夫　KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	比較政治学 Comparative Politics ビートン アンドリュー Andrew Beaton 人間社会第1講義棟3階303講義室 Rm. #303, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	コミュニケーションビジネス　Communication Business 松田 真希子 MATSUDA Makiko, 鈴木　心 SUZUKI Shin 総合教育講義棟2階A5講義室 Rm. #A5, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly	
		イギリス地域文化論 British Regional Studies 山本 卓 YAMAMOTO Taku 人間社会第2講義棟3階309講義室 Rm. #309, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2			
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	茶道を通して学ぶ日本文化 Japanese Culture through the Way of Tea 深川 美帆　FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟2階A3講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		武道・空手道 Ⅰ　Budō-Karatedō Ⅰ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Gymnasium Dance Place
				芸術としての料理と写真（第3Qのみ）Food and Photography in Art　※3Q　only 堤　敦朗 TSUTSUMI Atsuro 総合教育講義棟3階B2講義室 Rm. #B2, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly	
				日本の歴史からみた暦と時間 Calendar and Time　in the Japanese History 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm.#A2, 2F General Education Lecture Hall	アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界 African Origin People's Music and Modern World 粕谷　雄一 KASUYA Yuichi 総合教育講義棟5階D4講義室Rm. #D4, 5F General Education Lecture Hall
		国際関係論1E（第3Qのみ） International Relations 1E ※3Q　only 中野　涼子 Nakano Ryoko 人間社会第2講義棟2階207講義室 Rm. #207, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		日本社会文化調査実習　Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society 峯　正志　MINE Masashi 総合教育講義棟3階B7講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall	米英環境思想論E American/British Environmental Thought E 結城　正美 YUKI Masami 人間社会第2講義棟3階309講義室 Rm. #309, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2
		国際関係論2E（第4Qのみ） International Relations 2E ※4Q　only 中野　涼子 Nakano Ryoko 人間社会第2講義棟2階207講義室 Rm. #207, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		比較民族誌（第3Qのみ） Comparative Ethnographies ※3Q　only 西本　陽一 NISHIMOTO Yoichi 人間社会第1講義棟2階203講義室 Rm. #203, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の教育 Education in Japan 斉木 麻利子　SAIKI Mariko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		フランス語を学ぼう Learning French 粕谷　雄一 KASUYA Yuichi 人間社会第2講義棟3階308講義室 Rm. #308, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2
			アートセラピーを通した自己分析2（第3Qのみ） Self-analysis with Art Therapy 2　※3Q　only 堤　敦朗 TSUTSUMI Atsuro 総合教育講義棟4階C4講義室 Rm. #C4, 4F General Education Lecture Hall ★隔週　Biweekly		現代中国論E Contemporary Chinese Culture E 古泉　達矢 KOIZUMI Tatsuya 人間社会第2講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2
	地球環境論E Global Environment and Its Dynamics E 塚脇　真二　TSUKAWAKI Shinji 総合教育棟2号館6階 E10講義室 Rm. #E10, 6F General Education Hall 2		日本史 Japanese History 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階　A3講義室 Rm. # A3, 2F General Education Lecture Hall	日本の法と社会 Law and Society in Japan 東川　浩二 HIGASHIKAWA Koji 人間社会第1講義棟2階201講義室 Rm. #201, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	大樋焼～土と炎～　Ōhi Pottery: Clay and Fire ビットマン ハイコ　BITTMANN Heiko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			ユネスコジオパークとエコパーク　UNESCO Geo-Parks and Biosphere Reserves ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟3階B11講義室 Rm. #B11, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			日本政治・外交論 Japanese Politics & Diplomacy ビートン アンドリュー Andrew Beaton 人間社会第1講義棟3階302講義室 Rm. #302, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	日本語の語彙・意味1（第3Qのみ） Vocabulary and Meaning of Japanese 1 ※3Q　only 加藤　和夫 KATOH Kazuo 人間社会第1講義棟3階303講義室 Rm. #303, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
				日本語の語彙・意味2（第4Qのみ） Vocabulary and Meaning of Japanese 2 ※4Q　only 加藤　和夫 KATOH Kazuo 人間社会第1講義棟3階303講義室 Rm. #303, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化Ⅰ Japanese Society and Traditional Culture Ⅰ 山本 洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週　Biweekly		武道・杖道Ⅰ　Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Gymnasium Dance Place

シラバス検索方法　Web syllabus
アカンサスポータル> 学務情報サービス> 履修・成績情報> シラバス検索
ACANTHUS PORTAL> Student Information Service> Course grades> Syllabi

「第XXI期：春学期(2019.4-2019.9)」KUSEPプログラム授業時間割表　＜2019.4 ～ 2019.8 KUSEP Timetable＞

日本語 Japanese classes　／　選択科目 Elective Courses　／　日本文化・社会学習 Studies of Japanese Culture and Society

	1時限 （8：45－10：15）	2時限 （10：30－12：00）	3時限 （13：00－14：30）	4時限 （14：45－16：15）	5時限 （16：30－18：00）
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の家庭 (2 credits) Family in Japan 斉木 麻利子　SAIKI Mariko , 尾島　恭子 OJIMA, Kyoko 総合教育講義棟2階A3講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		ヨーロッパ生活論 1E（1 credit）(第1Qのみ) Introduction to European Life 1E ※Q1 only ヨーロッパ生活論 2E (1 credit)（第2Qのみ） Introduction to European Life 2E ※Q2 only テーレン・ティモ　THELEN, Timo 人間社会第1講義棟2階 206講義室 Rm. #206, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1
			サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心 (2 credits) The "Omotenashi" Spirit in the Service Industry of Japan 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟4階C9講義室　Rm. #C9, 4F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		社会言語学1 (1 credit)（第1Qのみ） Sociolinguistics 1 ※Q1 only 社会言語学2 (1 credit)（第2Qのみ） Sociolinguistics 2 ※Q2 only 加藤　和夫　KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階　301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2
			禅と日本文化 (2 credits) Zen and Japanese Culture ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		国際社会論特論E (2 credit) Special Lecture on International Society E 鹿島　正裕 KASHIMA Masahiro 人間社会第2講義棟3階　301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2		香りと日本文化 (1 credit)（第2Qのみ） Incense in Japanese Culture ※Q2 only 堤　敦朗 TSUTSUMI Atsuro, 西際　重譽 NISHIGIWA Joyo 総合教育講義棟5階D3講義室 Rm. #D3, 5F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly	
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	現代アートとデザイン (2 credits) Contemporary Art and Design 松田 真希子 MATSUDA Makiko , 堤　敦朗　TSUTSUMI　Atsuro 総合教育講義棟2階　A5講義室 Rm. # A5, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		武道・空手道 Ⅰ (2 credits) Budō-Karatedō Ⅰ 武道・空手道 Ⅱ (2 credits) Budō-Karatedō Ⅱ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Gymnasium Dance Place
				日本の歴史からみた暦と時間 (2 credits) Calendar and Time in the Japanese History 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	
		日本語学概論A1（1 credit）（第1Qのみ） Japanese Language Structure A1 ※Q1 only 日本語学概論B1（1 credit）（第2Qのみ） Japanese Language Structure B1 ※Q2 only 加藤　和夫　KATOH, Kazuo 人間社会第2講義棟2階　202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		日本社会文化調査実習 (2 credits) Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society 峯　正志　MINE Masashi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	
		①* 国際関係論 (2 credits)（第1Qのみ） International Relations ※Q1 only 中野　涼子 NAKANO Ryoko 人間社会第2講義棟2階　209講義室 Rm. #209, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		文化人類学演習A　(1 credit)（第1Qのみ） Seminar on Cultural Anthropology A ※Q1 only 西本　陽一　NISHIMOTO Yoichi 人間社会第1講義棟3階　306講義室 Rm. #306, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の伝統芸能 (2 credits) Japanese Traditional Performing Arts and Music 深川 美帆　FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟2階　A3講義室 Rm. # A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから (1 credit)（第2Qのみ） Architecture and the City in Japan: from the Past to the Future　※Q2 only 松田 真希子MATSUDA Makiko , 小津　誠一　Kozu　Seiichi 総合教育講義棟2階　A5講義室 Rm. # A5, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			アートセラピーを通した自己分析 (1 credit)（第2Qのみ） Self-analysis with Art Therapy　※Q2 only 堤　敦朗 TSUTSUMI Atsuro 総合教育講義棟3階B4講義室 Rm. #B4, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			日本史 (2 credits) Japanese History 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階　A2講義室 Rm. # A2, 2F General Education Lecture Hall	現代日本の文化と社会　(1 credit)（第1Qのみ） An Introduction to the Modern Japanese Culture and Society ※Q1　only 轟　亮　Todoroki　Makoto 人間社会第1講義棟1階　102講義室 Rm. #102, 1F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
	①* 特講(法論理学入門) (2 credits)(第1Qのみ) Special Lecture (Introduction to Logic for Law Students) ※Q1 only 足立　英彦　ADACHI, Hidehiko 人間社会第1講義棟2階　203講義室 Rm. #203, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1		国際政治史（東洋）(2 credits) A History of International Politics (Oriental) フォックス　セナン　FOX SENAN JAMES 人間社会第2講義棟2階　209講義室 Rm. #209, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	伝統工芸と職人の技 (2 credits) Traditional Arts & Crafts and their Techniques ビットマン ハイコ　BITTMANN Heiko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			ユネスコジオパークとエコパーク (2 credits) UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves ママードゥア　アイーダ　MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟3階B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
				日本法ニュースプロジェクト (2 credits) Japan Law News Project 東川浩二　HIGASHIKAWA Koji 人間社会2号館第2実習室 Human and Social Science Lecture Hall 2	
				主要な国際問題と課題1E (1 credit)（第1Qのみ） Major Global Issues and Challenges 1E ※Q1 only 主要な国際問題と課題2E (1 credit)（第2Qのみ） Major Global Issues and Challenges 2E ※Q2 only フォックス　セナン　FOX SENAN JAMES 人間社会第1講義棟3階 310講義室 Rm. #310, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese		武道・杖道 Ⅱ (2credits) Budō-Jōdō Ⅱ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Gymnasium Dance Place	武道・杖道 Ⅰ (2 credits) Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン　ハイコ　BITTMANN Heiko 体育館ダンス場　Dance Place , Gymnasium
		②* 国際関係論(第1Qのみ) International Relations ※Q1 only 中野　涼子 NAKANO Ryoko 人間社会第2講義棟2階　209講義室 Rm. #209, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2	日本の社会と伝統文化 Ⅱ (2 credits) Japanese Society and Traditional Culture Ⅱ 山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週　Biweekly		
		日本語学概論A2 (1 credit)(第1Qのみ) Japanese Language Structure A2 ※Q1 only 日本語学概論B2 (1 credit)(第2Qのみ) Japanese Language Structure B2 ※Q2 only 加藤　和夫　KATOH, Kazuo 人間社会第2講義棟2階　202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2			
	②* 特講(法論理学入門)(第1Qのみ) Special Lecture (Introduction to Logic for Law Students) ※Q1 only 足立　英彦　ADACHI, Hidehiko 人間社会第1講義棟2階　203講義室 Rm. #203, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1	日本語学概説A (2 credits) Introduction to Japanese Linguistics A 髙山　知明　TAKAYAMA Tomoaki 人間社会第1講義棟2階 201講義室 Rm. #201, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1			

*①と②は必ず両方履修してください。
*① and ② are required set.

シラバス検索方法　Web syllabus
アカンサスポータル> 学務情報サービス> 履修・成績情報> シラバス検索
ACANTHUS PORTAL> Student Information Service> Course grades> Syllabi

「第XXII期：秋学期(2019.10-2020.3)」KUSEPプログラム授業時間割表　＜2019.10 ～ 2020.3 KUSEP Timetable＞

日本語 Japanese classes　　選択科目 Elective Courses　　日本文化・社会学習 Studies of Japanese Culture and Society

	1時限 （8：45－10：15）	2時限 （10：30－12：00）	3時限 （13：00－14：30）	4時限 （14：45－16：15）	5時限 （16：30－18：00）
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の介護福祉におけるコミュニケーション Nursing Care for Elderly People in Japan (2 credits) 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		音声学1（第3Q）Phonetics 1 ※Q3 (1 credit) 音声学2（第4Q）Phonetics 2 ※Q4 (1 credit) 加藤　和夫 KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階 301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	禅と日本文化（第3Qのみ） Zen and Japanese Culture ※Q3 only (1 credit) ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		イギリス地域文化論 British Regional Studies (2 credits) 山本 卓 YAMAMOTO Taku 人間社会第2講義棟3階309講義室 Rm. #309, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2		①* 米英環境思想論E（第3Qのみ） American/British Environmental Thought E ※Q3 only (2 credits) 結城　正美 YUKI Masami 人間社会第2講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2	
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	茶道を通して学ぶ日本文化 Japanese Culture through the Way of Tea (2 credits) 深川 美帆　FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟2階A3講義室　Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		武道・空手道 Ⅰ Budo-Karatedo Ⅰ (2 credits) ビットマン　ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place
		①* 法理学 Jurisprudence (4 credits) 足立　英彦 ADACHI, Hidehiko 人間社会第1講義棟3階 302講義室 Rm. #302, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1		日本の歴史からみた暦と時間 Calendar and Time in the Japanese History (2 credits) 小島　荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm.#A2, 2F General Education Lecture Hall	アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界 African Origin People's Music and Modern World (2 credits) 粕谷　雄一 KASUYA Yuichi 総合教育講義棟5階D4講義室Rm. #D4, 5F General Education Lecture Hall
		①*国際関係論E （第3Qのみ） International Relations E ※3Q only (2 credits) 中野　涼子 Nakano Ryoko 人間社会第2講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		日本社会文化調査実習 Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society (2 credits) 峯　正志 MINE Masashi 総合教育講義棟3階B7講義室 Rm. #B7, 3F General Education Lecture Hall	
		日本研究特論1E（第3Q）Special Lecture of Japanology 1E ※3Q (1 credits) 日本研究特論2E（第4Q）Special Lecture of Japanology 2E ※4Q (1 credits) ティモシー バンス 人間社会第2講義棟3階303講義室 Rm. #303, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2			
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の教育 Education in Japan (2 credits) 斉木 麻利子　SAIKI Mariko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
	地球環境論E Global Environment and Its Dynamics E (2 credits) 塚脇　真二　TSUKAWAKI Shinji 総合教育棟2号館6階 E10講義室 Rm. #E10, 6F General Education Hall 2		日本史 Japanese History (2 credits) 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階　A3講義室 Rm. # A3, 2F General Education Lecture Hall	日本の法と社会 Law and Society in Japan (2 credits) 東川　浩二 HIGASHIKAWA Koji 人間社会第1講義棟2階204講義室 Rm. #204, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1	現代中国論E Contemporary Chinese Culture E (2 credits) 古泉　達矢 KOIZUMI Tatsuya 人間社会第2講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	大樋焼～土と炎～ Ōhi Pottery: Clay and Fire (2 credits) ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 総合教育講義棟2階A2講義室　Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			ユネスコジオパークとエコパーク(第3Qのみ) UNESCO Geo-Parks and Biosphere Reserves ※Q3 only (1 credit) ママードゥア　アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟3階B11講義室 Rm. #B11, 3F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
				②* 法理学 Jurisprudence (4 credits) 足立　英彦 ADACHI, Hidehiko 人間社会第1講義棟3階 302講義室 Rm. #302, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
				主要な国際問題と課題1E（第3Q） Major Global Issues and Challenges 1E ※Q3 (1 credits) 主要な国際問題と課題2E（第4Q） Major Global Issues and Challenges 2E ※Q4 (1 credits) フォックス　セナン FOX SENAN JAMES 人間社会第1講義棟5階502講義室 Rm. #502, 5F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
				②* 米英環境思想論E（第3Qのみ） American/British Environmental Thought E ※Q3 only (2 credits) 結城　正美 YUKI Masami 人間社会第2講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2	
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の社会と伝統文化 Ⅰ Japanese Society and Traditional Culture Ⅰ (2 credits) 山本　洋　YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall ★隔週　Biweekly		武道・杖道 Ⅰ　Budo-Jodo Ⅰ (2 credits) ビットマン　ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place
	フランス語を学ぼう Learning French (2 credits) 粕谷　雄一 KASUYA Yuichi 人間社会第2講義棟3階308講義室 Rm. #308, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	②*国際関係論E（第3Qのみ） International Relations E ※3Q only (2 credits) 中野　涼子 Nakano Ryoko 人間社会第2講義棟2階202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2			
	日本語史B1（第3Q）History of Japanese Language B1 ※Q3 (1 credit) 日本語史B2（第4Q）History of Japanese Language B2 ※Q4 (1 credit) 高山　知明 TAKAYAMA Tomoaki 人間社会第1講義棟3階 302講義室 Rm. #302, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1				
	日本文化E（第4Qのみ） Japanese Culture E ※Q4 only (1 credit) オムニバス形式 Omnibus form 総合教育講義棟3階B10講義室 Rm. #B10, 3F General Education Lecture Hall				

*①と②は必ず両方履修してください。
*① and ② are required set.

シラバス検索方法　Web syllabus
アカンサスポータル> 学務情報サービス> 履修・成績情報> シラバス検索　ACANTHUS PORTAL> Student Information Service> Course grades> Syllabi

「第XXII期：春学期(2020.4-2020.9)」KUSEPプログラム授業時間割表 ＜2020.4 ～ 2020.9 KUSEP Timetable＞

日本語 Japanese classes　　選択科目 Elective Courses　　日本文化・社会学習 Studies of Japanese Culture and Society

	1時限 (8：45－10：15)	2時限 (10：30－12：00)	3時限 (13：00－14：30)	4時限 (14：45－16：15)	5時限 (16：30－18：00)
月 MON.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の家庭 (2 credits)(第1Qのみ) Family in Japan ※Q1 Only 斉木 麻利子 SAIKI Mariko , 尾島 恭子 OJIMA, Kyoko 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall		ヨーロッパ生活論 1E (1 credit)(第1Qのみ) Introduction to European Life 1E ※Q1 only ヨーロッパ生活論 2E (1 credit)(第2Qのみ) Introduction to European Life 2E ※Q2 only テーレン・ティモ THELEN, Timo 人間社会第1講義棟2階 206講義室 Rm. #206, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1
			サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心 (1 credit)(第2Qのみ) The "Omotenashi" Spirit in the Service Industry of Japan ※Q2 Only 小島 荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟4階C9講義室 Rm. #C9, 4F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		社会言語学1 (1 credit)(第1Qのみ) Sociolinguistics 1 ※Q1 only 社会言語学2 (1 credit)(第2Qのみ) Sociolinguistics 1 ※Q2 only 加藤 和夫 KATOH Kazuo 人間社会第2講義棟3階 309講義室 Rm. #309, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 2	禅と日本文化 (1 credit)(第2Qのみ) Zen and Japanese Culture ※Q2 Only ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		国際関係論 (2 credits) (第1Qのみ) International Relations ※Q1 only 中野 涼子 NAKANO Ryoko 人間社会第2講義棟2階 209講義室 Rm. #209, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		香りと日本文化 (1 credit)(第2Qのみ) Incense in Japanese Culture ※Q2 only 山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi, 西際 重曇 NISHIGIWA Joyo 総合教育講義棟5階D3講義室 Rm. #D3, 5F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly	
火 TUE.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	現代アートとデザイン (1 credit) (第2Qのみ) Contemporary Art and Design ＊Q2 Only 松田 真希子 MATSUDA Makiko 総合教育講義棟2階 A5講義室 Rm. # A5, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		武道・空手道 Ⅰ (2 credits) Budō-Karatedō Ⅰ 武道・空手道 Ⅱ (2 credits) Budō-Karatedō Ⅱ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place
		①＊日本語学概論A (2 credit) (第1Qのみ) Japanese Language Structure A ※Q1 only 大江 元貴 Oe Motoki 人間社会第2講義棟2階 201講義室 Rm. #201, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		日本の歴史からみた暦と時間 (1 credit)(第2Qのみ) Calendar and Time in the Japanese History ＊Q2 Only 小島 荘一 KOJIMA Soichi 総合教育講義棟2階A4講義室 Rm.#A4, 2F General Education Lecture Hall	
		①＊日本語学概論B (2 credit) (第2Qのみ) Japanese Language Structure A ※Q2 only 大江 元貴 Oe Motoki 人間社会第2講義棟2階 202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2		日本社会文化調査実習 (2 credits) Survey and Training Seminar on Japanese Culture and Society 峯 正志 MINE Masashi 総合教育講義棟2階A3講義室 Rm. #A3, 2F General Education Lecture Hall	
水 WED.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	日本の伝統芸能2 (1 credit)(第2Qのみ) Japanese Traditional Performing Arts and Music ※Q2 only 深川 美帆 FUKAGAWA Miho 総合教育講義棟2階 A3講義室 Rm. # A3, 2F General Education Lecture Hall		
			日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから (1 credit) (第2Qのみ) Architecture and the City in Japan: from the Past to the Future ※Q2 only 松田 真希子MATSUDA Makiko , 林野 紀子 総合教育講義棟2階 A5講義室 Rm. # A5, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			国際政治史（東洋）(2 credits) A History of International Politics (Oriental) フォックス セナン FOX SENAN JAMES 人間社会第2講義棟2階 209講義室 Rm. #209, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2	現代日本の文化と社会 (1 credit)(第1Qのみ) An Introduction to the Modern Japanese Culture and Society ※Q1 only 轟 亮 Todoroki Makoto 人間社会第1講義棟1階 102講義室 Rm. #102, 1F, Human and Social Science Lecture Hall 1	
木 THU.	日本語 Japanese	日本語 Japanese	伝統工芸と職人の技 (2 credits) Traditional Arts & Crafts and their Techniques ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 総合教育講義棟2階A2講義室 Rm. #A2, 2F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
			ユネスコジオパークとエコパーク (1 credit)(第2Qのみ) UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves ※Q2 Only ママードゥア アイーダ MAMMADOVA Aida 総合教育講義棟5階D4講義室 Rm. #D4, 5F General Education Lecture Hall ★隔週 Biweekly		
		日本政治・外交論1E(1 credit)(第1Qのみ) Japanese Politics and Diplomacy 1E ※Q1 only 日本政治・外交論2E (1 credit)(第2Qのみ) Japanese Politics and Diplomacy 2E ※Q2 only 鹿島 正裕 KASHIMA, Masahiro 人間社会第1講義棟 301講義室 Rm. #301, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1		主要な国際問題と課題1E (1 credit)(第1Qのみ) Major Global Issues and Challenges 1E ※Q1 only 主要な国際問題と課題2E (1 credit)(第2Qのみ) Major Global Issues and Challenges 2E ※Q2 only フォックス セナン FOX SENAN JAMES 人間社会第1講義棟3階 310講義室 Rm. #310, 3F, Human and Social Science Lecture Hall 1	日本史 (2 credits) Japanese History 山本 洋 YAMAMOTO Hiroshi 総合教育講義棟3階 B6講義室 Rm. # B6, 3F General Education Lecture Hall
金 FRI.	日本語 Japanese	日本語 Japanese		武道・杖道Ⅱ (2credits) Budō-Jōdō Ⅱ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Gymnasium Dance Place	武道・杖道Ⅰ (2 credits) Budō-Jōdō Ⅰ ビットマン ハイコ BITTMANN Heiko 体育館ダンス場 Dance Place , Gymnasium
		②＊日本語学概論A (第1Qのみ) Japanese Language Structure A ※Q1 only 大江 元貴 Oe Motoki 人間社会第2講義棟2階 201講義室 Rm. #201, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2			
		②＊日本語学概論B (第2Qのみ) Japanese Language Structure A ※Q2 only 大江 元貴 Oe Motoki 人間社会第2講義棟2階 202講義室 Rm. #202, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 2			
		日本語学概説B (2 credits) Introduction to Japanese Linguistics B 高山 知明 TAKAYAMA Tomoaki 人間社会第1講義棟2階 203講義室 Rm. #203, 2F, Human and Social Science Lecture Hall 1			

＊①と②は必ず両方履修してください。
＊① and ② are required set.

シラバス検索方法 Web syllabus
アカンサスポータル> 学務情報サービス> 履修・成績情報> シラバス検索
ACANTHUS PORTAL> Student Information Service> Course grades> Syllabi

資料５－１

Calendar (Tentative)

	Dates	① 8:45-10:15	② 10:30-12:00	③ 1:00-2:30	④ 2:45-4:15
Term 1 (2 weeks)	2017/9/11 (M) - 2017/9/22 (F)*	Intensive Japanese		Cultural Experiences and Related Lectures****	

* 9/18 (Mon) is national holiday in Japan; thus there will be no class.
** Students will spend approximately 12 hours in total for cultural experiences and related lectures during this term.
Some cultural programs/lectures may use only ③, while others may use both ③ and ④

Orientation	2017/9/25 (M) - 2017/9/29 (F)	Semester Program Orientation (1 week)

Term 2 (9 weeks)	2017/10/2 (M) - 2017/12/1 (F)	Students will take classes with other international and Japanese students. A minimum of 10 credits (10 classes - 90min per class) is required

		① 8:45-10:15	② 10:30-12:00	③ 1:00-2:30	④ 2:45-4:15
Term 3 (2 weeks)	2017/12/4 (M) - 2017/12/15 (F)	Independent Research***		Cultural Experiences and Related Lectures****	

*** Independent research starts on xx/xx (X) and throughout the third quarter.
Students will spend the final two weeks to wrap up their research, write papers, and prepare presentations.
**** Tentative cultural programs include
1) visiting Japanese garden, 2) making Japanese sweets, 3) Taiko (a Japanese drum), 4) Ohi Pottery, 5) Zen, 6) bamboo craft, and 7) making a fly rod accessory.

資料５－２

Calendar (Tentative)

	Dates	① 8:45-10:15	② 10:30-12:00	③ 1:00-2:30	④ 2:45-4:15
Term 1 (2 weeks)	2018/9/10 (M) - 2018/9/21 (F)*	Intensive Japanese		Cultural Experiences and Related Lectures****	

* 9/17 (Mon) is national holiday in Japan; thus there will be no class.
** Students will spend approximately 12 hours in total for cultural experiences and related lectures during this term.
Some cultural programs/lectures may use only ③, while others may use both ③ and ④

Orientation	2018/9/24 (M) - 2018/9/28 (F)	KUSDP Program Orientation (1 week)

Term 2 (9 weeks)	2018/10/1 (M) - 2018/11/30 (F)	Students will take classes with other international and Japanese students. A minimum of 10 credits (10 classes - 90min per class) is required

		① 8:45-10:15	② 10:30-12:00	③ 1:00-2:30	④ 2:45-4:15
Term 3 (2 weeks)	2018/12/3 (M) - 2018/12/14 (F)	Independent Research***		Cultural Experiences and Related Lectures****	

*** Independent research starts on xx/xx (X) and throughout the third quarter.
Students will spend the final two weeks to wrap up their research, write papers, and prepare presentations.
**** Tentative cultural programs include
1) visiting Japanese garden, 2) making Japanese sweets, 3) Taiko (a Japanese drum), 4) Ohi Pottery, 5) Zen, 6) bamboo craft, and 7) making a fly rod accessory.

資料５－３

KUSDP 2019 Calendar

		① AM 8:45-10:15	② AM 10:30-12:00	③ PM 1:00-2:30	④ PM 2:45-4:15
Term 1 (2 weeks)	2019/9/9 (M) - 2019/9/20 (F)	Intensive Japanese		Cultural Experiences and Related Lectures*	

* Students will spend approximately 12 hours in total for cultural experiences and related lectures during this term.

Orientation (1 week)	2019/9/24 (T) - 2019/9/27 (F)	KUSDP Program Orientation
Term 2 (9 weeks)	2019/10/1 (T) - 2019/11/29 (F)	Students will take classes with other international and Japanese students. A minimum of 8 credits (8 classes – 90 min. per class) is required
Term 3 (2 weeks)	2019/12/2 (M) - 2019/12/13 (F)	Independent Research**

** Independent research starts in Term1 and ends in Term 3.
Students will spend the final two weeks to wrap up their research, write papers, and prepare presentations.

資料６

KUMAP 2017 Schedule

**Details are subject to change.

Kanazawa Univeristy Kakuma campus 金沢大学角間キャンパス　Off-campus (Japanese culture program / Excursion)　左記以外の場所で実施（文化体験など）　Others その他

Week	Date	Day		Morning Lesson 1	Morning Lesson 2	Lunch 12:00-13:00	Afternoon Lesson 3	Afternoon Lesson 4	Afternoon Lesson 5	Evening	Accommodation
Wk1	3/27	Mon	Meeting								Dormitory
			Title								
			Time								
			Place								
			Lecturer								
	3/28	Tue	Meeting								Dormitory
			Title	Class Orientation/Campus Tour							
			Time	10:00～12:00							
			Place	総合教育棟A2講義室							
			Lecturer								
	3/29	Wed	Meeting								Dormitory
			Title	クラスオリエンテーション	会話1		トピック「ホームステイ」	トピック「家族」			
			Time	8:45～10:15	10:30～12:00		1:00～2:30	2:45～4:15			
			Place	総合教育棟D2,D3講義室			総合教育棟D2,D3講義室				
			Lecturer	松田佳子先生、仁谷沙耶香先生			松田佳子先生、仁谷沙耶香先生				
	3/30	Thu	Meeting								Dormitory
			Title	復習クイズ・ニュース・会話2	会話2		トピック「食と健康」	トピック「教育」			
			Time	8:45～10:15	10:30～12:00		1:00～2:30	2:45～4:15			
			Place	総合教育棟D2,D3講義室			総合教育棟D2,D3講義室				
			Lecturer	松田佳子先生、仁谷沙耶香先生			松田佳子先生、仁谷沙耶香先生				
	3/31	Fri	Meeting								Dormitory
			Title	復習クイズ・ニュース・会話3	会話3		トピック「働き方」	ホームステイに向けて準備			
			Time	8:45～10:15	10:30～12:00		1:00～2:30	2:45～4:15			
			Place	総合教育棟D2,D3講義室			総合教育棟D2,D3講義室				
			Lecturer	松田佳子先生、仁谷沙耶香先生			松田佳子先生、仁谷沙耶香先生				
	4/1	Sat	Meeting								Home Stay
			Title								
			Time								
			Place								
			Lecturer				HOME STAY				
Wk2	4/2	Sun	Meeting								Home Stay
			Title								
			Time								
			Place								
			Lecturer								
	4/3	Mon	Meeting								Dormitory
			Title	ホームステイの振り返り	発表準備①		発表と準備②	発表とディスカッション、まとめ			
			Time	8:45～10:15	10:30～12:00		1:00～2:30	2:45～4:15			
			Place	総合教育棟D2,D3講義室			総合教育棟D2,D3講義室				
			Lecturer	松田佳子先生、仁谷沙耶香先生			松田佳子先生、仁谷沙耶香先生				
	4/4	Tue	Meeting								Dormitory
			Title	金沢市役所各種登録代理申請申込							
			Time								
			Place								
			Lecturer								
	4/5	Wed	Meeting					留学生センター合同開講式			Dormitory
			Title								
			Time					15:00～16:00			
			Place								
			Lecturer								
	4/6	Thu	Meeting	総合日本語プログラムプレイスメントテスト 9:30～12:00							Dormitory
			Title				全学留学生生活オリエンテーション				
			Time				13:00～14:30				
			Place								
			Lecturer								
	4/7	Thu	Meeting								Dormitory
			Title								
			Time								
			Place								
			Lecturer								

資料７

DEAi 2016 Schedule

**Details are subject to change.

- Kanazawa Univeristy Kakuma campus 金沢大学角間キャンパス（金大担当）
- Kanazawa College of Art 金沢美術工芸大学（美大担当）
- Off-campus (Japanese culture program / Excursion)　左記以外の場所で実施（文化体験など）
- Others その他

Week	Date	Day		Morning Lesson 1 (8:45-10:15)	Morning Lesson 2 (10:30:-12:00)	Lunch 12:00-12:45	Afternoon Lesson 3 (13:00-14:30)	Afternoon Lesson 3 (13:00-14:30)	Afternoon Lesson 4 (14:45-16:15)	Afternoon Lesson 4 (14:45-16:15)	Evening 5 (16:30-18:00)	Evening 18:30	Accommodation
Wk1	6/19	Sun	Meeting	Arrival in Kanazawa check in the hotel, free time									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
	6/20	Mon	Meeting	9:00@Hotel Lobby (University Bus)			13:00@in fromt of Post Office,Student Union Hall						HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Payment Procedures ICA Bus Pass Purchase**	**Opening Ceremony Orientation in Kanazawa University**		**Campus Tour**		**Administrative Procedure**		**Free**	**Free**	
			Time	9:30-10:30	1.5H		1.5H		1.5H				
			Place	Kanazawa University (Kakuma Campus) Administration Building 4th Floor Meeting Room No3 (Interview @ International Office Room 1by 1)		2nd floor of Student Union Hall with Staff	Kanazawa University (Kakuma Campus) Administration Building 4th Floor Meeting Room No3						
			Lecturer	Staff	Prof. TAKAYAMA		Mr. MIKAMI (Student)		Assistant Prof. Daisuke ITO				
	6/21	Tue	Meeting	8:45@Entrance of Guest House									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Tea Ceremony**	**Seminar**		**Japanese**			**Exchange**	**self-study**	**Free**	
			Time	1.5H	1.5H		13:00-15:10 (Break time 14:00-14:10)			15:15-16:15			
			Place	Guest House	Room C8 in General Education Lecture Hall		Presentation Room in General Education Lecture Hall						
			Lecturer	Souki MATSUI	SHOGEN		Anastasia BUSHMAKINA			Prof. Mariko SAIKI			
	6/22	Wed	Meeting		10:15@Entrance of Administration Office					15:15@Presentation Room			HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Seminar (Kenrokuen)**	**Excursions**		**Japanese**	**Japanese**		**Exchange**	**self-study**	**Free**	
			Time	8:45-10:10	10:15-12:00		13:00-14:00		14:10-15:10	15:15-16:15			
			Place	**Presentation Room in General Education Lecture Hall**	**Kenrokuen**		(3F) Room B14 in General Education Hall 2		Presentation Room in General Education Lecture Hall				
			Lecturer	Assistant Prof. Daisuke ITO	Prof. Mariko SAIKI		Kanae MIURA		Yoshiko MATSUTA	Mr.GOSHIMA (Student)			
	6/23	Thu	Meeting	8:30@Entrance of Administration Office						15:15@Presentation Room			HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Mizuhiki**			**Japanese**			**Exchange**	**self-study**	**Free**	
			Time	9:00-11:30			13:00-15:10 (Break time 14:00-14:10)			15:15-16:15			
			Place	Lecturer's house			Presentation Room in General Education Lecture Hall						
			Lecturer	Kumiko NAGATA			Yoshiko MATSUTA			Ms. KAMADA (Student)			
	6/24	Fri	Meeting	Free									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
	6/25	Sat	Meeting	Free									HOTEL Hinodeya (kanazawa City) ※need to pay
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
Wk2	6/26	Sun	Meeting	Free									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
	6/27	Mon	Meeting	Free									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
	6/28	Tue	Meeting			TBD							HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Seminar (History of Japanese lacquer ware)**	**Seminar (Zazen)**	**Zazen**			**Calligraphy**		**self-study**	**Free**	
			Time	1.5H	1.5H	3.0H			1.5H				
			Place	Presentation Room in General Education Lecture Hall		Daijyoji Temple			Guest House				
			Lecturer	Tsuyoshi YAMAZAKI (Kanazawa College of Art)	Aida Mammadova	Aida Mammadova			Korin NAKAMURA				
	6/29	Wed	Meeting	8:45@Entrance of Guest House			TBD						HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Lecture & Experience (Wagashi)**			**Field Assignment**				**self-study**	**Free**	
			Time	3.0H			3H						
			Place	Guest House			21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa and more						
			Lecturer	Yoshiaki MURAKAMI			Mark Hammond						
	6/30	Thu	Meeting	TBD									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Lecture & Experience (Gold Leaf)**	**Experience**		**Lecture (Japanese Fashion)**		**Summary**		**self-study**	**Free**	
			Time	1.5H	1.5H		1.5H		1.5H				
			Place	Hakuza at Higashi Chaya District	Higashi Chaya District		Presentation Room in General Education Lecture Hall						
			Lecturer	Store Staff	Prof. Mariko SAIKI		Christiane SATO		Assistant Prof. Daisuke ITO				
	7/1	Fri	Meeting	Field Trip (Schedule will be informed later)									Shunran no Sato (Noto)
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
	7/2	Sat	Meeting	Field Trip (Schedule will be informed later)									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
Wk3	7/3	Sun	Meeting	Free									HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title										
			Time										
			Place										
			Lecturer										
	7/4	Mon	Meeting	9:00@Hotel Lobby (University Bus)								Free	HOTEL Hinodeya (kanazawa City)
			Title	**Orientation in Kanazawa College of Art**	1		2			3	**self-study**		
			Time										
			Place										
			Lecturer										